

平成29年度第3回府中市立図書館サービス検討会議

平成30年2月28日（水）午前10時～
府中市立中央図書館会議室

1 資料確認

2 議 題

- (1) 二カ年間の検討内容と今後の課題について

3 その他

- (1) 第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定について
- (2) 市政情報センターにおける取次利用状況について
- (3) ルミエール府中利用アンケートについて

閉 会

<配布資料>

- 資料1 二カ年間の検討内容及び現状
- 資料2 第4期府中市子ども読書活動推進計画
- 資料3 市政情報センターにおける取次利用状況について
- 資料4 ルミエール府中利用アンケート2017年度集計結果

平成29年度第3回府中市立図書館サービス検討会議議事録

日 時 平成30年2月28日（水）午前10時から11時30分まで
会 場 ルミエール府中5階会議室
出席者 夏目雅裕委員、栗原浩英委員、吉川佐和子委員、三宅昭委員、
山本有佳子委員、加藤恵子委員、須山優子委員
事務局 酒井図書館長、青木図書館長補佐、田邊サービス係長
金崎、田代、菅沼（記録）

1 資料確認

開会

酒井館長：皆さんこんにちは。お忙しいところ平成29年度第3回府中市立図書館サービス検討会議にご参集いただきまして誠にありがとうございます。本日の会議をもちまして29年度の会議も最後となりました。2年間にわたり貴重なご意見をいただきました。私共といたしましても、サービス検討会議でいただいた意見をこれからの図書館運営に活かしていきたいと考えております。あらためて深く御礼申し上げます。本日は今までの会議を総括する内容となります。よろしくお願い致します。なお、本日の会議に瀧田委員よりやむをえない事情でのご欠席の連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。これよりの進行を議長にお願いしたいと思います。

夏目議長：それでは、第3回サービス検討会議をはじめさせていただきます。本日の会議に傍聴希望の方がいらっしゃいます。皆様、希望者に傍聴の承認をしてよろしいでしょうか。

一同：異議なし

2 議題

(1) 二カ年間の検討内容と今後の課題について

夏目議長：それでは議題にそって事務局より説明をお願いします。議題（1）二カ年間の検討内容と今後の課題についてお願いします。

青木補佐：資料1をご覧ください、資料にもとづいてご説明します。平成28年度第1回目は第3期サービス検討会議の初回ということで、サービス検討会議の内容と毎年作成している図書館の事業概要を説明させていただきました。この会議の主旨は、色々な立場の皆様から頂戴したご意見を、利用サービスに反映させていくことなので、会議を開催して色々な意見をいただくという内容になっております。事業概要については、毎年作成しており、教育委員会にも報告させていただいております。第2回目は、1. 貴重本の基準及び取り扱いについて 2. 除菌ボックスについて 3. 読書通帳についての3点を提案させていただきました。貴重本に関する議題について、当館では、大変貴重な本を所蔵しており、府中市の歴史や郷土資料など禁帯出になっている本があります。それとは別に高額で貸出可能な本もあり、それと関連して弁償の話題があり、皆様から色々な意見をいただきました。価格で決めたらどうか、あるいは出版年度で決めたらどうかなど色々なご意見を頂戴しております。28年度は資料に記載のとおり、現物弁償が545件、現金弁償が19件となっています。弁償については、基本的には現物弁償になりますが、入手困難なもの、視聴覚資料については現金弁償をお願いしています。続いて、除菌ボックスについては、導入状況をお知らせして、効果についてご意見をいただきましたが、気になる方にとって嫌悪感を取り除くサービスになるのではないかという意見もいただいております。資料にあるとおり、予算要求をしておりますが、予算確保できていないという状況です。多摩地域26市の中では青梅市が導入しています。続いて、読書通帳については、稲城市で導入しており、銀行のATMをイメージしていただければわかりやすいと思います。通帳を作ってください、機械に入れていただくことで、読書の履歴を残せるというものです。これに対するご意見としては、読書通帳に代わるものとしてレシートを台帳

に貼るのはいかがでしょうか、貸出カードを作ってスタンプを集めるのはいかがでしょうかなどの意見をいただきました。現在は読書ノートを配布して、そちらを利用させていただいております。インターネット上にはなりますが、マイ図書館に自分で入力して履歴を残すことは可能になっております。ここには書いていませんが、その他として図書の貸出の減少についてご意見をいただきました。返却場所が数多くあるといいのでは、駅のところで貸出ができないかなどのご意見をいただきました。29年度には市政情報センターで図書の取次を開始させていただいております。中央図書館の移転当初は100万人の利用がありましたが、現在は約83万人に減少しております。しかし、30年度には1000万人を達成する予定となっております。インターネットの利用の話の中で、インターネット利用だと本を見て選ぶことができないので、来館して本を手にとってみるのがいいのではないかという意見もいただいています。図書館のスペースの問題や明るい印象になるようにや、図書館スペースで飲食できるといいという意見もいただきましたが、図書館とは分けて考えた方がいいのではないかという話になりました。続いて3回目の会議では、ルミエール府中利用者アンケートの結果を報告させていただきました。こちらはルミエール全体で実施しており、満足度が高かった項目としては、開館時間、登録手続きの容易さ、本の充実度がありました。低かった項目としては、駐輪場、館内の空調温度、中高生のマナー、CD・DVDの充実度がありました。駐輪場について言及されていて、この建物の東西に駐輪場があり、東ははめ込み式ですが、西ははめ込み式をやめたので、収容台数が減ってしまっています。その代わり、東側に臨時駐輪場を設けて対応させていただいています。館内の空調温度についてもご意見をいただいております、座る席や来館者の人数によって感じ方は異なり、皆様には着衣の調節で対応をお願いしております。その他として第4期府中市子ども読書活動推進計画に係る読書に関するアンケート調査（案）について、平成29年6月に実施する予定だという説明をしました。調査対象は資料に記載のとおりです。経年を調べるということで、前回のアンケートと大きく変わったところはなかったと思います。平成29年度第1回目の会議より、委員の

方の変更がございまして、吉川委員と加藤委員が新たに加わっていただきました。1回目ということで、自己紹介、委員会の説明をさせていただきました。その他として、第4期子ども読書活動推進計画の策定について、市政情報センターでの取次業務、図書館だより第42号発行について、報告させていただいております。第4期子ども読書活動推進計画については、次第の3その他の(1)で説明させていただきます。第2回目については、第4期子ども読書活動推進計画の素案をご覧ください、ご意見をいただきました。その他については、5年に1回のシステム更新ということで、11月後半に一斉休館するというご案内と、ホームページのリニューアルのご案内をさせていただきました。そして、市政情報センターでの取次を開始したので、その時点での利用状況等を報告させていただきました。以上となります。

夏目議長 ありがとうございます。最初に戻って、少しずつ振り返っていきたいと思います。館長補佐より説明があったように、第1回はこの会議の主旨、利用者の拡大あるいは利用者へのサービス提供のあり方について、色々な立場の方から広く意見をいただくことという説明をいただきました。また、図書館の事業概要の説明もいただきました。第2回は貴重本の取り扱いについてということで、ご意見をいただきましたかったのは、基準の線引きをどうするか、弁償の金額の件、特に古い本で昔は安かった資料が、今非常に貴重なので高くなっているものについて元の値段でいいのかということなどです。紛失や汚損を防ぐ方策として何かあるか、ということでご意見をいただいたと思います。資料にあるとおり、28年度の図書等弁償状況は、現物弁償545件、現金弁償19件、ちなみに27年度は現物弁償が約600件、現金弁償が約70件となっています。それほど大きくは変わりませんが、現金弁償の内訳はわかりますか。例えばDVDが多かったなど。

酒井館長 現金弁償は図書が17件、視聴覚資料が2件となっています。視聴覚はとても高く、一般の方が購入する金額と違って、何倍もします。図書資料は、どこにも売っていない資料については、現金弁償になり、同じ物がある場合はそれを買っていただいています。

夏目議長 この件について、もう一度ご意見があればいいと思いますが、いかがですか。視聴覚については、「弁償になると高いです」といった注意書きはどこにあるのでしょうか。イメージしているのとは違うと思いますが。

田邊係長 映像資料に関しては、許諾がとれているものを購入しています。1本あたりが1万円以上します。基本的には利用案内のところでご説明をしています。最初から弁償の説明をして、申し訳ないのですが、水濡れや汚損があると、弁償していただかなければならないので、気をつけてくださいというお話しをさせていただいています。

夏目議長 その時に悪意をもって持ち出すことがないだろうかという心配もでたかと思いますが、この件数を見るとあまり気にしなくていいのかなと思います。むしろ積極的に借りていただいて使っていただくことで、主としてのサービス提供が充実していくのではないかと思います。次の除菌ボックスの設置についてということとで、どのくらい効果があるか金額に見合う効果があるかという話があったかと思います。その時には、予算が通れば、中央館に設置するというところで検討していただいていたのでは、というお話しでしたが、残念ながら予算要求が通っていないということです。これも機械が高いということが大きな原因でしょうか。

青木補佐 1台20万円前後するというので、備品扱いで予算要求しましたが、現在のところ獲得できていないという状況です。

夏目議長 26市のうち、青梅市だけが導入していますが、感覚的にまだまだ一般的ではないということでしょうか。今後も予算要求をしていただいて、実際に使っていただいて徐々に検討が進んでいくのではないのでしょうか。除菌ボックスについて他に何か意見はありますでしょうか。

加藤委員 この時の話をお聞きしたいのですが、これは紫外線か何かで本を殺菌するタイプのものですか。

夏目議長 そうです。

加藤委員 借りたい人が借りる前に自分でボックスに入れて除菌し、持って帰るということでしょうか。全ての蔵書を通すというわけではなく、希望した方だけが除菌して

持ち帰るということでしょうか。本はページが閉じているので、紫外線で中まで除菌ができなくて、表側だけでしょうか。

夏目議長 その時の資料がありますが、机の上に置くレンジくらいのもので、ひっかけると風でページがパラパラとなって紫外線がとおるということです。すごく気にされる方はお使いになったらどうでしょうか、ということかとイメージしています。

加藤委員 お子さん向けの本だと、よだれなど色々あると思いますが、本にばい菌がついていても乾燥すればほとんどのウィルスは死滅するんですよね。

夏目議長 恐らくそうですね。

加藤委員 市民の方から希望があったということでしょうか。

酒井館長 議員さんの要望です。議員からの要望は市民からの要望です。

加藤委員 わかりました。ありがとうございます。

三宅委員 この件について、予算要求したが実現していないというのは、予算検討委員会でこれは却下しようという意見がでてるとしています。理由はわかりますか。

酒井館長 大変財政状況が厳しい中で、新たに何かをするのは財政課の厳しい査定がはいります。毎年お金が足らず、やりくり算段している中で、新たなものを買うとなると、他の部・課からも要求が出ているので、どれを買うとなった時に、優先順位において結局予算がつかなかったというのが現状です。

三宅委員 これからも要求を続けていくつもりですか。

酒井館長 図書館は図書館のみのことを考えていますので、市民要望があるかぎりは設置したいと考えて、要求していきたいと思っています。

加藤委員 市民要望ということですが、議員さんは毎年同じことを言われるのですか。

酒井館長 政党からの要望の中にも入っていますし、議員を通さなくても、直接の要望もあります。

夏目議長 市民は議員さんにもそういうおはなしをされているから伝わってくるということでしょうか。

酒井館長 他の市で、1個でも設置しているところがあれば、設置したいということだと思います。

須山委員 中古の本をネットで買うと、除菌済みと書いてあるので、値段ではなく、割合簡単なのかなと思う若いお母さんは多いです。除菌という言葉にすごく安心してしまふところがあるのではないのでしょうか。

三宅委員 一度買ってしまえば、ちょっとしたメンテナンスの費用だけで、ずっと使えます。市の予算の範囲内で策定しているのでしょうか、そのうち要求が通るかもしれないですね。

夏目議長 最初の1台ですね。そうすれば、どれだけ使うかというのもわかるでしょうし、要望が多ければ導入が進んでいくと思います。これについては、今後も継続して申請していただくということでもよろしいのでしょうか。3番目は読書通帳についてということで、稲城市が導入しており、先程説明があったとおり、印刷する通帳のようなもので、システムにお金がかかるということでした。これも予算にからみます。府中市としては、読書ノートという自分で書き込めるような紙のものがあるということでした。これに関しては、先程おはなしがありましたが、ホームページが新しくなって、ログインをしてマイ図書館に貸出中の本をクリックすると、自分のリストが作れるようになるといったシステムになっているということです。実は数日前にやってみて、あまり難しくないということがわかったのですが、それほど宣伝をしていないのではないかと気になりました。皆さん読書通帳、読書ノートについてどうでしょうか。大人の場合はその機能をもう少し宣伝していただければと思います。OPACの使い方講習会は定期的には開催していますが、図書館ホームページの使い方の講習会は開催しているのでしょうか。

青木補佐 現在のところは開催しておりません。

酒井館長 稲城市では読書通帳は子ども限定で、大人はないです。

夏目議長 大人はマイ図書館を使えばいいと思います。子どもですね。図書館に来る人が減少しているので、底上げをするには、小学生や小さい子をおもちのお母さんが来て読書習慣をつけることがとても重要だと思います。そういう方たちに図書館に来たいと思わせるものがが必要です。議事録を見ると、シールを貼ったり、スタンプを押してあげるといいのではないかとのご意見をいただいていたかと思い

ます。いかがでしょうか。

酒井館長 稲城市も府中市と一緒にP F I 方式です。しかも府中市よりあとの新しいP F I ですので、業者から提案があつて導入できたのかなと考えられます。そうでないところは、機械が高価なので難しいと思います。府中市はこちらの可愛いらしい読書ノートを使用しています。他の市では、おくすり手帳のようにシールを貼るタイプのところもいくつかあります。稲城市の読書通帳は私も実際見ましたが、印刷ができて素敵です。でも高いだろうと思います。府中市はP F I 事業なのでP F I 契約期間は本を買う予算は削られませんが、各市削られていますので、他の市も読書通帳の導入は進まないかなと思います。それなら、ホームページの中のマイ図書館を推奨していく方がいいのかなと思います。

加藤委員 子ども向けのシールやスタンプのようなものは現状ではやっていないということでしょうか。

酒井館長 今は書き込みタイプのものです。

加藤委員 書き込み式ではなくて、例えばお店のカードのようなもので、子どもが本を借りたらスタンプをもらえる、そして5個たまったら、小さなシールを1枚もらえるといったようなものはどうでしょうか。子どもってどうしてこんなものかと思うものを喜びます。小児科でもらえるティッシュやちょっとしたキャラクターのシールが欲しいからと、病院に行くということがあります。大田区の図書館では、子ども用の読書カードが置いてあつて、借りるとスタンプを押してもらって、10個たまるとシールをもらえます。それが嬉しくて、親が図書館に行く時はついていたりしています。それを見ると、そういった事でも関心を持たせるという意味では、多少の効果があるのかなと思います。お金もあまりかからないと思うので。

山本委員 地区図書館のおはなし会では、毎月行くとシールがもらえます。いっぱいたまると、年度終わりに何かもらえたりします。

須山委員 たまってくると、コレクション欲がでできます。

山本委員 春にイベントがありましたよね。

事務局 子ども読書の日の近辺で、「たびたびよんでほんのたび」というキャンペーンを行っています。毎年テーマを決めて、そのテーマの本を1冊借りると、シールをお渡しするというといったキャンペーンを全館で行っています。4月初旬から5月中旬までの1か月くらい行っています。

須山委員 この読書ノートは、来館ではなく、借りたものを自分で書いていくということで、来館したらシールというのとはまた別で、自分が活用するということですね。

山本委員 たまっていくなが嬉しいのではないのでしょうか。何冊目になるというのが嬉しいのではないのでしょうか。学校は貸出票に自分で書いて返却日を書きますが、ここでは、全部印字なので手元に残らないというのがあって、読書ノートに書いてもらうということでしょうか。

須山委員 読書ノートがいっぱいになったら、すごいねということで、達成することはいいいですね。学校と同じように、一生懸命借りようかなと思いますね。図書館だから、何でも機械化ではなくて、自分で借りた本は書くというのはいいことだと思います。

夏目議長 貸出の時に子どものカウンターで、このノートあげるからここに書いて、とするとたまっていくながは実現できるのではないのでしょうか。無理矢理でなくともいいと思いますが。こういうノートがあるから使ってみたら、というのはどうでしょうか。

田邊係長 児童室のカウンターには、この読書ノートはいつも置いてあるので、手渡しすると、喜んで持って帰ってくれます。同じシリーズの本をお読みになっているお子さんは、何を読んでいないか忘れてしまったりするので、使ってくれています。

栗原委員 この読書通帳は、予算要求されているのでしょうか。

酒井館長 これはしていません。

田邊係長 読書ノートの印刷代だけの予算をとっています。

栗原委員 アナログ方式でいいのではないのでしょうか。

夏目議長 どのくらい普及させるかですね。小学校では、図書館行きましようとか、先程のキャンペーンの紹介などはされているのでしょうか。

吉川委員 いつも図書館からご案内をいただいて、全児童に配っています。

夏目議長 他に何か図書館に来てもらうためということで、何かありますか。市政情報センターについては最後におはなしがあるということです。続いて第3回では、利用者アンケートについてですが、今年の状況が資料にありますので、それを見ながらご意見を伺っていきたいと思います。昨年度の時には、満足度が高かったこととしては、開館時間、登録手続きの容易さ、本の充実度、逆に満足度が低かったこととしては、駐輪場、館内の空調温度、中高生のマナー、CD・DVDの充実度ということでした。資料4に2017年度の集計結果がでています。利用者のプロフィールを見ると、60代が一番多く、10代、70代以上、40代、50代と続きます。図書館滞在時間だと1～2時間が一番多く、30分以内、4時間以上、2～3時間という順です。来館の目的では、本・雑誌の貸出返却、視聴覚資料の貸出返却、学習室利用が多いです。機器類リニューアル後の使いやすさについてでは、概ね良いのではないのでしょうか。それぞれの質問に対して、ほとんどの人が満足あるいはほぼ満足と状況になっております。この機器類リニューアル後の使いやすさについて、皆さん何かご意見ありますか。

山本委員 本を借りると、レシートみたいなのがでてきますが、前は利用者番号があったのですが、それがなくなったと聞きまして、それはなぜでしょうか。

田邊係長 利用者番号は個人情報だというお客様のご意見がありました。貸出票をそこに捨てられて、利用者番号があるとその番号で予約されてしまうなど、悪質なことに使われる可能性があるということです。自転車置き場でくしゃくしゃにして自転車のかごに入れられていた、というのも結構ありました。利用者番号自体では、他の人が見た時にわからないので、個人情報にあたらないのではということもありますが、利用者番号と共に本のタイトルが出ていますので、個人情報だというご意見があって今回利用者番号をなくしました。

山本委員 例えば、お子さんをおもちの方だと、自分のカードとお子さん達のカードと3、4枚を組み合わせながら借りることがあります。どのカードで、何を借りたかわからなくなって混乱したという話を聞きました。実際見てみると、本当に利用者

番号がなくなっていました。でもあの番号だけでなく、パスワードを入れないと自分の画面には入れないですね。要望があって、削除したということですね。

田邊係長 そうです。

山本委員 よく前の人の貸出票が本にはさんであります。個人情報までは考えなかったです。

須山委員 友人からの質問ですが、ネットで予約をかけた場合についてです。予約をかける
と何番目と出ますが、次の順番だったので、大体1か月くらいあれば前の方が返
すと思って予約をしたら、なかなか連絡がなく、連絡してみたら、3カ月借りら
れるグループが借りていたということでした。図書館の方がそちらに連絡とって
くれると丁寧に言っていただきましたが、結局借りようと設定していた日に間に
合わなかったということでした。私も自分では経験したことはなかったのですが、
予約何番目とは出ても、借りている人がどういう借り方かというのはもちろん個
人情報なのでわかりませんが、こういうこともあるんですね。私も予約の1番目
だと、1か月くらいで借りられると思いましたが、そういう場合に当たることも
あるということですね。

田邊係長 そういう場合は、次に予約が入りましたので、という連絡をします。

須山委員 借りている方が返却しなかったということですね。こちらから図書館に連絡を
した時に、お借りの方に連絡してみます、とおっしゃっていたということです。
画面上にはいつ返却されるかの情報は出ませんから。それはしょうがないですか。

田邊係長 お電話して、予約が入りましたので早めにお返してください、という連絡をいれて
います。

須山委員 皆さんはそういうことはなかったですか。

山本委員 例えば長期ということでは学校のクラスの貸出で、1か月間授業で使うからとい
って借りてきたものだったりすると、途中で返してください、と言われてもまだ
使っている途中だからお返しできなかったのかもしれない、ということもあるの
ではないかと感じました。

須山委員 それをどうしてほしいと言うわけではなく、予約をつけた方にはわからなかった
ので、びっくりしたみたいです。予約の順番が出るのは便利だと思います。それ

で大体どれくらいで回ってくるか予想できるので。

夏目議長 ホームページについては、29年度の2回目で裏面に書かれています。新しいホームページはいかがでしょうか、という質問で、満足、やや満足が多く、かなり使いやすくなったと思うのですが、ホームページについては、ここでご意見をうかがいます。裏面に変更になった点をまとめていただいています。パスワードの申請が自由に設定できるようになっています。利用者のマイメニューで、利用状況が1つの画面で切り替わるということです。使っている感じとしては私は使いやすくなったと思います。かんたん検索、紙芝居だけを検索することができる、スマートフォンに対応している、検索機器・貸出機の入れ替え、掲示の変更があります。以前はレファレンスと書いてあったのが、なじみのない人にはわかりにくいということで、調べもの相談に変更したということがありました。このあたりについて、何かありますでしょうか。

須山委員 紙芝居の検索については、すごく良かった、と仲間が言ってました。今まで紙芝居は検索しにくくて、直接来てあるかどうか確認していましたので、喜ばれていると思います。

夏目議長 ホームページを使っただいて、他に何かありますか。慣れてしまえば非常にわかりやすいし、操作もやりやすくなっていると思います。最初のとっかかりかと思いますが、ホームページを使っていない人が使おうとするきっかけを作るといいのではという気がします。資料4の裏面にいきますと、施設について、蔵書・資料について、2017年度を見ていくと、3以上なので、まあ満足ということではよろしいかと思います。その中でも低いところを見ていくと、やはり昨年度と同じで、施設についての2番目、3番目の駐車場、駐輪場、8番目の空調・温度となっています。運営サービスについては、割合いいでしょうか。14番の書架の案内のわかりやすさがちょっと低いでしょうか。でも年で見ると、それほどでもなく、落ちているとか上がっているということではないようです。蔵書・資料については、毎年同じで、6、7、8、9の視聴覚の充実度や新作の所蔵状況、探しやすさが低いです。これは前の時にも話題になったかと思いますが、図

書館の視聴覚の扱い、揃え方と、町のレンタルショップの揃え方との違いがあると思います。図書館については、新作はあまり気になさらないで、しっかりした良いものを揃えて提供していくということでいいのではという気がします。駐輪場についても先程はなしが出ていますが、これ以上良い案もないのかなという気がします。このあたりについて、ご意見ありますでしょうか。ずっと集計していただいて、大きく変化したところはなく、3、4が多いということは、努力されているのかなと思います。それでは、第3回のその他のところ、第4期府中市子ども読書活動推進計画に係る読書に関するアンケート調査（案）については、資料2に第4期府中市子ども読書活動推進計画が策定されて、今印刷に向けて準備されているということなので、そこでご説明いただきます。29年度第1回目は、委員紹介、図書館の事業概要説明がありました。第2回は第4期府中市子ども読書活動推進計画（案）についてですので、後程ご説明いただきます。その他で図書館一斉休館についてお話しした状況です。何かご意見はありますでしょうか。

（2）市政情報センターの取次状況については、今日のその他のところにはいつていますので、そちらで説明をお願いします。これまでの2カ年の検討内容を振り返って、何か他にご意見ございますか。それでは、その他の（1）第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定について、事務局よりご説明をお願いします。

青木補佐 資料2を参考にしながら、ご説明します。府中市子ども読書活動推進計画については、56ページの参考資料11にあります。平成13年度に子どもの読書活動推進に関する法律が定められ、その8条に子どもの読書活動推進基本計画がうたわれ、それに基づいて策定しております。次期は第4期となりますが、平成25年に策定しました第3期計画が今年度をもって終了することから、平成30年度からの子どもの読書に関する総合的かつ計画的な推進を図るために、6年間の計画期間で策定をするものです。市役所内部の子どもに関係する部署の職員による府中市子ども読書活動推進委員会で検討をして、現在に至っている状況です。平成28年の9月の委員会から検討を始め、年4回開催している委員会ですが、昨年の10月には素案ができ、皆様にもご提示させていただいています。10月

19日には、教育委員会にご報告し、ご意見を頂戴しております。ご意見をいただいたことで、資料の11ページ、ウの2行目あたりの「平成29年度全国学力・学習状況調査の児童・生徒に対する質問紙調査と教科に関する調査の結果から、府中市では、読書が好きと回答した児童・生徒は教科に関する調査の平均正答率が高い傾向が見られました」という文言を加えさせていただきました。もう1点は、幼稚園について、私立幼稚園の方が多いので、市立幼稚園だけでなく私立幼稚園も含めた形で計画をすすめるようご意見をいただきました。その後、庁議に報告、文教委員会に報告し、11月27日から12月26日までの1カ月間のパブリックコメント実施をさせていただきました。この期間、計画が10件あり、私共の計画にはご意見はありませんでした。それを受けて、1月18日の教育委員会に議題としてあげ、承認されました。その後、庁議報告し、2月6日の文教委員会に報告し、策定にいたっております。今回の計画の特長は、今までは5年間で実施していましたが、第4期については、6年の計画とさせていただいております。6年にした理由は、先程のアンケートにおいて、小学校5年生と中学校2年生でアンケートをとっていますが、今までの5年間だと3年目に中間アンケートをとって、1年開けて5年目にアンケートをとっていて、1年しか間があかなかったという点があります。また、5年生が、3年目にして中学校2年生になり、同じ学区域の小中学校にアンケート実施をさせていただいているので、その動向や傾向がつかめるのではないかとということで、6年の計画期間に変更させていただいております。ボリューム的に第3期から比べると、かなりページ数が増えております。これについては、資料の充実があり、そのためパブリックコメントもなかったのではないかと考えております。新たな事としては、不読率という指標を設けました。1カ月に1冊も本を読まない子どもが、小学生では4%、中学生で9%あとアンケートの結果が出ておりますので、小学生では1ポイント、中学生では2ポイントをこの6年間の計画の間に減らしていこうと目標を新たに設定させていただいてます。大きく変わったのは以上ですが、資料を充実させましたので、学校図書館との連携ということで、48ページの図書館システムの導入

という形で紹介もさせていただいております。その他事業の紹介も掲載して、資料のボリュームも増えております。現在、印刷・製本中でございます。本日は完成版のコピーでのお渡しとなっております。引き続き関係各課と連携を図りながら、子どもの読書推進に努めてまいりたいと考えております。以上です。

夏目議長 ありがとうございます。不読率を減らすという数値目標が入って大変かと思いますが、全体に関して、何かご意見ありますでしょうか。前から見ていくと、第3期の成果があり、第4期の計画に向けてのアンケート調査があり、作られた経緯があります。10ページ子どもの読書環境の拡充ということで、市立図書館、学校図書館など、子どもが本に親しむための読書環境を拡充します、とあります。その中で学校図書館システムは、これから新しく導入されることなのでしょうか。

青木補佐 すでに導入が始まっております、48ページの資料5に紹介されております。平成27年度から2校試験的に導入が始まり、平成29年度は6校導入され、平成30年度も数校導入される予定だと伺っております。

夏目議長 10月の会議では、確か導入されると、市立図書館との連携ができるようになるというはなしもあったかと思いますが。データとしては行き来はしてないのですね。学校の中の資料だけですね。学校間もまだですね。

青木補佐 はい。

吉川委員 全校にシステムが導入されていませんので。この計画は教育委員会もとり、承認もされているので、ここで私たちがご意見をさしあげてもと思うので、確認という形でよろしいのではないのでしょうか。

夏目議長 そうですね。10月の会議で図書館とどういう形で連携していくかという話もできたかと思います。

三宅委員 6年間の策定で計画はできるのですが、子ども達は成長しますので、6年間の計画で本当にいいのかな、と思います。中間でどこかでチェックが入らなくていいのかなと思います。

青木補佐 毎年進捗状況を関係各課に照会をかけて把握に努めます。それから、中間アンケートということで、3年目に同じ学校に実施をして、動向を掴んでいこうと考え

ております。

栗原委員 印刷された後、どういうところに配付されるのですか。

青木補佐 国立国会図書館、都内の図書館、市内の学校など、市内の図書館や施設、関係各所に大体4～500部は配付する予定です。HPにもアップする予定です。

夏目議長 作る方が一生懸命作成したので、現場の方が活用していただけるように、配布していただければと思います。次にその他（２）で市政情報センターにおける取次利用状況についてご説明をお願いします。

田邊係長 続きまして「市政情報センターにおける取次利用状況について」でございますが、8月から半年経過し、利用状況は資料のとおりです。利用状況としては、利用者数も大きく増えることはなく、リピーターの方が多く利用されているという状況です。11月の減少理由といたしましては、図書館システム更新のため、11月19日から30日まで全館休館し、取次ができなかったことによるものと思われます。時間帯別の利用者数ですが、8月、9月は15時以降をまとめて集計していたため、17時以降の枠を作っていませんでした。地区図書館の閉館が17時であることから、17時以降の利用が多いのではと、17時以降の利用状況を把握するため、10月より17時以降の利用者数を集計しました。その結果、17時以降多く利用されていることがわかりました。年齢別の利用者数は、当初から変わらず、40代50代の利用が圧倒的に多く、中高生にはほとんど利用されていない結果になっています。中高生は部活等忙しく、特に生涯学習センターを除く地区図書館は17時閉館のため、中高生には来館できる時間が作れないことも事実です。市政情報センターの上の階には、「青少年スペース」として青少年が学習や交流の場として利用できるスペースがあります。12月のシステム更新により、インターネット利用の申込みは、来館されなくても、利用者がホームページからご自身でできるように変更されました。もちろん初めの利用登録は図書館に来ていただかなくてははいけないですが、中高生もご自宅でインターネット登録をしていただいたり、本の予約ができます。今後、青少年スペースに、「図書館利用案内」等をおいて中高生に呼びかけをしていきたいと考えております。時間を問

わず、興味のある本の予約ができ、図書館以外で受け取れるサービスをPRしていきます。本来は、図書館に来館していただくことが、一番の目標ではありますが、来館できない方にホームページで資料を見ていただき、図書館に興味を持ってもらうきっかけづくりも、読書活動の推進としての役割だと思っております。青少年の生徒に「図書館利用案内」や「図書取次利用案内」、中央図書館の「Y A ルーム」の案内など、PRする準備をしております。2月28日朝9時現在、情報センターで受取りを希望している予約資料数は1983冊となっております。1日平均しますと割当たっている冊数は30冊から40冊程度、情報センターに毎日配送している状態です。1利用状況のところがありますが、残念なことに、1番下の取置期限切れで、何らかの理由で取りに来られない方も6～8%あり、取り下げになっているという現状です。今年度新規事業だったため、試行錯誤しながら行いましたが、大きなトラブルもなく運営しております。以上です。

夏目議長 ありがとうございます。この件に関しては何かありますでしょうか。

須山委員 これはプラッツのところですよ。6階はいつも満席ですね。皆さん勉強していますから、そこで本の取次案内を見て、もっと活発になるといいと思います。7時までですか。何時までですか。

田邊係長 本の取次は平日は7時半までで、土日が6時までです。返却はブックポストがありますので、10時までできます。

夏目議長 時間帯別利用者数、年齢別利用者数とも狙いどおりに成果が上がっているのかなと思います。ここも今お話しされたように、使ってもらうためには、宣伝が必要です。図書館の中にも何カ所かに、市政情報センター開設しました、という掲示があります。ただ目に留まるかなということはありません。一生懸命意識して見ていかないと、掲示が多いと埋もれてしまうということがあります。

須山委員 場所が一番奥で見つけにくい。最初迷って、センターの方に聞いて教えてもらいました。チラシが置いてある後ろで、少し見にくい。宣伝したら便利どころだと思います。

三宅委員 データ的なことについてうかがいたいのですが、年齢別利用者数の中で0歳から

という範囲があるが、これはどういう意味ですか。

田邊係長 利用カードは、年齢で登録してあります。統計上、0～6歳までは赤ちゃんから小学校あがるまで、7歳以上が小学生、13歳からが中学生という形で統計が年齢別に出るようになっていきます。0～6歳までの利用カードで貸出した利用数となっています。

三宅委員 そういうことなんですね。

田邊係長 お母さんが子どもの本を借りるのにも利用しています。

須山委員 生まれたら、利用カードが作れますね。孫も登録して喜んでいましたから。子どもの分も含めると20冊借りられます。

三宅委員 母子手帳と同じようですね。

夏目議長 健康診断の時に図書館が外向いて、サービスをしているという話をうかがったことがあります。努力されていると思います。この件についてはよろしいでしょうか。では、最後の(3)ルミエール府中利用アンケートについてですが、先程意見をいただいていたしました。何かご説明があればお願いします。

田邊係長 前年度、この第3回の会議で、利用者アンケートの集計結果を皆様に配付しておりましたが、今年度は長期休館をさせていただいており、アンケート実施が遅くなったこともあり、正式な集計表ができていないため、数だけの集計結果を配付させていただいております。毎年グラフにして公表しておりますが、そちらについては、3月7日(水)より施設内の掲示及びHPで公開いたしますので、ご確認いただければと思います。毎年、アンケートには図書館独自の質問を3問程作成しております。今年度は、長期休館がありましたので、リニューアル後の機器類の使いやすさについて3点程アンケートをとっております。新しいOPACについては、「満足」より「やや満足」のほうが多くなっております。検索が変わるとわかりにくくなってしまったという声もいただいております。規定値が以前の機械と違う設定になっていたりしていたこともあり、ご意見をいただいて元に戻したり、図書館の方では少しでも利用しやすいように心がけております。その他、自由意見を書いていただいておりますが、今年度の回収は705枚のうち194件

ご意見がありました。その中で満足という方もいらっしゃるのですが、Wi-Fiがないというご意見をいただいています。今ルミエールや文化センターでは、1階だけは市のWi-Fiが導入されています。上の階には届きませんので、下で使っている方が上に来るとWi-Fiが届かないというご意見もあります。中央図書館でも、5階学習室と研究個室で導入を考えています。研究個室で、研究をしながら、調べものをしたい方が、Wi-Fiがとんでいないと、フロアのインターネット端末を借りてそこで検索をして、また研究個室に戻るといようなことがあると聞いています。そこはご希望が多いので、今後検討していきたいところです。学習室については、パソコンを持ち込んで使える席が32席あります。そこはケーブルで有線を使っています。最近是有線をもっている方があまりいらっしゃらなかったりします。線を持ってきてくださいというご案内をしています。ご自宅でも有線を使われている方がいらないので、Wi-Fiの導入を検討しています。ただ、どこでも使えてしまうと、どこでもゲームができたり、きちんとした席の利用の仕方ができなくなる懸念がありますので、限定させていただきたいと考えています。

加藤委員 その使える範囲の中に対面朗読室は入らないですか。

田邊係長 対面朗読室は防音になっているのですが、そこの中では今のところ考えてないです。

加藤委員 著者名や、下読みをそこでする時に、わからない読みを調べる時に、部屋を出て端末を借りて調べて戻ってということがあり、結構大変です。読んでいる最中に、利用者の方から、この著者の方の質問を受けても、簡単に調べられないといったことがあります。費用がかかるということではなく、線を増やせるだけで使えるのであれば、便利になると思います。

田邊係長 ご意見としていただきます。

夏目議長 他に今のご説明について何かご意見ありますか。

三宅委員 府中市で導入しているものは1時間ですが、図書館で使えるWi-Fiは、無制限につながるのですか。

田邊係長 そこまでは今検討していません。

三宅委員 府中市のオープンW i - F i は、1 時間までしかつながらないのです。1 回切れたら、もう一回やり直さなければならない。

夏目議長 図書館としては、本来は本を読んでもらいたいところですから、ちょっと難しいですね。これも時代の要求なのでしょう。ひと通りうかがってきましたが、全体通して何かありますか。

須山委員 府中市内で「絵本と語り」という講座をやっています。その時に、6 5 歳以上の方で希望者が2 0 人程集まって、毎回色々な本を紹介しました。府中市の資料、こちらの図書館の子ども向け絵本などは色々良いものがあるので、そういった資料を持って行って使いました。地区館でいいからそこで本を借りて、次の週には持ってきて、お互いに読みあったりしましょうという風にしましたが、その時に感じたのが、結構図書館に行っていらっしゃらない方がいたということです。私は他市にも行っていますが、府中市はとても良いということをお話ししました。最初にも出たと思いますが、どういう層にも図書館を利用してほしいと思います。何かのきっかけがないと一人で図書館に行くことがなかったり、図書館は子ども達が行くところかなと思っていました、とおっしゃる方もいました。これからは、子どもと同じくらい高齢者の方も図書館を利用してほしいです。身近な図書館にこんないい本があります、と言う機会があるといいのかな、と思います。それにはどうしたらいいか講座を行いながら思いました。施設や本が準備されていても、まず行ってみるということが大事ですから。

夏目議長 そういった事に関しては、市の色々なところで、こまめに宣伝していただく必要がありますね。 それでは、今回の議題が終わりましたが、事務局から連絡などありますか。

事務局 事務局からのお願い事項になります。本日で第3 期図書館サービス検討会議が最後となります。このあと事務局の方で2 カ年の会議の内容等をまとめて報告書を作成して、教育委員会に報告させていただきます。そこで、委員の皆様から感想や次回に引き続き検討していただきたい事などについて、メッセージを頂戴させ

ていただきたく、お願い申し上げます。いただいたメッセージについては、報告書に記載させていただきます。参考に、お配りした資料の一番最後に、前期の報告書に記載させていただいたメッセージがありますので、こちらをご参考に送っていただければと思います。お忙しい中、大変申し訳ありませんが、3月23日（金）までにメールの本文またはメールの添付文書で金崎あてに送っていただきたいと思います。ご不明な点などありますでしょうか。

須山委員 これは字数はどれくらいですか。

事務局 300から350字くらいとなっております。

夏目議長 宿題となりますので、前期の方のものを参考に、皆さんよろしくお願い致します。

メールは開催案内に返信していただければと思います。それでは、本日の会議はこれにて閉会と致します。議事録に関しては後日事務局より送付していただきますので、ご確認をお願いします。それでは、第3回の図書館サービス会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会

図書館サービス検討会議資料 1

二カ年間の検討内容及び現状

平成28年度

第1回（7月1日）

- 1 府中市立図書館サービス検討会議内容等の説明
- 2 府中市立図書館の事業概要説明

第2回（10月24日）

- 1 貴重本の基準及び取扱いについて
 - ・ 平成28年度図書等弁償状況
現物弁償545件 現金弁償19件
- 2 除菌ボックス設置について
平成28、29、30年度も予算要求したが実現していない。青梅市が導入している。
- 3 読書通帳について
稲城市が導入している。府中市は現在も読書ノートを活用している。

第3回（2月10日）

- 1 ルミエール府中利用者アンケートについて
 - (1) 満足度が高かったこと
開館時間、登録手続きの容易さ、本の充実度
 - (2) 満足度が低かったこと
駐輪場、館内の空調温度、中高生のマナー、CD・DVDの充実度
- 2 その他
 - (1) 第4期府中市子ども読書活動推進計画に係る読書に関するアンケート調査（案）について
 - ア 平成29年6月にアンケート実施
 - イ 調査対象者
 - 保健センター 1歳6か月児健診受診者の保護者
 - 保育所 市立保育所3か所の保護者
 - 幼稚園 市内幼稚園3か所の保護者
 - 小学校 市内小学校3校の5年生児童、1年～6年生の保護者
 - 中学校 市内中学校3校の2年生生徒、2年生の保護者
 - 高等学校 市内都立高校1校の2年生生徒
 - イ アンケートの集計結果及び分析は、第4期子ども読書活動推進計画に記載

平成29年度

第1回（7月5日）

- 1 委員自己紹介、事務局紹介
- 2 府中市立図書館の事務概要説明
- 3 その他
 - (1) 第4期子ども読書活動推進計画の策定について
 - (2) 市政情報センターでの取次業務開始について
 - (3) 府中市図書館だより 第42号（6月30日）について

第2回（10月31日）

- 1 第4期子ども読書活動推進計画（案）について
- 2 その他
 - (1) 府中市立図書館一斉休館について
休館中に変更になったこと
ア 図書館ホームページ
 - ・パスワード申請について
サービス利用のためのパスワードをご自身で設定可能（市在・在住・在勤・在学の方のみ）。
 - ・利用者メニュー（マイ図書館）
利用状況の確認などが、1つの画面から行える。
 - ・かんたん検索
検索結果をシリーズや言語で絞り込む機能が追加され、より便利になった。
 - ・紙芝居の検索について
資料詳細検索画面で、「紙芝居」に限定した検索ができるようになった。
 - ・スマートフォン等でのご利用について
機器の幅にあったレイアウトに切り替わるようになり、画面が見やすくなった。
 - イ 図書館内
 - ・館内OPAC、貸出機を新機器に入替
 - ・NDC日本十進分類法（新訂10版）に従って資料を分類、配置
 - ・配架案内板のリニューアル（中央図書館のみ）
 - ・レファレンス掲示の変更（中央図書館のみ）
登録カウンター（3階及び4階）にある「レファレンス」の掲示を「調べもの相談（レファレンス）」に変更
- (2) 市政情報センターでの取次状況について

よりよい子どもの読書環境をめざして

第4期府中市子ども 読書活動推進計画

平成30年1月
府 中 市

目 次

第1章	第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定に当たって	1
1	計画策定の目的	1
2	第3期計画の成果	1
3	第4期計画策定に向けてのアンケート調査	3
4	今後の課題と方向性	5
第2章	計画の基本的な考え方	7
1	計画の目的	7
2	計画の性格	7
3	計画の視点	7
4	計画の期間	8
5	計画の対象	8
第3章	計画の目標及び目標を達成するための取組	9
	計画目標	
1	子どものための読書環境の拡充	10
2	子どもと本との出会いの機会の提供	12
3	読書推進体制の整備	16
4	人材の育成・活用	17
5	啓発・広報	18
第4章	取組項目の担当と今後の展開	20
	参考資料	
1	「第4期府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果	23
2	小学校の読書活動事例紹介	43
3	中学校の読書活動事例紹介	45
4	高校の読書活動事例紹介	47
5	学校図書館システムの導入	48
6	保育所おはなし会レポート	49
7	赤ちゃん絵本文庫	51
8	おはなしキャラバン	52
9	YA世代への取組	53
10	中学生の職場体験	55
11	子どもの読書活動の推進に関する法律	56
12	平成29年度府中市子ども読書活動推進委員会委員名簿	58

1 3	府中市子ども読書活動推進連絡会・委員会開催状況……………	5 9
1 4	府中市子ども読書活動推進委員会規程……………	6 3
1 5	子どもの読書活動推進に関する動向……………	6 5

※ 年度（年）の表記について

新天皇の即位に伴う改元が行われたときは、本書に記載している「平成」の元号を用いた年度（年）の表記は、それぞれに対応する新元号を用いた年度（年）を表すものとします。

第1章 第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定に当たって

1 計画策定の目的

府中市では平成15年に「府中市子ども読書活動推進計画」を策定し、計画の目的である「市と市民が手を携えて、子どもの読書環境をより一層整備することにより、子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付け、個性豊かで、健やかに成長し、人生をより豊かに生きること」を第2期、第3期と引き継いできました。

これまでの活動を維持していくとともに、今後も子ども読書活動の推進を図るために、第4期となる本計画では平成35（2023）年度までの目標を盛り込み、子どもの読書状況の課題を整理し、計画内容の見直しを行います。そして、関係各所との連携を更に充実させ、新たな取組を行っていきます。

2 第3期計画の成果

第3期府中市子ども読書活動推進計画（以下「第3期計画」といいます。）に基づき、子どもの読書活動の推進を図るための読書環境の整備を更に進めました。地域や学校でのボランティアによる読み聞かせ活動が継続的に行われており、子ども読書についてのアンケートの結果から、読書の重要性が広く認識されてきたことがわかります。図書館やその他子ども関連施設で行うおはなし会も定着してきており、子どもの読書環境の充実に寄与しています。

(1) 市立図書館の取組

市立図書館では、図書館ごとに資料の充実に努め、魅力ある蔵書構成や書架配置を行ってきました。平成26年度には、中央図書館児童室の書架案内である「じどうしつあんない」を改訂し、子どもたちが本を探しやすい図書館づくりに努めてきました。平成27年2月には、押立図書館がリニューアルオープンし、児童書コーナーが充実しました。定期的に行っている「おはなし会」と「ちいさい子のためのおはなし会」は中央・地区図書館ともに定着してきました。中央図書館では、「土曜おはなしの森」を月1回開催し、平日開催には参加できない方々にも参加していただいております。また、小学校4年生から6年生を対象としたブックトーク「よむよむ探検隊」を年4回、第3土曜日を中心に開催しており、市内の小学校図書室にポスター掲示、チラシ配布をして、更なる読書への関心や意欲、読書習慣につながるよう働きかけをしてきました。

学校への団体・学級貸出については、要望に沿ったテーマのセットを追加し、平成24年度の49セットから平成29年度時点では53セットと充実を図りました。

毎年、市民を対象に、「読み聞かせ講習会」を開催し、子どもの本に関わる人材の育成に努めてきました。また、図書館おはなしボランティアを対象とした「ステップアップ講座」を定期的に行い、絵本や子どもの発達に関する情報を提供

してきました。そして、市内で活動しているボランティア団体が中央図書館おはなしのへやを使ったおはなし会を実施する支援を行い、継続したおはなし会の開催につながりつつあります。

中学生・高校生向けのYA（ヤングアダルト）コーナーでは、新着本コーナーを設置し、新刊などの展示を行いました。また、YAコーナーを紹介するちらしを作成し、市立中学校・都立高等学校に配布し、PRに努めました。

(2) 学校図書館の取組

ア 市立図書館との連携

学校図書館では、児童・生徒がより多くの本と出会う機会を提供するとともに、教科等の学習と関連した図書資料を提供することを目的として、市立図書館と連携しました。具体的な連携としては、市立図書館の蔵書を1学級につき50冊6週間貸出しできる「府中市立図書館小・中学校学級貸出」事業の活用を図りました。また、学校図書館担当者連絡協議会などを通して、学校図書館と市立図書館との情報交換などを行い、一層の利用促進を図りました。

イ 学校司書

学校司書は、授業における調べ学習に際し、児童・生徒が図書資料などを通した調査活動の相談を受け、学習課題にあった図書を提供する役割を担いました。また、図書資料の整理や装飾、時事問題に関する図書の周知や読書週間などに際し、おすすめ本コーナーの設置、職場体験活動などの学校の教育活動と関連させた本の特集などを行い、学校図書館が子どもたちの学習の拠点や心のよりどころの中核となるようサポートしました。

ウ 読書活動の推進

学校における読書活動については、市立小・中学校全校で、朝読書などの読書活動を日常的に行いました。児童・生徒には、本に触れ、本の楽しさを感じさせるとともに、読書を通した言語能力、感受性などの育成に取り組みました。また、学校図書館ボランティアの協力により、小学校における本の読み聞かせを充実させるとともに、魅力ある学校図書館への環境づくりを行いました。

府中第十小学校及び府中第五中学校については、新校舎しゅん工に伴い導入したローカウンター本棚をいかした学校図書館の運営に努めました。また、両校で使用していた本棚を他校に転用するなど、現有備品の活用を行いました。

学校図書館以外においても本に親しむことができるよう、廊下等の空きスペースや各普通教室にも図書を配置しました。

(3) 乳幼児と絵本の出会いへの取組

健康推進課と図書館が連携・協力して、おはなしボランティアと協働で「赤ちゃん絵本文庫」を実施し、赤ちゃんの名前で図書館利用カードを作成・絵本の貸出しを行い、赤ちゃんに絵本を楽しんでもらうとともに保護者に対する読み聞かせの働

きかけを行いました。

ア 健康推進課では、乳幼児健診案内時に「赤ちゃん絵本文庫」で利用できる利用者登録申込書を同封し、周知を行いました。また、1歳6か月健診（月4回の健診のうち2回）、3歳児健診（月3回の健診のうち1回）では関係機関と連携し、おはなし会や読み聞かせを行い、絵本を身近に感じてもらえる機会を提供しました。3歳児健診では、更生保護女性会から3歳児に適した本の寄贈があり、子ども自らが本を手にとって読むなど読書への関心を高めることにつながりました。また、保育相談時にもおもちゃと一緒に絵本を置くなど、子どもが本に触れ合えるようにしました。

さらに、平成24年度から継続している妊娠期における普及啓発事業として、両親学級で「パパママ文庫」を開設しました。

イ 中央図書館では、「ちいさい子のためのおはなし会」の後に「赤ちゃん絵本プチ講座」も実施し、乳幼児と保護者が本を仲立ちにした楽しい時間が持てるように支援しました。

(4) 保育所の取組

保育所では、日常の保育の中で絵本を楽しめる時間の工夫をするとともに、おはなしボランティアなどの協力で、絵本の読み聞かせを行いました。

(5) 障害のある子どもへの取組

障害者福祉課と市立図書館が協働し、「子どもの読書月間」に市立心身障害者福祉センター「きずな」で、布の絵本やさわる絵本の展示とパンフレットの配布を実施しています。毎年継続することにより、利用者の定着・拡大を図りました。

(6) 府中市子ども読書活動推進委員会の取組

府中市子ども読書活動推進委員会主催で、おはなしボランティアグループ「絵本だいすき」と協働で、美術館や郷土の森総合体育館など市内の施設を巡る「おはなしキャラバン」を年に2回、春と秋に開催しました。1・2歳児とその保護者を対象に、手あそびうたや絵本の読み聞かせなど、親子で楽しめる取組を行っています。また、中高生世代に向け、YAコーナーをPRし、利用を促しました。

3 第4期計画策定に向けてのアンケート調査

第3期計画に基づく事業展開による現状を把握すること、第3期計画策定時との変化を捉えることなどを目的として、アンケート調査を実施しました。

アンケート調査の実施に当たっては、府中市立図書館サービス検討会議の意見も取り入れながら設問を設定し、第3期計画策定時のアンケート結果との対比を意識した形で実施しました。

なお、ここでは、第4期府中市子ども読書活動推進計画（以下「第4期計画」とい

います。)の策定に向けたアンケート調査結果のうち、第3期計画策定時と比較して興味深い項目について取り上げます。

(1) 小学生が本を読んでもらうことに対する意識

Q2「本を読んでもらうことが好きですか?」という設問に対して、「好き」と回答した小学生は28%（平成24年度18%）、「すこし好き」と回答した小学生は38%（平成24年度32%）となり、「好き」・「すこし好き」を合わせると、66%（平成24年度50%）になりました。本を読んでもらうことが好きと答える小学生が増加したことは、保護者が子どもの読書に対して高い意識を維持していることと関係があると考えられます。例えば、保護者に対する設問において、Q3「子どもと一緒に本を楽しんでいますか?」では「いつもしている」・「ときどきしている」との回答が86%（平成24年度85%）、Q9「読書は子どもの成長に重要だと思いますか?」では「思う」との回答が97%（平成24年度94.5%）、Q10「本を読む子どもを育てるために必要なものは何ですか?」では「家庭での読書の習慣づけ」「身近な大人の働きかけ」との回答が延べ54%（平成24年度と同率）という結果が出ており、こうした周囲の大人による働きかけが要因として挙げられます。それに連動して、家庭や学校での読み聞かせ活動やおはなし会参加の定着も理由として考えられます。

(2) 学校図書館及び市立図書館の利用状況

Q11「授業以外で、1週間にどのくらい学校の図書室に行きますか?」という設問に対して、「行かない」と回答した小学生は27%（平成24年度10%）、中学生は42%（平成24年度56%）、高校生は77%（平成24年度86%）となり、小学生の学校図書室の利用率が低下しました。理由としては今回のアンケートで新たに設けたQ12「Q11で「行かない」と答えた人に質問します。図書室に行かないのは、なぜですか?」という設問で、小学生は「他の遊びの方がおもしろいから」という回答が46%で最も多く、次いで「時間がないから」という回答が22%となっています。学校の図書室へ足を運ぶきっかけをつくるために、本の楽しさを伝える必要があります。また、中学生は「他の遊びの方がおもしろいから」が31%、高校生は「時間がないから」が39%と最も多い回答となっています。この設問では、「他の遊びの方がおもしろいから」という回答は年代が上がるにつれ減少していき、「時間がないから」という回答は年代が上がるにつれ増加していくという特徴的な傾向が見られました。年代が上がるにつれ外への行動範囲が広がることが要因の一つとして考えられますが、中高生においてもおもしろいと思える本との出会いづくりや学校の図書室を身近に感じられることがあれば、学校の図書室へ行くきっかけになるかもしれません。学校内での働きかけも大切です。

Q13「1週間にどのくらい府中市立図書館に行きますか?」という設問に対し

て、「行かない」と回答した小学生は32%（平成24年度26%）、中学生は49%（平成24年度と同率）、高校生は74%（平成24年度86%）となり、市立図書館においても小学生の利用率が低下しました。理由としては今回のアンケートで新たに設けたQ14「Q13で「行かない」と答えた人に質問します。図書館に行かないのは、なぜですか？」という設問で、小学生は「他の遊びの方がおもしろいから」という回答が36%で最も多くなりましたが、同じくらいの割合で「時間がないから」という回答も34%となりました。これは、学校図書室の設問と同様の結果でした。また、中学生は「時間がないから」が51%、高校生も「時間がないから」が34%と最も多い回答になっています。中学生にとって、学校図書室よりも市立図書館へ行くということは、より時間を割かれてしまうという懸念があるようです。高校生は「時間がないから」と同じくらいの割合で「図書館の場所がわからないから」という回答が31%となっており、市立図書館の認知度を高めるために、積極的にPRしていく必要があります。

(3) アンケート結果の利用

第4期計画策定に向けてのアンケート調査結果については、調査に協力いただいた学校や幼稚園、保育所にそれぞれの結果をフィードバックしました。各施設において、この結果を子どもの読書指導に活用し、新たな取組が展開されることを府中市子ども読書活動推進委員会は期待しています。

4 今後の課題と方向性

今後も継続して市内関係機関との連携を図り、総合的かつ計画的に取組を進めます。子どもたちへの多様な読書のきっかけを提供できる読書環境の充実が主たる課題と考えています。

子どもが読書習慣を身に付けるためには、家庭、地域及び学校が一体となって読書に親しむ環境をつくることが重要ですが、身近にいる大人が読書を楽しみ、読書の大切さを子どもに伝えられるよう啓発活動を行うことも必要です。そのために、子ども読書の日関連事業や市内関連施設で行われている読み聞かせ活動、本や読書に関わる事業の認知度を上げる必要があります。

今年度のアンケートにおいて、1か月に1冊も本を読んでいないと回答した小学生は4%（平成24年度と同率）、中学生は9%（平成24年度と同率）、高校生は52%（平成24年度55%）でした。平成24年度アンケート実施時と小・中学生は変化がなく、高校生に改善が見られました。これは、子ども読書活動推進計画の下、乳幼児からYA世代までの切れ目のない取組により、不読率（1か月に1冊も本を読んでいない児童・生徒の割合）の一部減少につながったと考えています。今後、第4期計画終了時には、この不読率が小学生で1ポイント、中学生で2ポイントの減少となることを目指していきます。

そのために、府中市子ども読書活動推進委員会の話し合いだけでなく、府中市立図

書館サービス検討会議などからの意見も参考にし、より客観的な判断の上、乳幼児の保護者からＹＡ世代に至るまで、きめ細やかな事業を検討し、より効果的な取組を実践していきます。

第2章 計画の基本的な考え方

1 計画の目的

この計画は、市と市民が手を携えて、子どもの読書環境をより一層整備することにより、子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付け、個性豊かで、健やかに成長し、人生をより豊かに生きることを目的とします。

2 計画の性格

この計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づき、本市が策定する計画です。また、平成29年度までの「府中市子ども読書活動推進計画」を更に充実・展開させる計画として位置付けます。

3 計画の視点

(1) 子どもの自主性から生まれる読書

読書は、自由で個人的な営みです。読書を強制するのではなく、読書環境を整備することにより、子どもの自主性から生まれる読書を支援します。

(2) 子育ての中の読書

子どもの身体の成長にバランスのとれた栄養が必要であるように、子どもの心の成長には、周囲の愛情や仲間との遊び、様々な体験や学習が必要です。その中の重要な要素の一つとして、読書を位置付けます。

(3) 習慣としての読書

読書が日常的な習慣として行われるよう、本に親しめる環境を整備するとともに、子どもの発達段階に応じて読書への働きかけを行います。

(4) 生涯学習としての読書

生涯学習における読書の役割は重要です。子ども時代の読書を生涯学習の入口と位置付けます。

(5) 情報社会における読書

小学校中学年以降には、学校においてパソコン教室での授業が導入され、子どもたちもパソコンに親しむ機会が増えてきています。また、家庭生活の中でも学齢が上がるにつれて、パソコンのほかに携帯電話やスマートフォン、タブレット端末、ゲーム機器など様々な電子機器を経由し、インターネットを日常的に利用するようになっていきます。さらに、近年ではSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などの普及から、子どもが目にする情報があふれています。本や新聞、雑誌やテレビなどと並列し、インターネットという情報供給源が子どもにとって

より身近に存在している現状があるといえます。子どもたちが情報の渦に巻き込まれるおそれのある昨今において、正しい情報なのか誤った情報なのかという取舍選択は大人でも難しいものです。子どもたちが間違った解釈をすることがないよう、子ども読書の見地からも検討していきます。

(6) 学校図書館と市立図書館の連携による読書

子どもが日常的に利用する学校図書館と市立図書館が、互いに資料の充実を図り、更に連携をして充実した読書環境を整えます。

(7) 地域との連携による読書

読書環境の充実を広く図るには、市とボランティアや地域の住民との連携が必要です。活動の場の提供や様々な情報交換、交流などを行います。

4 計画の期間

平成30年度から平成35（2023）年度までの6年間とします。

5 計画の対象

0歳からおおむね18歳までの子どもとその保護者を対象とします。

第3章 計画の目標及び目標を達成するための取組

子どもたちの読書活動や読書環境の現状を踏まえ、第4期計画の読書活動を推進するために、5つの目標を設定します。

計画目標

- 1 市立図書館、学校図書館など、子どもが本に親しむための読書環境を拡充します**
- 2 家庭、地域、学校及び図書館が連携して、子どもの発達段階に応じた本との出会いの機会を提供します**
- 3 子ども読書活動を支えていくために、子どもに関わる関係施設や関係部署、地域の市民団体などが連携して、読書活動を推進します**
- 4 子ども読書活動の取組を推進するために、人材を育成し、活動の担い手を増やします**
- 5 子どもだけでなくその保護者も対象に、読書の意義や楽しさについて啓発し、読書活動に関する事業の情報を提供します**

1 子どものための読書環境の拡充

市立図書館、学校図書館など、子どもが本に親しむための読書環境を拡充します

(1) 市立図書館

中央図書館と12か所の地区図書館にサービス拠点を持ち、多くの利用層に向けて資料提供などの役割を担っています。子どもたちが、身近な環境で本と出会い、読書に親しめる機会を持てるように、幅広い資料の充実と読書環境の拡充に努めます。常に新しい情報の収集を行い、調べ学習の利用、団体貸出や学級貸出においても円滑な対応ができるように努めます。また、中高生向け資料を提供するYA（ヤングアダルト）コーナーを全館で充実させていきます。

ア 中央図書館

中央図書館は、サービスの中核として、幅広い利用者のニーズに対応できる体制を整えています。

児童サービスにおいては、府中市子ども読書活動推進計画の下に、子どもの読書環境を整え、読書に親しむ機会を提供することで、今後も更に魅力のある図書館の運営に努めます。

イ 地区図書館

市内には、文化センター、生涯学習センター及びふるさと府中歴史館に併設された12の地区図書館が配置されています。そのため、施設の拡大は難しいのが現状です。しかし、限られたスペースの中でも、子どもが本に親しむ工夫を行い魅力的な図書館づくりを目指しています。

地区図書館は、子どもたちが最初に出会う図書館であるというケースも数多いと考えられます。そして、子どもたちは成長するにつれ、ひとりで近くの地区図書館へ足を運び、身近な環境の中で本に親しむ機会を持つことができます。

子どもたちが読書を日常生活の一部に感じてもらえるよう、今後も引き続き、中央図書館とは異なる、地区図書館としての役割を意識しながら運営していきます。

(2) 学校図書館

ア 施設・設備

学校図書館は、児童・生徒の豊かな心を育む「読書センター」としての機能に加え、自主的な学習活動をサポートする「学習・情報センター」として学校教育の中核的な役割を担うことが期待されます。司書教諭や学校司書を中心に、書架のレイアウトを変更するなど、利用しやすく、子どもが集まる魅力のある学校図書館を目指した工夫を行うとともに、校舎整備などの機会を捉え、ハード面からも学校図書館の整備に努めます。こうした取組の中から、施設・設備のモデル校

的な事例を作っていきます。

イ 図書資料

学校図書館には、教育活動の展開に寄与し、児童・生徒を健全に育成する「読書センター」及び「学習・情報センター」としての役割が求められています。そこで、学習指導要領や府中市採択教科書及び郷土に関する図書資料の収集を積極的に行うことで、子どもたちが豊かに学べる場とします。

そのためにも、学校図書館担当者連絡協議会を図書館運営に関する情報が得られる場とするとともに、学校図書館図書廃棄規準等を学び、蔵書の更新が行える研修の場として充実していきます。

ウ 子どもが利用したくなる学校図書館運営

学校図書館は、「読書センター」であるとともに、「学習・情報センター」の役割を担っています。平成29年度全国学力・学習状況調査の児童・生徒に対する質問紙調査と教科に関する調査の結果から、府中市では、読書が好きと回答した児童・生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高い傾向が見られました。こうした傾向から、読書が好きになることと、学習の成果との相関関係も見てとれるため、これからも自主性から生まれる読書を促進するための環境整備に努めていきます。そして、司書教諭、学校司書を始めとする学校図書館担当者が、子どもたちが利用したくなる魅力ある学校図書館を運営するために、それぞれの役割を明確にし、円滑に事務等が行えるよう学校図書館運営マニュアルを策定しました。今後は、同マニュアルをニーズや実態に合わせて毎年更新し、より魅力ある学校図書館づくりの手引となるよう改善していきます。

(3) 心身障害者福祉センター「きずな」、子ども家庭支援センター「たち」、保育所、幼稚園、学童クラブなど

子どもの自主的な読書活動を促すため、限られた施設の中でも読書コーナーを設けるなど、創意工夫により、本を楽しむことができる環境づくりを行います。子どもが日常的に過ごす施設なので、身近に本がある環境を整備する必要があります。図書館から団体貸出を受けたり、リサイクル図書を利用するなどの方法で、常に魅力ある蔵書構成にしていきます。

ア 心身障害者福祉センター「きずな」では、ロビーに読書コーナーを設置して、障害の専門書のほか、子どもが読める本の貸出しを引き続き行います。

イ 本が親子の仲立ちになるよう、子ども家庭支援センター「たち」の交流室やひろばを利用して、おはなし会で絵本の読み聞かせを行うなど、子ども読書の啓発事業を実施します。

ウ 保育所、幼稚園などでは、自由に絵本に触れ合える環境づくりを行います。また、読み聞かせなどを実施し、子どもが絵本を楽しみ、想像力を巡らせ、豊かな言葉に触れることができるように支援していきます。

エ 全ての学童クラブに読書コーナーを設置し、本に親しむ環境づくりを引き続き行います。

2 子どもと本との出会いの機会の提供

家庭、地域、学校及び図書館が連携して、子どもの発達段階に応じた本との出会いの機会を提供します

(1) 家庭の役割

子どもが読書習慣を身に付けていく上で、最初に影響を受けるのが家庭です。絵本や物語などを読み聞かせてもらったり、子ども自身が声に出して読むことに周囲が耳を傾けたりすることなどから、子どもは本の楽しさを知ります。子どもの年齢にかかわらず、家庭での関わりが大切です。読書のための静かな時間を確保するため、テレビを始め、様々なメディアとの関わり方を考える必要もあります。発達段階に応じて、家庭の中で楽しい読書の時間が増えていくように、読書環境を整えられるよう保護者への支援もしていきます。

(2) いつでも、どこでも、赤ちゃん絵本

地域コミュニティ課、文化生涯学習課、図書館、健康推進課、子育て支援課及び児童青少年課が連携し、母親学級などにおいて子どもの誕生前から家庭での習慣としての読書が根付くよう様々な働きかけを行います。子どもの感情を豊かにし、親子の絆を深める経験になるよう絵本に親しむ時間を引き続き大切にしていきます。

ア 3・4か月児健康診査の会場では、「赤ちゃん絵本文庫」を開設し、赤ちゃん向け絵本の紹介や貸出しを行い、乳幼児と絵本の出会いの機会を拡大していきます。健康診査当日、パンフレット「いっしょによもうよ 赤ちゃんえほん」を配付し、読書啓発を行っています。「赤ちゃん絵本文庫」では、健康診査の特設会場で、赤ちゃんの図書館利用カードを作成し、赤ちゃん絵本を貸し出すことで、その後の図書館利用への道筋をつくります。また、1歳6か月児健康診査でも「いち・ろく・おはなし会」を実施し、絵本との触れ合いや読み聞かせの促進を図ります。

イ 子育て広場ポップコーンや児童館のキッズルームなどでは、絵本の読み聞かせを行うなど、様々な機会を捉えて複合的な働きかけを行います。

おはなしボランティアとの協働で、広く市内で実施している「おはなしキャラバン」では、府中市美術館や女性センターなど、普段おはなし会を行っていない会場も使い、年2回（春・秋）の開催を継続していきます。

ウ 市立図書館では、赤ちゃん絵本コーナーを充実させ、長く読み継がれてきた優れた赤ちゃん絵本を紹介します。おすすめの図書資料が掲載してあるパンフレットの配布や「ちいさい子のためのおはなし会」、そのおはなし会後の「赤ちゃん絵本プチ講座」などを開催し、親子で絵本を楽しめる企画を充実させ、保護者とともに楽しみながら行える読書環境の整備に努めます。

(3) 市立図書館における本との出会い

市立図書館は子どもが本と出会い、読書を楽しむ機会を提供する場所です。図書資料の充実や職員の専門知識を高め、子どもの読書活動を支援します。

ア 図書館は資料の選択、収集及び提供をするほか、子どもからの本の相談（レファレンス）、保護者からの読書相談を受けるなど、子どもの読書活動を推進する上で、重要な役割を果たします。そのための知識と技術を持った専門職員の配置の充実を図ります。

イ 中央図書館及び地区図書館で実施している「おはなし会」「ちいさい子のためのおはなし会」のPRを拡大し、より多くの子どもの保護者に周知します。また、開催回数や日時を検討し、参加機会を増やすように努めます。

ウ 子どもが生活する様々な場所でいつでも本との出会いの機会が持てるよう地域の読み聞かせグループ、学校、幼稚園、保育所、学童クラブなど団体貸出の資料提供の充実を図ります。また、「読み聞かせ講習会」や各読み聞かせグループの依頼に応じて、絵本の読み聞かせについての指導や助言を行います。そして「読み聞かせに向く絵本のリスト」、「読み聞かせに向く物語のリスト」及び「読み聞かせハンドブック」を広く配布し、子どもと本との出会いの機会を様々な方面から支援します。

エ 児童・生徒が行う調べ学習の資料を充実させるとともに、図書館の利用や本の探し方を案内するパンフレットを広く配布し、利用者増加を図ります。

オ 中高生へのサービスとしてYA（ヤングアダルト）コーナーの拡充を図ります。魅力ある蔵書の充実と構成の広がりを図り、利用の拡大に努めていきます。また、大人への成長過程にある時期だからこそ薦めたい本や興味を持てるような幅広い資料の収集に努めます。YA世代が関心をもつテーマ展示やイベントを開催し、本に触れる機会を積極的につくっていきます。

中高生自身が作成した本の紹介やポスターなどの作品の掲示、学校案内の充実を図り、YAルームをより活用できるよう努めます。YA世代のコミュニケーションの場としても活用し、豊かな時間を共有できる場となるように取り組んでいきます。

カ 図書館のホームページを充実させて、子ども向けや青少年向けの催しやお薦め本などの情報を発信します。視覚的にも工夫をし、注目を集めるように作成します。

キ YA世代へのサービスの一環として、市内にある中学校・高校と連携し、団体貸出や本の情報提供などを積極的に行います。また、図書館を利用した調べ学習にも対応できるよう、資料の充実や職員の専門知識の向上に努めます。

ク 除籍した図書館資料を保育所や小学校など市内の子どもに関連する施設にリサイクル図書として提供し、子どもたちが市内の様々な場所で本に出会う環境を推進します。

コ 小・中学生の図書館見学や職場体験などを積極的に受け入れ、子どもたちの

読書に対する興味・関心を高めるよう努めます。

(4) 学校における本との出会い

学校は、児童・生徒が日常的に本と接することができる場です。「読書センター」である学校図書館を中核とし、本と出会う場所と機会の一層の充実が求められています。

ア 学校では、国語科において読書に関する学習活動を行うほか、他の教科の授業においても学校図書館を利用した学習活動を意図的・計画的に行い、子どもが本と出会える機会を充実することが大切です。

これまで実施している「朝読書の時間」など、読書活動の取組を継続・推進するとともに、小学校での読み聞かせの充実や図書委員会による読書集会等の全校的な取組により、子どもの読書習慣の形成を積極的に促します。

イ 学校図書館では、学校司書を中心に新刊本や季節に合わせた本、先生のお薦め本コーナーをつくるなどして、子どもたちが思わず本を開きたくなるように工夫をし、学校図書館の利用促進を図ります。

また、長期休業日中の開館を図書ボランティアの方の協力を得ながら進め、あらゆる機会に子どもたちが本と出会えるよう環境づくりを推進します。

ウ 読書週間等の機会を利用し、より多くの読書に挑戦する読書マラソンの実施や子ども同士による図書紹介等、本に親しみ、読書を楽しむ取組を実施します。

エ 文部科学省が設定する「学校図書館図書標準」の冊数に対する市立小・中学校の達成率は、平成28年度時点で小学校140.2%、中学校125.8%となっていますが、今後も図書購入予算の確保に努め、新刊・話題の本に触れる機会を持ったり、古くなった図書を更新したりできるようにします。

(5) 保健センターにおける本との出会い

乳幼児やその保護者向けに本との出会いの場を提供し、子どもの発達段階に応じた読書への働きかけを行っています。また、妊娠期の母親学級や両親学級では、絵本の案内、図書館の利用の仕方などを盛り込むほか、育児相談などでは子どもの情緒や言葉の発達を促していくために、読み聞かせなどの読書啓発を進めていきます。

ア 子どもと本の触れ合いについての大切さを妊娠期から意識を持ってもらうための啓発活動として両親学級で「パパママ文庫」を継続します。お母さんのお腹の中から出てくる赤ちゃんの気持ちを表現した本や愛着形成について赤ちゃん目線で書かれた本を置き、出産後の読み聞かせのイメージ作りをしていきます。乳幼児期には各種健診や相談事業を通して本と触れ合う場の提供を継続します。また、本を身近に感じられる機会として1歳6か月健診、3歳児健診では更生保護女性会や絵本ボランティアの協力の下、おはなし会や読み聞かせを行っています。

イ 3・4か月児健康診査で開催する「赤ちゃん絵本文庫」では、赤ちゃんと保護

者に対して絵本の読み聞かせを実施し、赤ちゃんの図書館利用カードを作成後、その場で本の貸出しを行い、図書館利用につなげていきます。

(6) 児童館、保育所、幼稚園、学童クラブなどにおける本との出会い

地域社会全体での多様な読書活動の展開により、子どもが読書をする場所を増やしていきます。中央図書館及び地区図書館から団体貸出を受けるなどの連携を行い、利用しやすくしていきます。

ア 児童館では、地区図書館とは別に独自の絵本の読み聞かせの実施や子ども向けに手作り絵本教室をいくつかの文化センターで実施するなど、本との出会いの場を設けます。

イ 保育所、幼稚園などでは、乳幼児や児童の成長の段階や興味・関心に応じて、絵本の読み聞かせ、おはなし、紙芝居及び読書の時間を設けます。これらの施設は、「おはなしキャラバン」の会場となっています。

ウ 学童クラブでは、指導員による絵本の読み聞かせや室内で過ごすときに自由に読書できる環境を整えるなど、読書に親しむ機会を提供します。

エ 市立図書館では、市立・私立保育所や幼稚園へのおはなし会日程表の配布、児童館などへ読み聞かせに適した本や長く読み継がれてきた本の紹介を行い、本との出会いの機会を提供していきます。各関係部署での読書活動が、地域におけるつながりの中で拡充するよう支援していきます。

(7) 障害のある子どもの読書活動

障害のある子どもが読書活動を行う環境を整備するため、図書館はさわる絵本や布の絵本、児童向け大活字本、点字資料や録音資料などの整備・活用を図るとともに、点字図書館など専門機関や関連部署との連携を図っていきます。また、拡大読書器、音声読上げ機など障害者が活用しやすい機器の利用を促進します。

さらに、音訳ボランティアや布の絵本手作りボランティア、点訳ボランティアとの連携を図り、対面朗読や資料の収集・充実を実施します。学校、保育所、心身障害者福祉センターなどでは、図書資料を活用し、それぞれの子どもの発達段階に応じた対応を進めます。

障害のある子どもの図書館見学や職場体験を通し、学校との連携を図り、図書館に親しみ、読書への興味や関心を引き出すことに努めます。

(8) 国際交流に向けての読書活動

ア 保育所では、外国語を母国語とする子どもや帰国児に対して、本の内容をイメージするきっかけになる写真や挿絵が中心の図書を用い、絵本への興味を促すとともに、楽しさを伝えていきます。

イ 学校図書館では、外国の言語や文化に関する書籍、外国語の絵本等を集めたコーナーの設置や日本の文化・伝統に関する書籍を集めたコーナーの設置等を

通して、子どもたちが様々な言語や文化に触れる機会を充実させることにより、国際理解・国際交流の素地を育てます。

ウ 市立図書館では、外国語を母国語とする子どもたち及び外国語に関心のある子どもに対するサービスとして、外国語の絵本や児童書を収集して提供をしています。読書を通して多文化に触れる機会ができるように、原書と翻訳本を並べて展示するなど、関心や興味に沿った紹介をしながら、今後も様々な資料を収集し、利用促進を図ります。

(9) 東京オリンピック・パラリンピックに向けての読書活動の支援 **新規**

ア オリンピック・パラリンピックの歴史や日本の伝統・文化を知るきっかけになるように、絵本と触れ合う支援をしていきます。

イ オリンピック・パラリンピックの関連書籍を配架し、オリンピック・パラリンピックに関する調べ学習に活用するなど学校図書館の機能を活用したオリンピック・パラリンピック教育の推進を図ります。

ウ 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、市立図書館では特集展示を行っていきます。また、オリンピック関連の調べ学習に対応できるようオリンピック・パラリンピックや国際交流などの資料を収集します。さらに、オリンピック関連資料を集めた学級貸出セットをつくり、学校での事前学習に対応できるよう支援していきます。

3 読書推進体制の整備

子どもの読書活動を支えていくために、子どもに関わる関係施設や関係部署、地域の市民団体などが連携して、読書活動を推進します

- (1) 府中市子ども読書活動推進委員会を定期的開催し、関係部署が連携・協力しながら子どもの読書活動の推進に向けて取り組んでいきます。なお、毎年度、進捗状況を確認し、検証していきます。
- (2) 府中市子ども読書活動推進委員会主催の「おはなしキャラバン」では、おはなしボランティアとの協働で、年2回（春・秋）市内の公共施設6か所において、手あそびや絵本の読み聞かせなどを行います。
- (3) 学識経験者、学校教育関係者や公募による市民等で構成されている府中市立図書館サービス検討会議からも意見を伺い、子ども読書活動推進を図っていきます。
- (4) 絵本の読み聞かせなどを家庭、ボランティア、NPOなど地域ぐるみで推進するため、様々な情報収集を行うよう努めます。

- (5) 学校図書館担当者連絡協議会などに市立図書館の児童サービス担当が参加することにより、情報交換や図書館業務に沿った研修を行うなど緊密な連携を図ります。教諭の研修の場として、図書館を利用することで、より円滑な連携を図ります。また、PFI事業の中で、現在行っている学級貸出の本の配送便を効率的に運用し、学校が利用しやすいよう改善していきます。さらに、学校で利用頻度の高い調べ学習及び野外学習の資料を学校図書館に備えられるよう、担当者間で協力していきます。

4 人材の育成・活用

子ども読書活動の取組を推進するために、人材を育成し、活動の担い手を増やします

(1) 職員の養成研修

子どもの読書活動の推進を図るためには、子どもの本や読書活動、調べ学習などに関する知識と技術を有する職員の配置や養成が不可欠です。職員の専門的な研修への参加や職場内で研修を行う体制を整え、専門性の向上及び知識と技術の共有を図ります。

(2) 市民の養成研修

地域でのボランティア活動が高まり、活動の幅も広がっている中、保育所などにおいてもボランティアが経験を積んで成長していく養成の場になるよう受け入れを行っていきます。

文化生涯学習課では、「ふちゅうカレッジ出前講座」を実施しています。講座メニューの一つである「子どもに絵本を」では、図書館職員が講師となり、市民の依頼に応じて、読み聞かせの仕方や絵本の選び方などを、学習会などに出向いてお話しします。

市立図書館では、市民対象の「読み聞かせ講習会」を毎年実施し、絵本の読み聞かせやお話（ストーリーテリング）などを行う人材を育成します。また、「ふちゅうカレッジ出前講座」や学校からの要望に応じて、図書館職員がおはなしボランティアグループや学校の読み聞かせボランティアなど個別の団体に向けて、読み聞かせや絵本に関する基本的な講座を実施します。

(3) 市民ボランティアの仕組づくりと活動支援

地域で読み聞かせやおはなし会で活躍している方、優れた知識・技能を持つ方が、身近な場所でボランティアとして積極的に活動できる仕組をつくります。子どもが関わる施設では、読み聞かせ、おはなし会で絵本の紹介を行い、保護者にも絵本を身近なものと感じてもらえるようにします。また、ボランティアを必要としている

部署や団体への情報提供などを行い、活動の場を広げていくために支援します。

(4) ボランティアとの連携

ア 保育所でのおはなし会を行うことにより、市民ボランティアの知識や技術のレベルアップを目指します。

イ 各学校では、図書ボランティアが、読み聞かせや学校図書館の環境整備、蔵書管理の支援などに携わっています。読み聞かせなどでは、10年以上の長きにわたってボランティアとして活動していただいている方もいます。今後も、学校図書館担当の教員や学校司書とボランティアの方々との連携を深めることで、子どもたちの読書活動の一層の充実を図ります。

ウ 文化生涯学習課では、「読み聞かせ」などの活動を行う生涯学習サポーターや社会教育関係団体を活用した交流を目指します。

エ 市立図書館で登録しているおはなしボランティアと連携し、定期的を開催するおはなし会の拡充を図ります。さらに、保育所、学童クラブや子育て支援センター「たち」などで市民ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施します。市立図書館では、おはなしボランティアを対象にした「ステップアップ講座」を充実させ、人材育成と能力向上に努めます。また、「布の絵本」の手作りボランティアと連携し、資料の充実を図ります。

5 啓発・広報

子どもだけでなくその保護者も対象に、読書の意義や楽しさについて啓発し、読書活動に関する事業の情報を提供します

(1) 「子ども読書の日」及び「家庭の日」の取組

4月23日の「子ども読書の日」に合わせて、「おはなしいっぱいの会」、「おはなしキャラバン」、「たびたびキャンペーン」など、子どもが参加できる様々なイベントを実施し、読書への関心や理解を深め「子ども読書の日」をPRしていきます。また、第4土曜日の「家庭の日」に合わせて、親子で絵本に親しむためのイベントなどを実施します。

(2) 「子どもの読書月間」の取組

毎年10月を「子どもの読書月間」として、関係部署が読書、子育て、遊びなどをテーマにした講演会や各種イベントなどを集中して実施し、子育てにおける子どもの読書環境の向上や読書の必要性について周知を図ります。

(3) 推薦図書リストの作成及び配布

赤ちゃん絵本の紹介や、夏休みに児童や生徒に薦める本のリストの作成・配布を継続していきます。「とっておきの本 100さつ 小学生」及び「とっておきの

の本 30冊 中学生」を作成・配布し、子どもたちがいろいろな本に手を伸ばしやすい環境をつくれます。また、「読み聞かせに向く絵本のリスト」及び「読み聞かせに向く物語のリスト」を定期的に改訂し、さらに、読み聞かせの方法を紹介した「読み聞かせハンドブック」を配布して活用を促進します。

(4) 各分野における情報提供

広報紙やホームページなどに情報を掲載するなど、様々な年代に分かりやすく印象に残る広報の仕方を工夫します。各関係部署との連携を深め、情報支援や人的交流を促進し、読書活動に関する情報提供を推進するとともに、情報発信の拡充にも努めます。

ア 子どもが参加できる読書に関するイベント情報を「子育てのたまたま箱」や子育てサイト「ふわっと」に掲載し、周知を図ります。

イ 子ども読書活動の充実・発展につながる情報を、児童・生徒はもとより保護者や教育関係者にも周知するため、教育委員会の広報紙「ふちゅうの教育」を情報提供の場とします。

ウ 児童・YA世代への市立図書館情報発信として、図書館発行の紙媒体の図書リストなどに加えて、ホームページに掲載する情報の見直しを行い、おはなし会事業、イベント情報、府中を学ぶための調べ学習といった必要な情報を、取得しやすくなるようにしていきます。児童サービスにおいては、子ども読書の日、夏休み、子どもの読書月間などに合わせて、効果的な広報の仕方を工夫し、情報を発信していきます。YAサービスにおいては、ホームページに職場体験、夏休みイベント、各館のYAコーナー、新刊情報などを掲載し、図書館についての認知度を高めていきます。保護者への情報提供も行い、意識啓発に努めます。

(5) 図書館見学、職場訪問及び職場体験の取組

図書館では、小学校が行っている町たんけんや図書館見学、中学生・高校生を対象とした職場訪問、職場体験、ボランティア等を積極的に受け入れます。図書館を見学する子どもたちに、図書館利用や読書についてPRしていきます。職場体験生には、本の紹介カードの作成や図書館イベントの支援などを体験してもらうことにより、読書への意欲や興味・関心につながる体験学習の活用を進めます。

第4章 取組項目の担当と今後の展開

1 子どものための読書環境の拡充

(1) 市立図書館

取 組	担 当 課	今後の展開
中央図書館の読書環境の発展	図書館	拡充
地区図書館の読書環境の発展	図書館	拡充
図書資料の充実	図書館	継続
団体貸出・学級貸出資料の充実	図書館	継続

(2) 学校図書館

取 組	担 当 課	今後の展開
学校図書館の施設・設備のモデル校的な事例の実施	学校施設課・指導室	拡充
学校図書館担当者連絡協議会の充実	指導室	継続
学校図書館運営マニュアルの活用	指導室	拡充

(3) 心身障害者福祉センター「きずな」、子ども家庭支援センター「たっち」、保育所、幼稚園、学童クラブなど

取 組	担 当 課	今後の展開
子ども家庭支援センターでの読み聞かせ	子育て支援課	継続
読書スペースの確保	保育支援課・学務保健課・障害者福祉課・児童青少年課	継続
身近に本がある環境の充実	保育支援課・学務保健課・障害者福祉課・児童青少年課	拡充

2 子どもと本との出会いの機会の提供

(1) 家庭の役割

(2) いつでも、どこでも、赤ちゃん絵本

取 組	担 当 課	今後の展開
母親学級での読書啓発	健康推進課	継続
「赤ちゃん絵本文庫」「いち・ろく・おはなし会」の実施	健康推進課・図書館	継続
子育て広場ポップコーンでの読み聞かせ	保育支援課	継続
児童館での読み聞かせ	地域コミュニティ課	継続
赤ちゃん絵本コーナーの充実	図書館	継続
赤ちゃん絵本の紹介	図書館	継続
「ちいさい子のためのおはなし会」「赤ちゃん絵本プチ講座」の実施	図書館	継続

(3) 市立図書館における本との出会い

取 組	担 当 課	今後の展開
本の相談・レファレンス体制の充実	図書館	拡充
「おはなし会」の充実	図書館	拡充

「ちいさい子のためのおはなし会」の充実	図書館	継続
団体貸出・学級貸出資料の充実	図書館	継続
絵本の読み聞かせや本の選び方への支援	図書館	拡充
調べ学習や図書館利用の支援	図書館	拡充
YA（ヤングアダルト）コーナーの充実	図書館	拡充
図書館ホームページの充実	図書館	拡充
市内の中学校・高校との連携	図書館	継続
リサイクル図書の市内関連施設への提供	図書館	拡充
児童・生徒の図書館見学や職場体験の積極的な受入	図書館	拡充

(4) 学校における本との出会い

取 組	担 当 課	今後の展開
読書機会の継続と時間の確保	指導室	拡充
読み聞かせの実施	指導室	継続
学校図書館の利用促進	指導室	拡充
特色を活かした読書活動の展開	指導室	拡充
図書資料の拡充及び古い資料の買い替え促進	教育総務課	継続

(5) 保健センターにおける本との出会い

取 組	担 当 課	今後の展開
「赤ちゃん絵本文庫」等の充実	健康推進課・図書館	継続
母親学級などでの読書支援	健康推進課	継続

(6) 児童館、保育所、幼稚園、学童クラブなどにおける本との出会い

取 組	担 当 課	今後の展開
絵本の読み聞かせや読書の時間の実施	地域コミュニティ課・保育支援課・学務保健課・児童青少年課	拡充

(7) 障害のある子どもの読書活動

取 組	担 当 課	今後の展開
さわる絵本・布の絵本・大活字本の充実	図書館	拡充
点字資料・録音資料の整備	図書館	拡充
専門機関や関連部署との連携	障害者福祉課・図書館	拡充
障害のある子どもが活用しやすい機器の整備	図書館	拡充
障害のある子どもに対する読書支援	障害者福祉課・保育支援課・指導室・図書館	拡充

(8) 国際交流に向けての読書活動

取 組	担 当 課	今後の展開
外国語資料の収集・提供	図書館	継続
外国語資料のPRと活用	保育支援課・指導室・図書館	拡充

(9) 東京オリンピック・パラリンピックに向けての読書活動の支援

取 組	担 当 課	今後の展開
オリンピック関連資料の収集・活用	保育支援課・指導室・教育総務課・図書館	新規

3 読書推進体制の整備

取 組	担 当 課	今後の展開
子ども読書活動推進委員会の実施	関係各課	継続
子ども読書活動推進委員会主催事業の実施	関係各課	継続
府中市立図書館サービス検討会議の開催	図書館	継続
ボランティアとの協働・情報収集	文化生涯学習課・図書館	継続
学校と図書館の連絡会の開催	指導室・図書館	拡充
学級貸出の本の配送	図書館	継続

4 人材の育成・活用

取 組	担 当 課	今後の展開
職員及び市民ボランティアの人材育成・連携	関係各課	継続

5 啓発・広報

(1) 「子ども読書の日」及び「家庭の日」の取組

取 組	担 当 課	今後の展開
子どもの読書に関する行事などの実施	図書館・関係各課	拡充

(2) 「子どもの読書月間」の取組

取 組	担 当 課	今後の展開
子どもの読書に関するイベントや講演会などの実施	図書館・関係各課	継続

(3) 推薦図書リストの作成及び配布

取 組	担 当 課	今後の展開
赤ちゃん絵本の紹介	図書館	継続
夏休みに薦める本の紹介	図書館	継続
読み聞かせに適した本の紹介	図書館	継続

(4) 各分野における情報提供

取 組	担 当 課	今後の展開
子どもの読書に関わる事業の効果的な広報実施	関係各課	拡充
児童・YA世代への情報発信	図書館	拡充

(5) 図書館見学、職場訪問及び職場体験の取組

取 組	担 当 課	今後の展開
図書館見学、職場訪問、職場体験の受入れ	図書館	継続

参考資料 1

「第 4 期府中市子ども読書活動推進計画」に関するアンケート調査の結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「第 4 期府中市子ども読書活動推進計画」の策定に当たり、これまでの子ども読書活動推進計画に基づく事業成果の確認や、子どもの読書環境・読書意識等の現状を把握し、更に読書活動を推進するための基礎資料として活用するために実施します。

(2) 調査対象

保護者

- ① 保健センター（1 歳 6 か月児健診実施時）
- ② 市内幼稚園 3 か所
- ③ 市立保育所 3 か所

保護者と児童・生徒

- ① 市立小学校 3 校（対象 児童 5 年生全クラスと全学年の保護者）
- ② 市立中学校 3 校（対象 生徒 2 年生全クラスと 2 年生の保護者）

生徒

- ① 市内の都立高校 1 校（対象 生徒 2 年生全クラス）

(3) 調査票

- ① 児童・生徒用（小学生・中学生・高校生共通）
- ② 保護者用

※ ①②共に記入しやすいように選択設問形式とし、第 3 期計画策定時に実施したアンケートとの対比も想定した構成としました。また、アンケートの設問作成に当たっては、府中市立図書館サービス検討会議の協力をいただいています。

(4) 調査方法

保護者用調査

保健センターでは、健診受付で調査用紙を配付して、健診終了後に回収しました。

幼稚園、保育所、小学校及び中学校では、調査用紙を自宅に持ち帰り記入していただき、後日回収しました。

児童・生徒用調査

小学校、中学校及び高校では、クラスごとに実施し回収しました。

(5) 調査期間

平成29年6月

(6) 配付枚数及び回収率

保護者

① 保健センター

配付枚数	回収枚数	回収率
	120	

② 保育所

配付枚数	回収枚数	回収率
315	153	49%

③ 幼稚園

配付枚数	回収枚数	回収率
766	602	79%

保護者と児童・生徒

① 小学5年生

児童			保護者		
配付枚数	回収枚数	回収率	配付枚数	回収枚数	回収率
258	244	95%		791	

※ 同学年に兄弟がいる場合は、保護者へは1枚のみ配布しています。

② 中学2年生

生徒			保護者		
配付枚数	回収枚数	回収率	配布枚数	回収枚数	回収率
612	530	87%	612	274	45%

生徒

① 高校2年生

配付枚数	回収枚数	回収率
281	264	94%

2 調査結果

調査結果の集約に当たり、内容から5つのグループに分割することにしました。

- (1) 本への興味
- (2) 子どもたちの読書実態
- (3) 保護者の考える子どもと読書の関係
- (4) 施設の利用状況
- (5) 認知度調査

保護者へのアンケートと子どもたちへのアンケートを全て集約し、上の5グループの分類に当てはめた形で調査結果資料を作成しました。

平成24年の第3期計画策定時のアンケート結果と比較できるものは、対比できるように表記しました。また、資料中にアンケート結果のグラフなどとともにコメントを付加しています。

なお、グラフなどで構成した資料の後には実際の回答件数を掲載した一覧表を付け加えています。

子どもの読書活動についてのアンケート結果

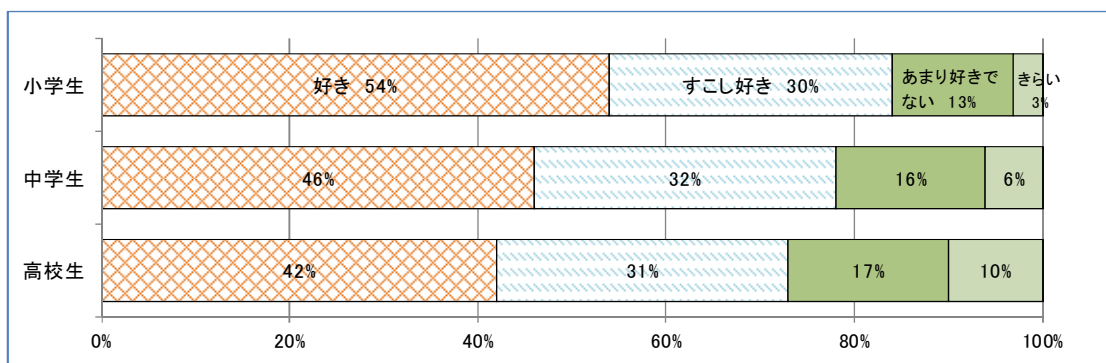
《本への興味》

この計画を進める上で、まず把握すべきことは、「子どもたちと本との結びつき」といえます。

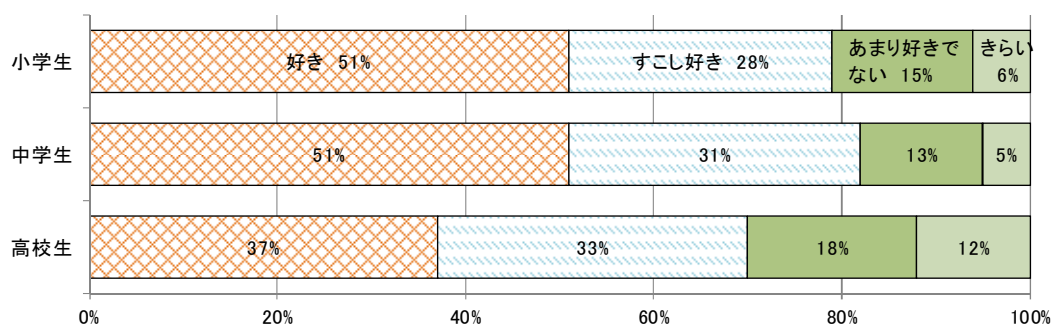
読書と子どもたちとの関わりについて調査しました。

① 本を読むことが好きですか？

【平成29年】



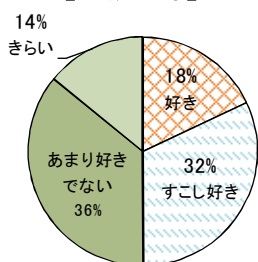
【平成24年調査時】



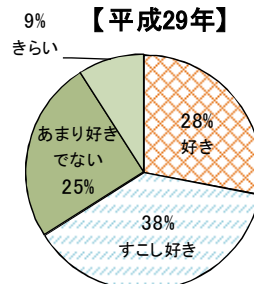
「好き・すこし好き」と、「あまり好きではない・きらい」の割合を見ると、中学生は平成24年調査との変化はほとんどありません。小学生及び高校生では「好き」の割合が増加しています。

② 本を読んでもらうことが好きですか？ …小学生

【平成24年】

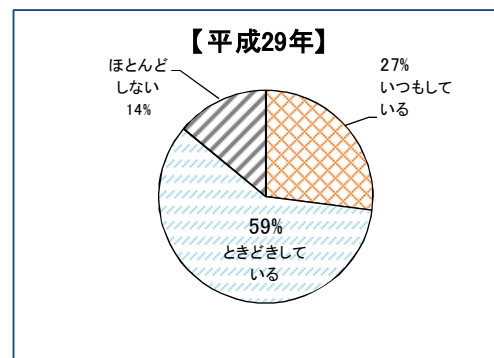
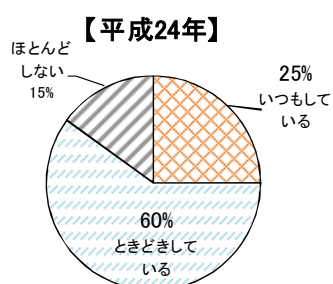


【平成29年】



「好き・すこし好き」の回答が前回と比べて16%増加し、66%となりました。

③ 子どもと一緒に本を楽しんでいますか？ …保護者のみ



平成24年調査との変化はほとんどありませんでした。少しでも楽しんでいると答えた割合は86%でした。

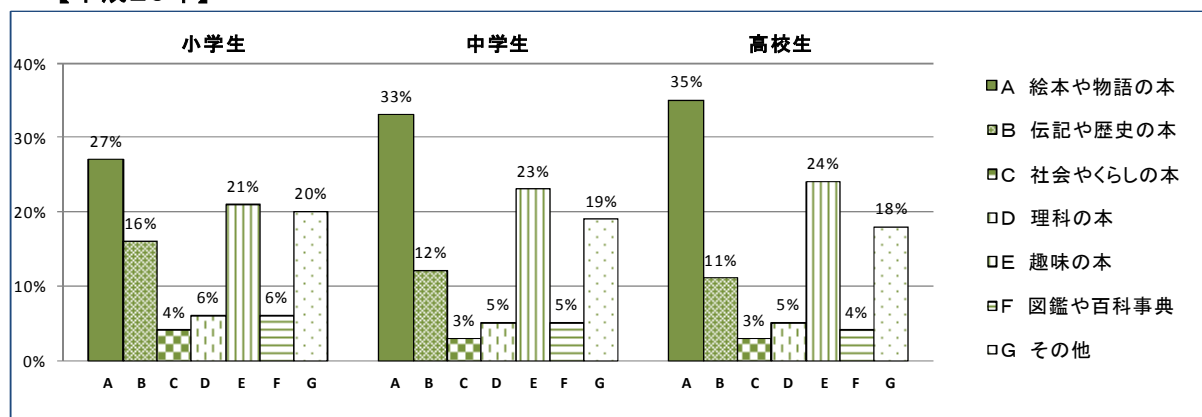
多くの保護者が子どもと一緒に、本に触れ合っていることが分かります。

《子どもたちの実態》

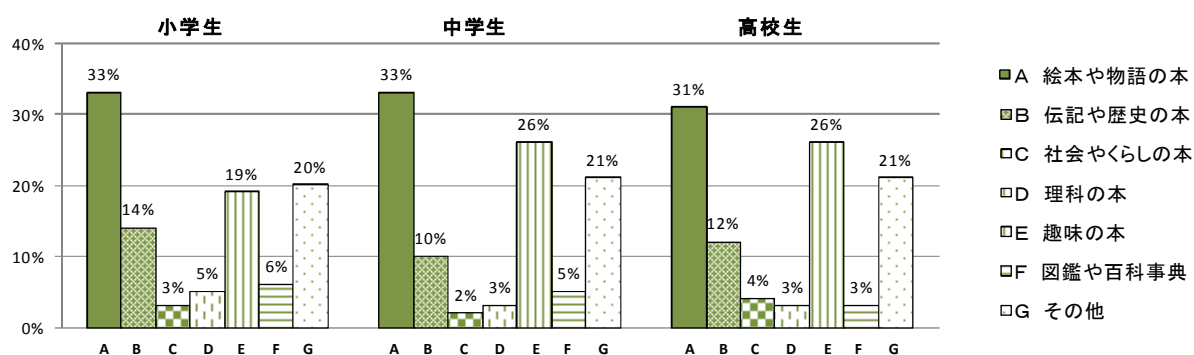
子どもたちの読書に対する考え方や、日常の実態についての調査をしました。

④ どんな本が好きですか？

【平成29年】



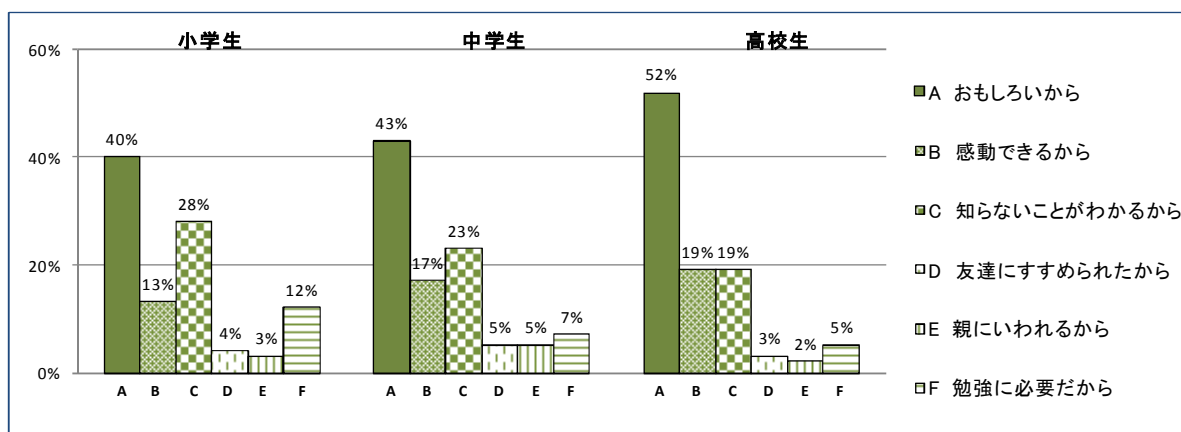
【平成24年調査時】



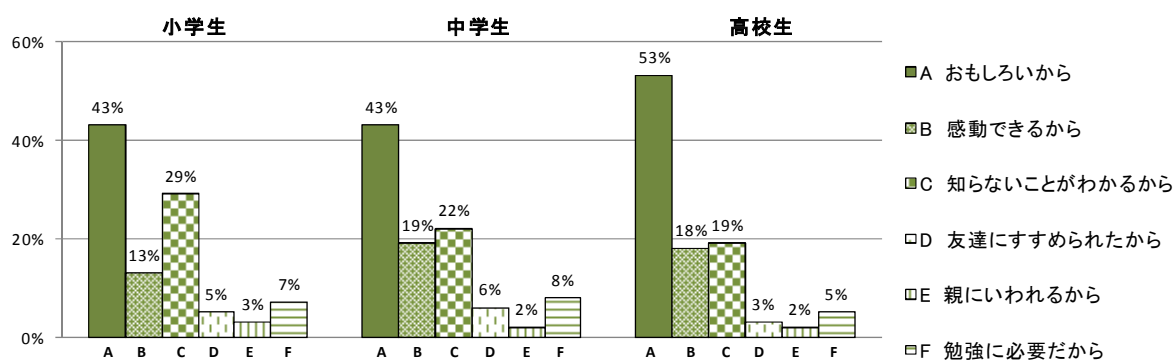
各年代ともに「絵本や物語の本」が最も多く、次いで「趣味の本」・「その他」が多い傾向にあります。

⑤ 本を読むのはどうしてですか？

【平成29年】



【平成24年調査時】

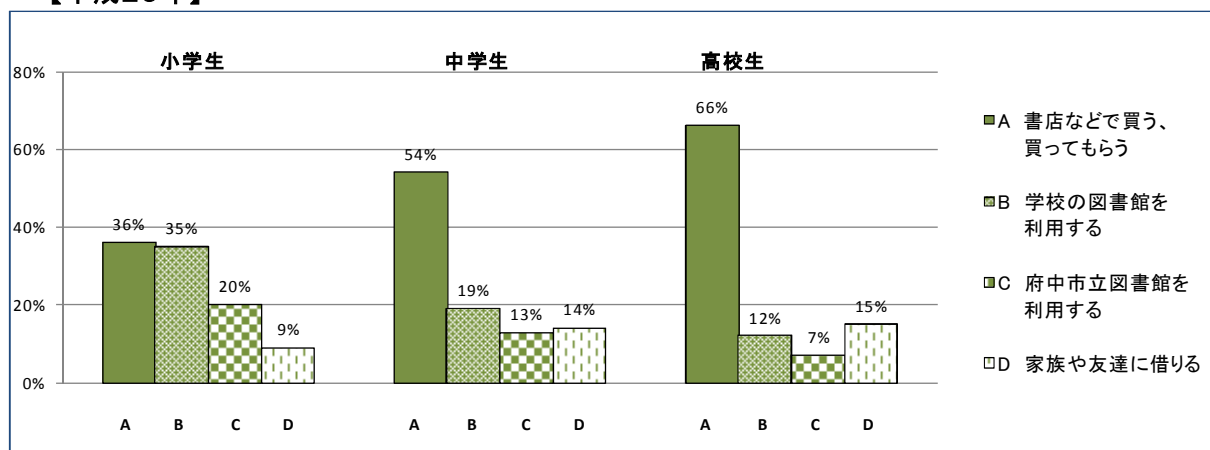


各年代ともに「おもしろいから」・「知らないことがわかるから」・「感動できるから」といった理由が多くを占めています。

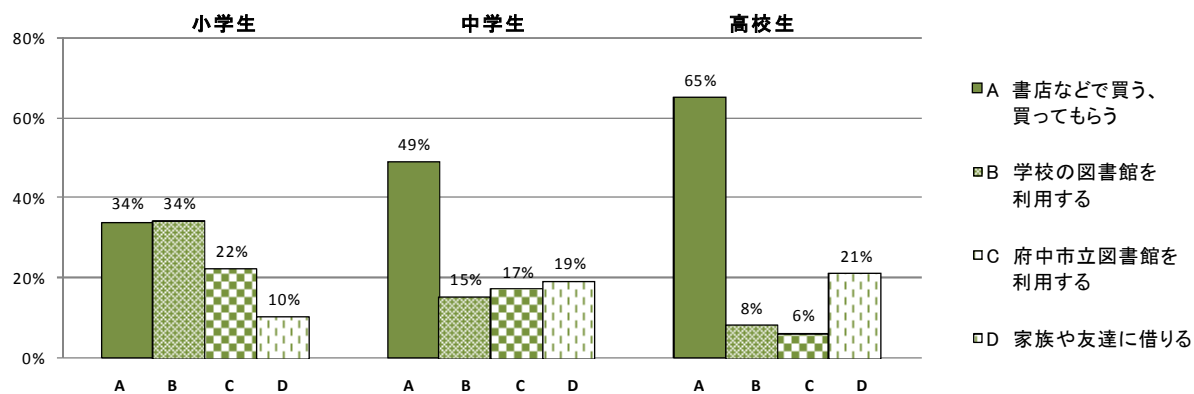
小学生については、「勉強に必要だから」という理由も12%ありますが、中高生は勉強のためというよりも自分の楽しみのためという理由が多く見られます。

⑥ 読みたい本はどのように手に入れますか？

【平成29年】



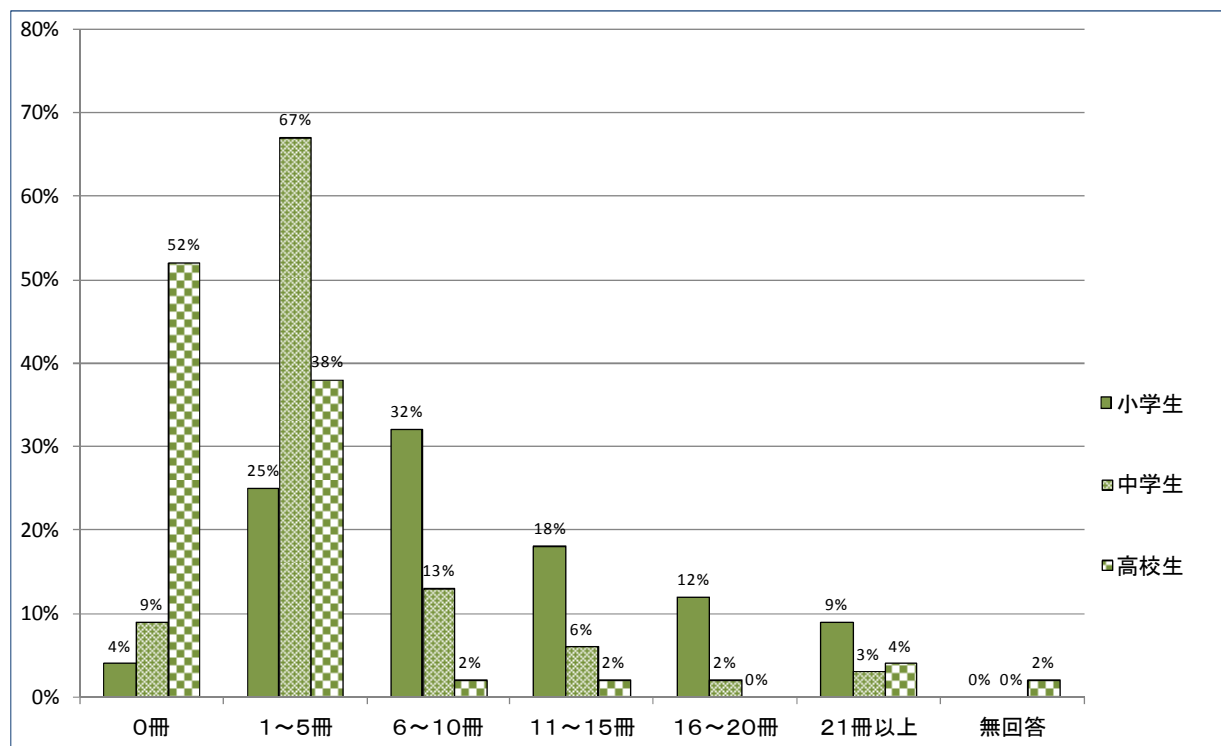
【平成24年調査時】



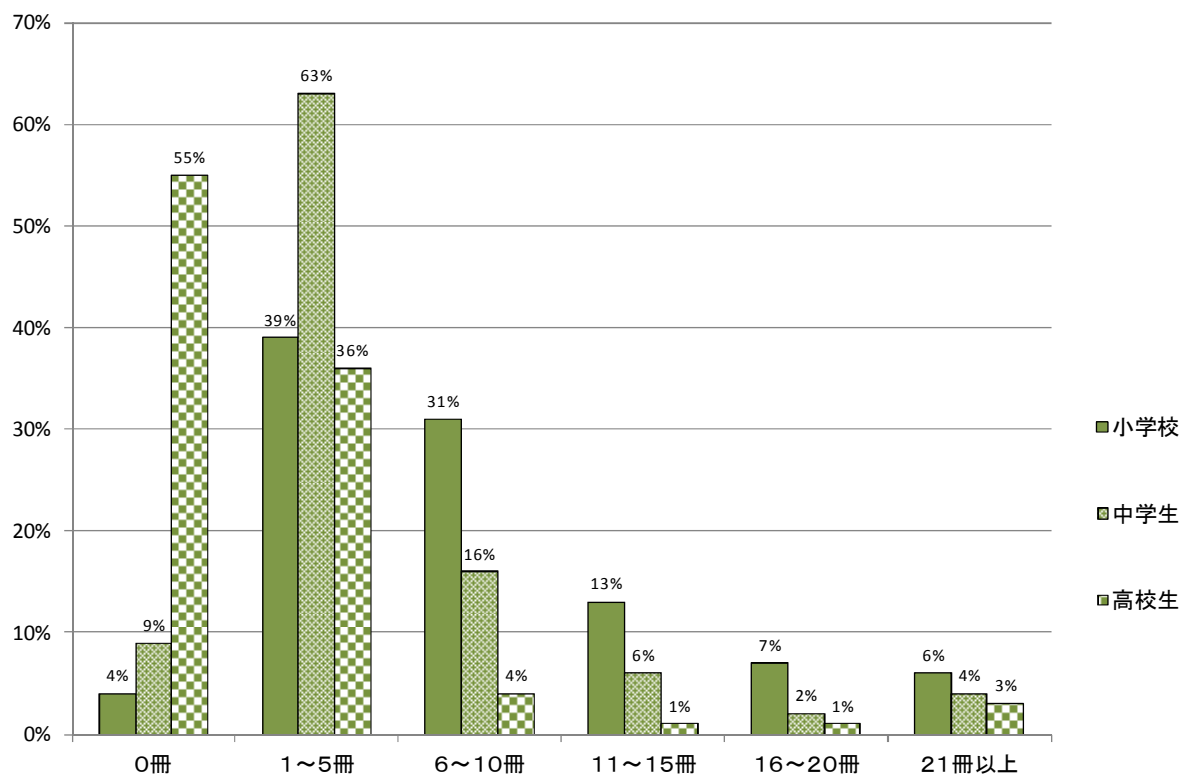
中高生は半数以上が「書店などで買う、買ってもらう」と回答しました。
 学校図書館や市立図書館で借りると回答したのは、小学生55%、中学生32%、高校生19%となり、
 小学生と中学生はほぼ変化ありませんが、高校生が5%増加しています。

⑦ ここ1ヶ月で本を何冊読みましたか？

【平成29年】



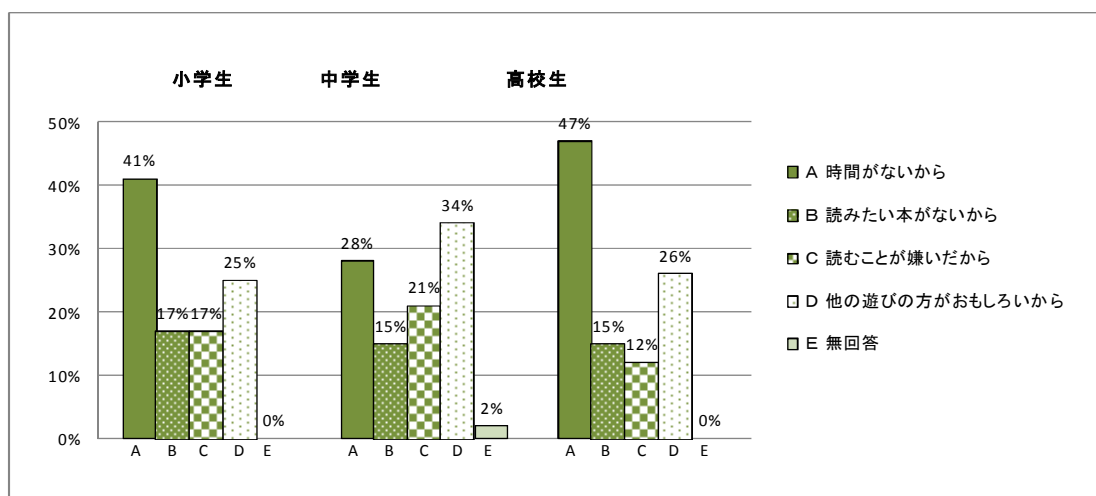
【平成24年調査時】



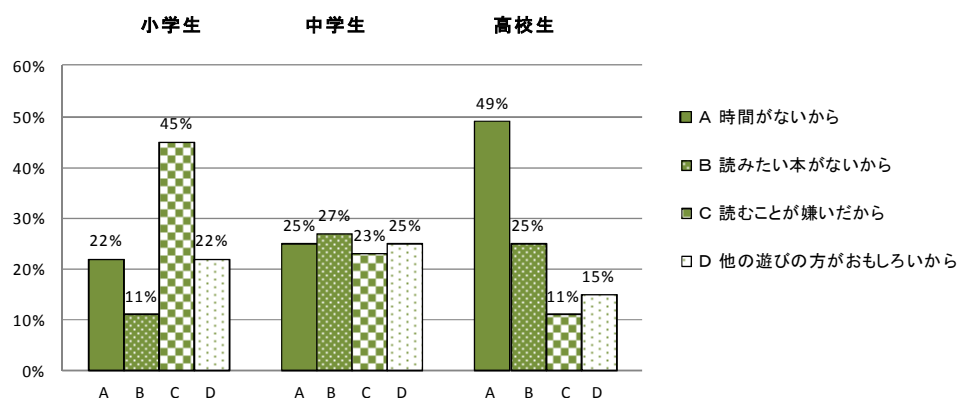
「0冊」という回答は、小学生と中学生は平成24年調査からの変化はありませんでした。
 小学生については、96%が1冊以上読んでおり、読んだ冊数において増加傾向にあります。
 高校生は、「0冊」・「無回答」が54%で、1冊以上読んでいる生徒は全体の46%となりました。

⑧ ⑦で「0冊」と答えた人に質問します。本を読まなかったのはなぜですか？

【平成29年】



【平成24年調査時】



どの年代も「時間がない」・「他の遊びの方が面白いから」が多数を占めています。読書のほかにやること、やりたいことがあって読まない（又は読めない）のであって、「読むことが嫌いだから」という理由は大きく影響していないことが分かります。小学生では、「読むことが嫌いだから」という回答が3割弱減少しました。

読書のおもしろさを知ったり、興味を持てる本との出会いがあれば、読書するという選択肢を選ぶ子どもも増えるのではないのでしょうか。

《保護者の考える子どもと読書の関係》

保護者は、子どもの成長過程の中で、何を重要と考えているのかを調査しました。

⑨ 読書は子どもの成長に重要だと思いますか？

【平成29年】

質 問	選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合
読書は子どもの成長に重要だと思いますか？	思 う	113	150	590	770	259	1,882	97.0%
	思わない	1	1	1	2	0	5	0.3%
	どちらともいえない	5	2	10	18	14	49	2.5%
	無回答	1	0	1	1	1	4	0.2%

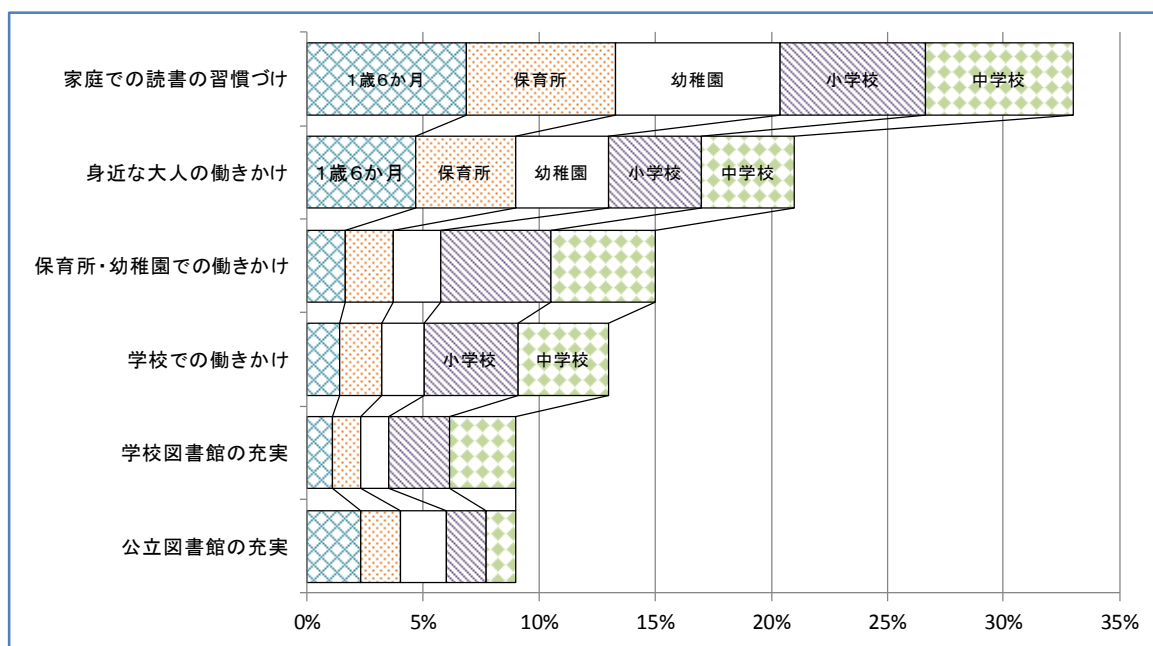
【平成24年調査時】

質 問	選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合
読書は子どもの成長に重要だと思いますか？	思 う	127	175	156	803	310	1,571	94.5%
	思わない	0	1	0	1	1	3	0.2%
	どちらともいえない	3	2	18	44	22	89	5.3%

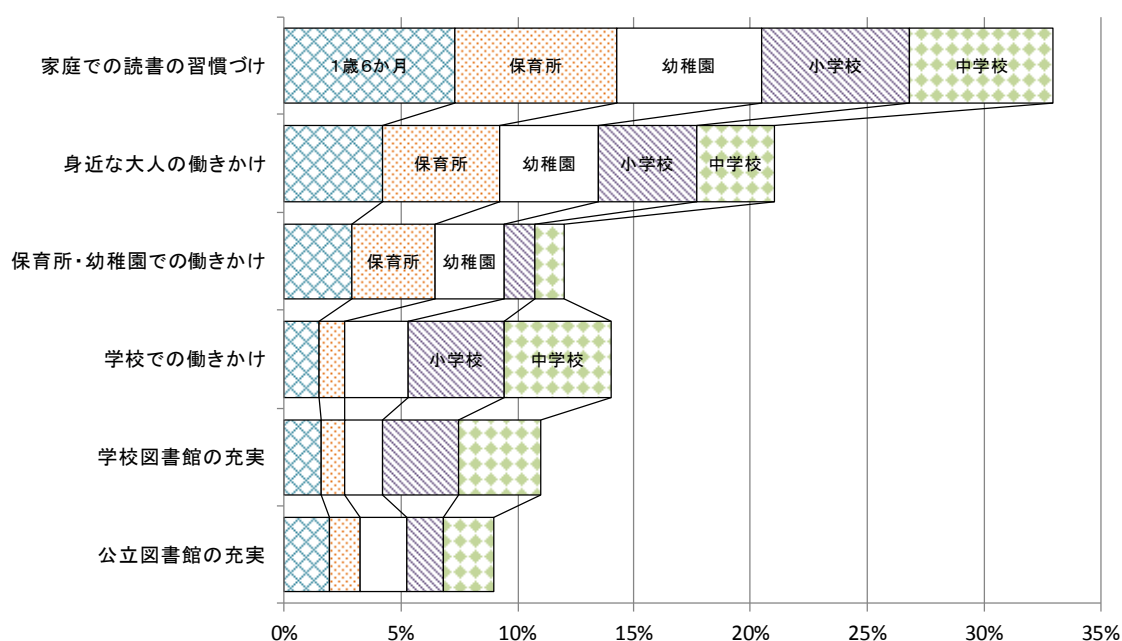
97%の保護者が「思う」と回答しており、平成24年調査と比較してやや増加しています。
保護者の子どもの読書に対する意識は、高いまま維持していることがわかります。

⑩ 本を読む子どもを育てるために必要なものは何ですか？（3つ選択で回答）

【平成29年】



【平成24年調査時】



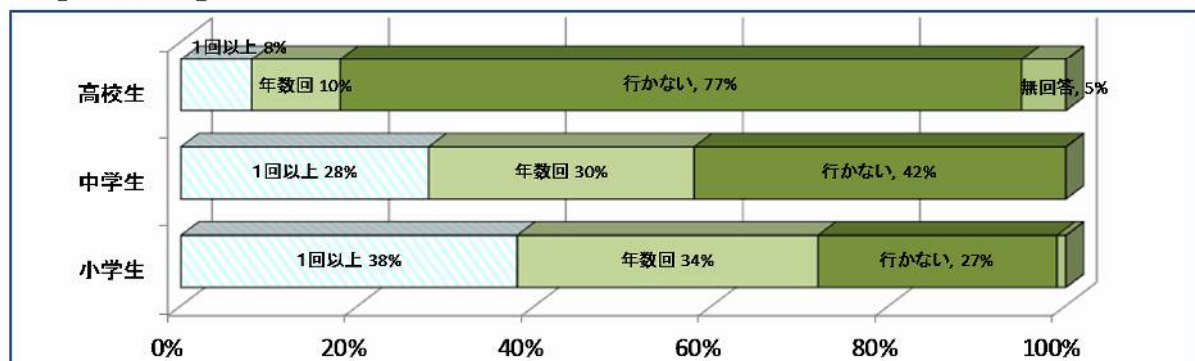
平成24年に引き続き、「家庭での読書の習慣づけ」が重要と回答する保護者が3割を超えています。続いて、「身近な大人の働きかけ」・「保育所・幼稚園での働きかけ」・「学校での働きかけ」が回答の上位を占めており、まずは子どもの身近にいる周囲の大人からの働きかけがより重要であると考えていることが伺えます。

《施設の利用状況》

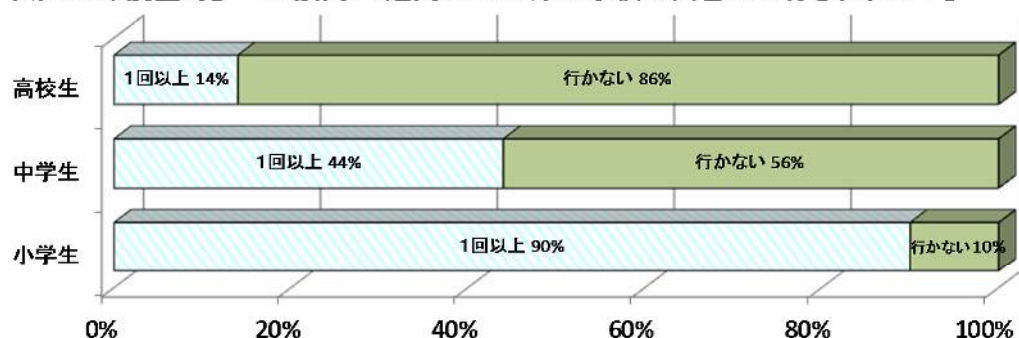
学校図書館、公立図書館など、子どもの読書活動を支援する施設の利用率の向上を図る上で、子どもたちの現状を把握し、その動向を追跡することは欠くことのできない要素といえます。

⑪ 授業以外で、1週間にどのくらい学校の図書室に行きますか？

【平成29年】



【平成24年調査時】 ※設問「1週間にどのくらい学校の図書室に行きますか？」

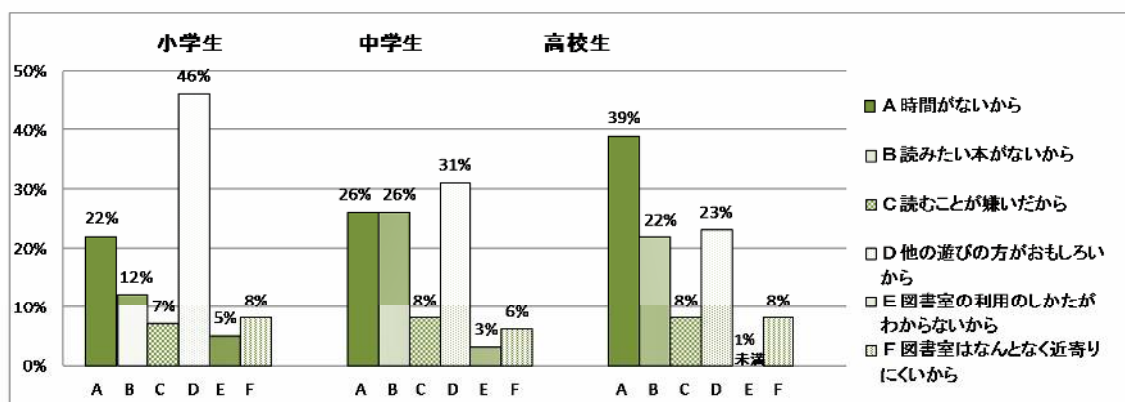


小学生の調査では、今回の調査から「授業以外で」という文言を追加しました。結果、平成24年調査に比べて「行かない」という回答が増加しており、27%でした。

また、平成24年調査において設けなかった「1週間に1回は行かないが、年に数回」という選択肢を選ぶ児童が多かったためか、全体として1週間に1回以上行くとした数が減少しました。

中高生も1週間に1回以上行くとした数が減少していますが、一方で「行かない」と回答した数もまた減少しています。とはいえ、中高生の図書室の普段からの利用率はまだ低いものとなっています。

⑫ ⑪で「行かない」と答えた人に質問します。図書室に行かないのは、なぜですか。



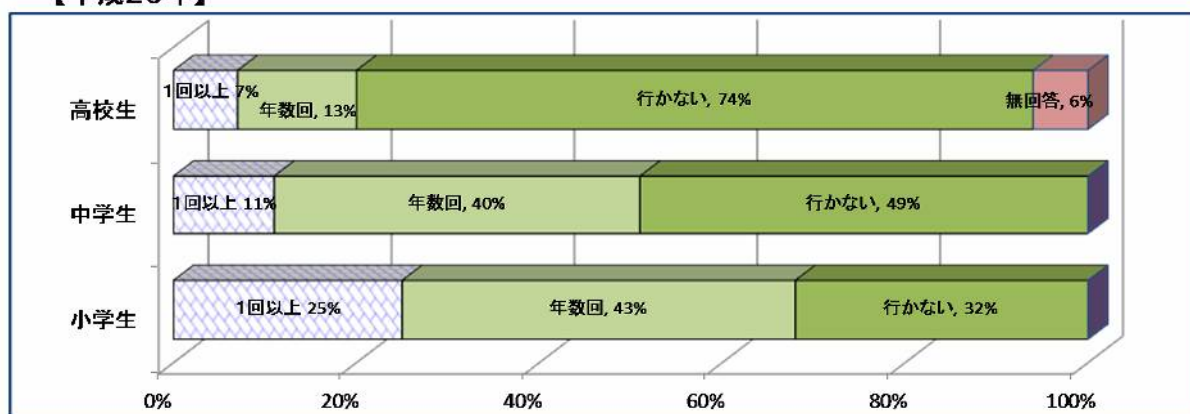
今回、新たに設けた設問のため、過去との比較はできませんが、その理由に年代による傾向が見えてきます。

小学生は「他の遊びの方がおもしろいから」が46%、次いで「時間がないから」という回答でした。中学生も「他の遊びの方がおもしろいから」が最も多く、次いで「時間がないから」と「読みたい本がないから」が同率でした。

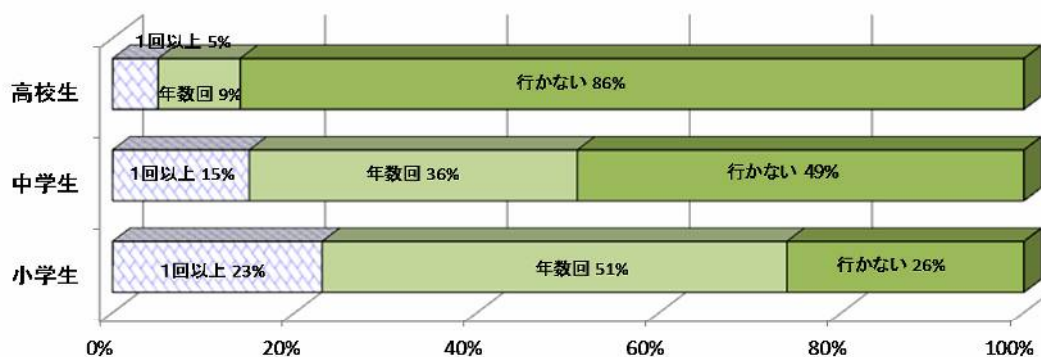
高校生は「時間がないから」が最も多く、次いで「他の遊びの方がおもしろいから」、「読みたい本がないから」が続いています。

⑬ 1週間にどのくらい府中市立図書館に行きますか？

【平成29年】



【平成24年調査時】



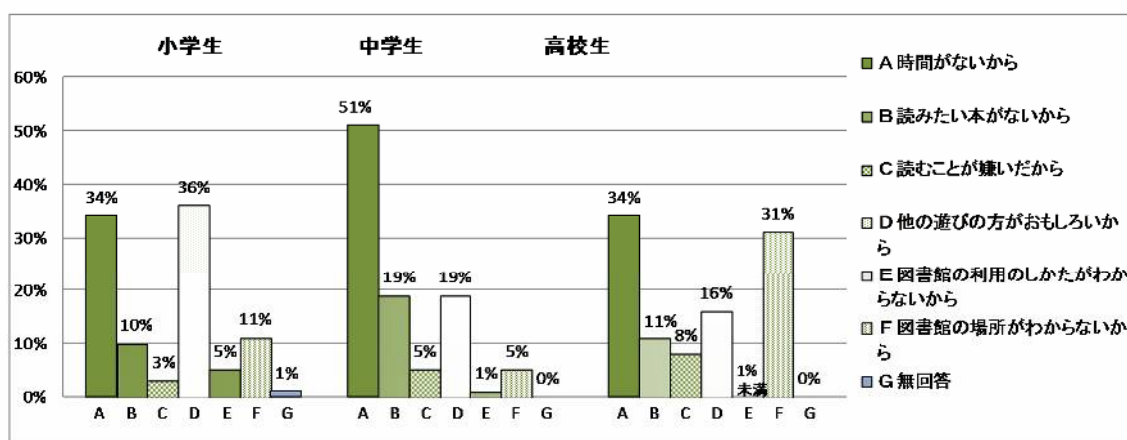
「行かない」という回答が、小学生は32%、中学生は49%、高校生74%となり、平成24年調査と比較して小学生は6%増加していますが、高校生については12%減少しています。

一方、1週間に1回以上行くという回答は、小学生、高校生ともにやや増加しています。

中高生の利用率は、引き続き低い傾向にあります。YAコーナーや様々なイベント、各種サービスといった中高生が活用できるサービスがあることをさらにPRするとともに、YA世代がより利用したいと思えるような工夫が必要です。

⑭ ⑬で「行かない」と答えた人に質問します。図書館に行かないのは、なぜですか。

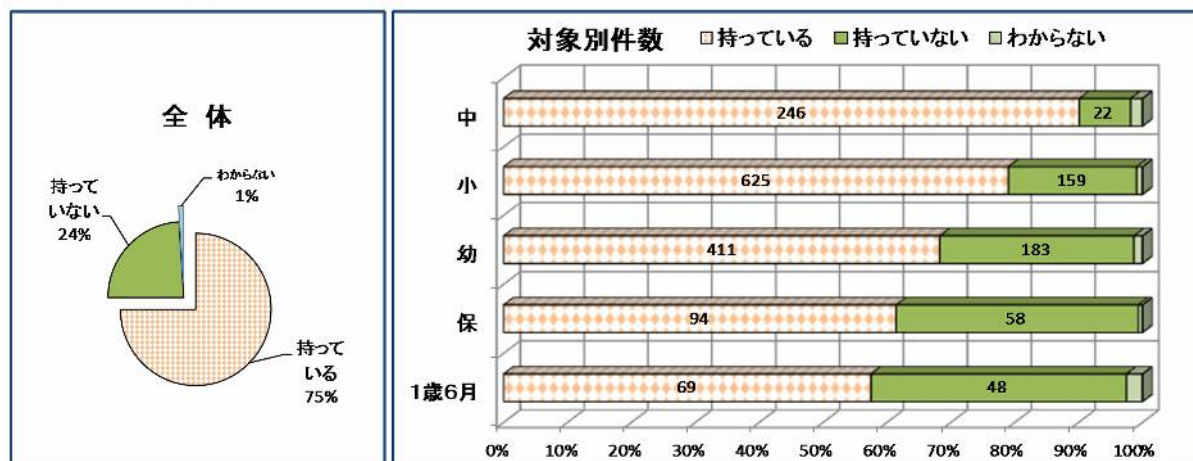
【平成29年】



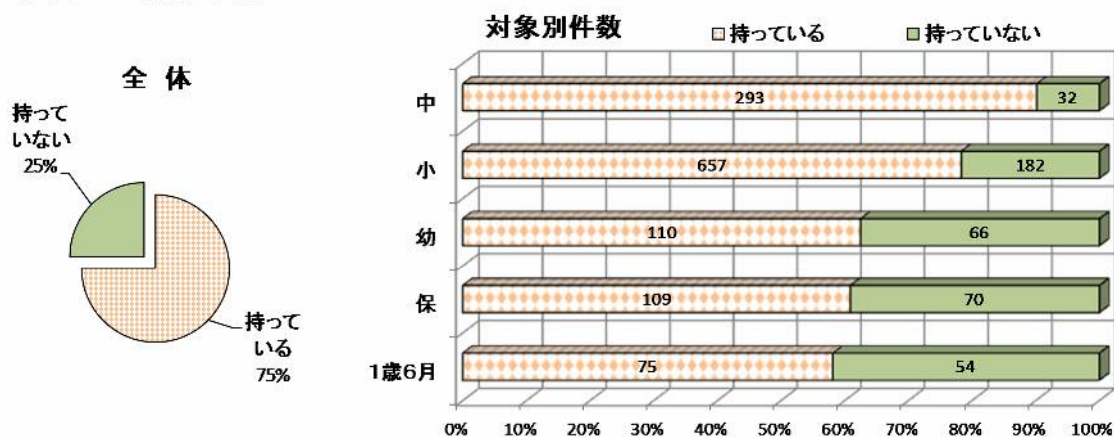
⑫学校の図書室と同様に、小学生は「他の遊びの方がおもしろいから」との回答が最も多いですが、それと同じく「時間がないから」という回答も多く見られました。

中高生についても「時間がないから」という理由の多さが目立っています。また、高校生の31%が「図書館の場所がわからないから」と答えています。

⑮ お子様は府中市立図書館の利用者カードを持っていますか？ …保護者
【平成29年】

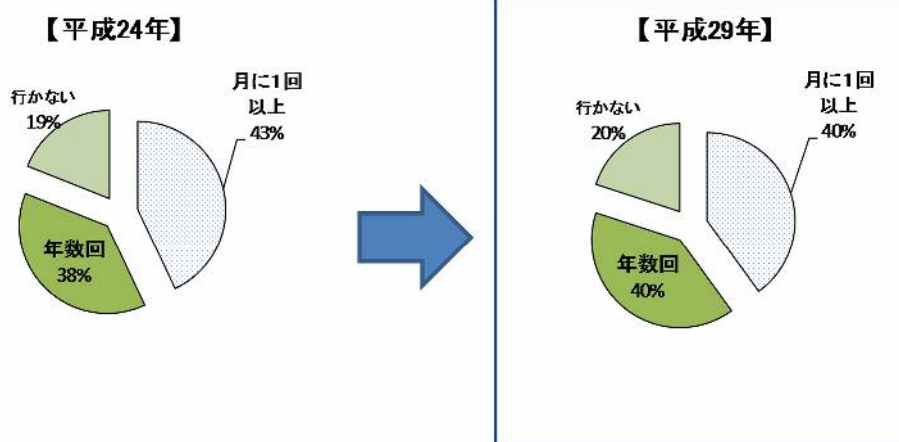


【平成24年調査時】



「持っている」という回答は平成24年調査と同じ75%でした。
市立図書館は、0歳児から成人まで同じ条件で利用できることや、身近な地域の地区図書館も同じカードで利用できることなどの利便性について周知を図ることが必要です。

⑯ 府中市立図書館をどのくらいの割合で利用しますか？ …保護者



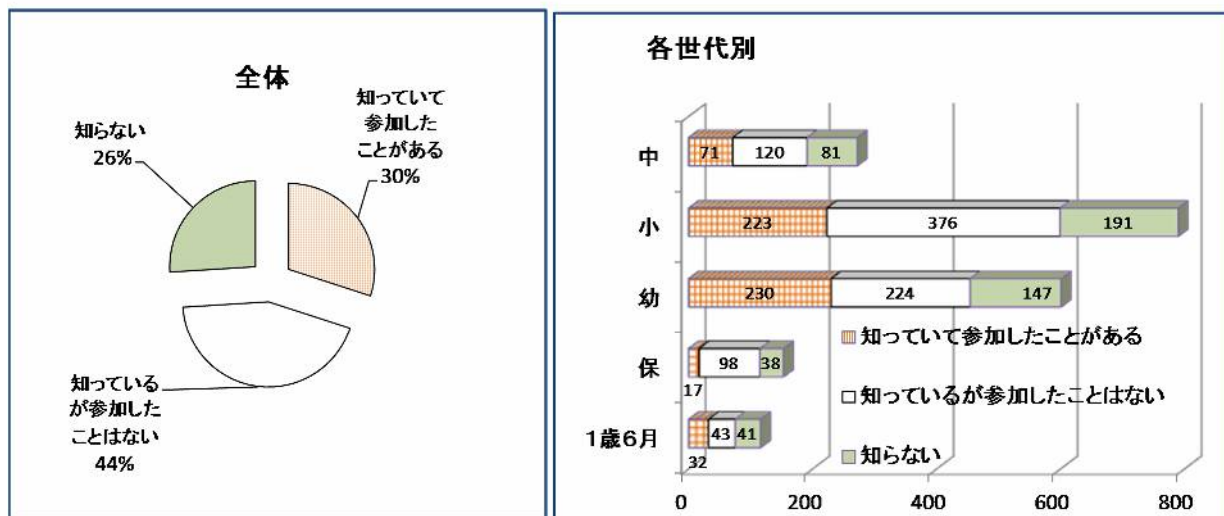
全体の80%が年に1回以上利用していると答えており、平成24年調査との変化はほとんどありません。
今後もより図書館に通いたくなる事業やイベントを検討するとともに、魅力ある蔵書構成や書架づくりを行っていく必要があります。

《認知度調査》

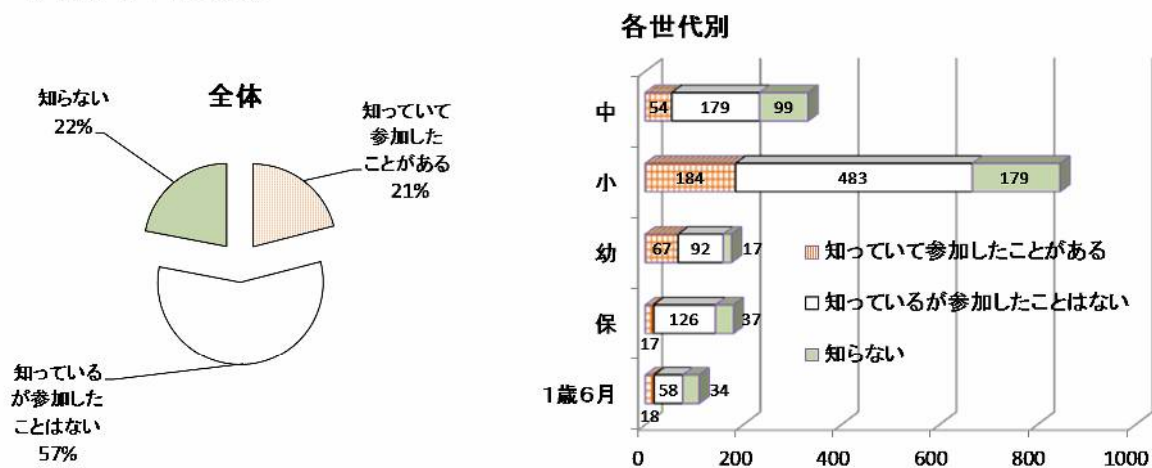
子どもの読書活動を推進するために実施している子ども向けの事業について、各事業の認知度を調査します。

⑪ 市立図書館で開催する「おはなし会」を知っていますか？ …保護者

【平成29年】



【平成24年調査時】

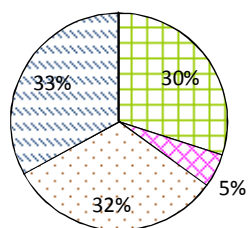


全体で74%の保護者がおはなし会を知っていると回答しています。

平成24年と比較すると、「知っているが参加したことはない」が13%減少した一方、「参加したことがある」と答えた人は9%増加して30%となりました。また、「知っているが参加したことはない」と回答した人に参加しない理由について自由記入欄を設けたところ「忙しい」・「仕事のため時間が合わない」などの回答が多く見られました。今後も認知度を保ちつつ、更なる参加につながるような工夫が必要です。

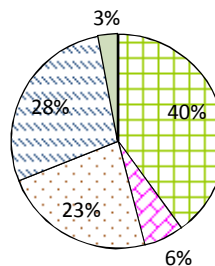
⑩「赤ちゃん絵本文庫」を知っていますか？ …保護者（1歳6か月健診、保育所、幼稚園のみ）

【平成24年】



- 知っている(図書館利用者カードを作った)
- 知っている(読み聞かせに参加した)
- あることは知っている
- 知らない
- 無回答

【平成29年】

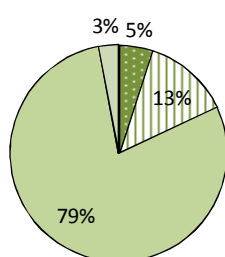


赤ちゃん絵本文庫を知っていて、かつ「図書館利用カードを作った」・「読み聞かせに参加した」と回答した人が46%と、平成24年調査より11%増加しています。
認知度は、前回同様7割近くあり、平成16年度の事業開始から、本との出会いがある赤ちゃん絵本文庫が定着していることが伺えます。

⑪「おはなしキャラバン」を知っていますか？ …保護者（1歳6か月健診、保育所、幼稚園のみ）

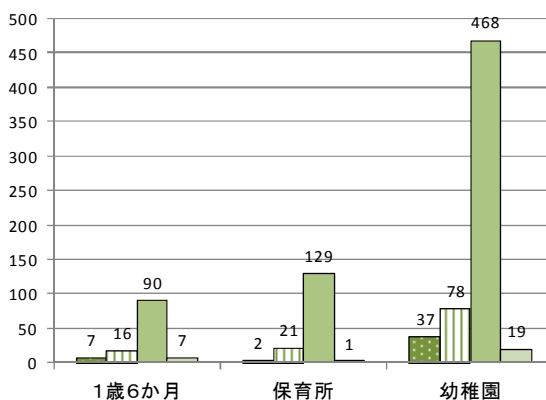
【平成29年】

全体



- 知っている(参加したことがある)
- 知っている(参加したことはない)
- 知らない
- 無回答

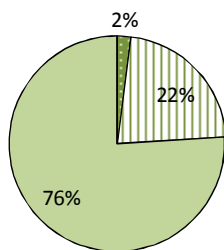
各世代別



- 知っている(参加したことがある)
- 知っている(参加したことはない)
- 知らない
- 無回答

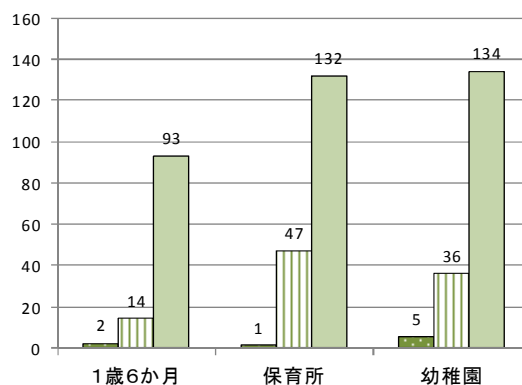
【平成24年調査時】

全体



- 知っている(参加したことがある)
- 知っている(参加したことはない)
- 知らない

各世代別

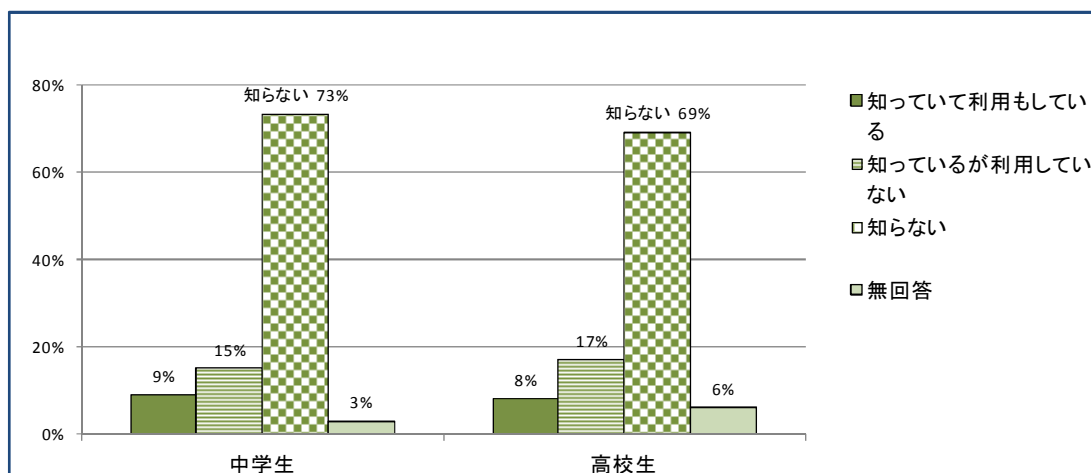


- 知っている(参加したことがある)
- 知っている(参加したことはない)
- 知らない

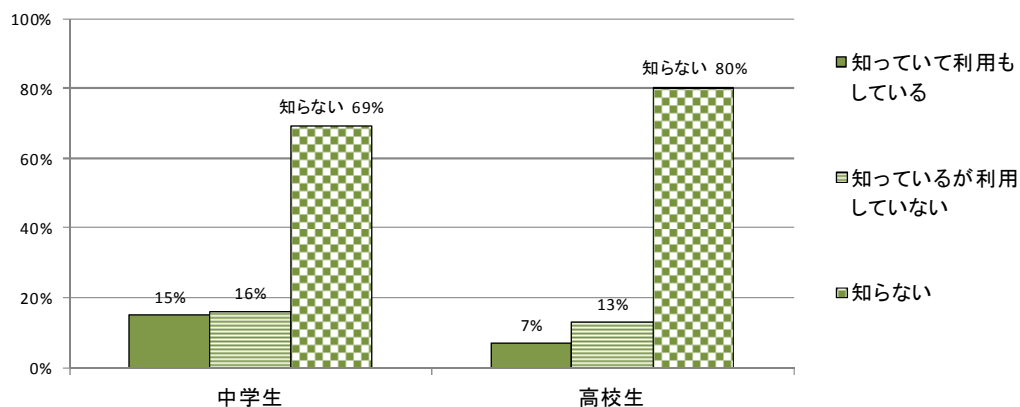
「知らない」との回答が、平成24年調査より3%増加して79%となりました。一方、実際に「参加したことがある」も3%増加しています。
広報活動に更に力を入れ、より多くの人々が認知するイベントとしていくための工夫が必要です。
また、⑩おはなし会と同様に、「知っているが参加したことがない」に回答した人の参加しない理由としては、やはり「時間が合わない」等の回答が多くありました。

②⑩ YAコーナーを知っていますか？(中高生のみ)

【平成29年】



【平成24年調査時】



平成24年と比較して、「知らない」と答えた生徒は、中学生が4%増加する一方、高校生は11%減少しました。

不定期にYAコーナーのPRチラシを市立中学校及び都立高校に配布していますが、今後も広報活動を促進するとともに、足を運びたくなる魅力的なコーナーづくりをしていく必要があります。

アンケート回答集計表

本への興味

質 問 項 目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						H29	H27	H24	H29	H27	H24	H29	H27	H24
Q1 本を読むことが好きですか？	好き	132	244	111	487	54%	50%	51%	48%	46%	51%	42%	36%	37%
	すこし好き	74	168	82	324	30%	28%	28%	32%	32%	31%	31%	31%	33%
	あまり好きではない	31	85	44	160	13%	17%	15%	16%	15%	13%	17%	26%	18%
	きらい	7	33	27	67	3%	5%	6%	8%	7%	5%	10%	7%	12%
		244	530	264	1038	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q2 本を読んでもらうことが好きですか？	好き	68			68	28%	22%	18%						
	すこし好き	94			94	38%	32%	32%						
	あまり好きではない	60			60	25%	32%	36%						
	きらい	21			21	9%	14%	14%						
	無回答	1			1	0%	-	-						
		244			244	100%	100%	100.0%						

質 問 項 目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								H29	H27	H24
Q3 本を読みかかせたり、本について語り合うなどお子様と一緒に本を楽しんでいますか？または過去に楽しませましたか？	いつもしている	60	49	201	168	49	527	27%	26%	25%
	ときどきしている	49	94	353	489	163	1148	59%	59%	60%
	ほとんどしない	11	10	48	133	61	263	14%	15%	15%
	無回答	0	0	0	1	1	2	0%	-	-
		120	153	602	791	274	1940	100%	100%	100%

子どもたちの実態

質 問 項 目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						H29	H27	H24	H29	H27	H24	H29	H27	H24
Q4 どんな本が好きですか？ ★こたえは3つまで	絵本や物語の本	137	342	155	634	27%	28%	33%	33%	28%	33%	35%	35%	31%
	伝記や歴史の本	81	121	50	252	16%	17%	14%	12%	11%	10%	11%	12%	12%
	社会やくらしの本	21	33	11	65	4%	4%	3%	3%	3%	2%	3%	4%	4%
	理科の本	33	55	20	108	8%	3%	5%	5%	6%	3%	5%	4%	3%
	趣味の本(手芸・スポーツ・音楽など)	106	246	105	457	21%	21%	19%	23%	25%	26%	24%	27%	26%
	図鑑や百科事典	34	57	19	110	6%	8%	6%	5%	7%	5%	4%	3%	3%
	その他	101	197	81	379	20%	19%	20%	19%	20%	21%	18%	15%	21%
		513	1051	441	2005	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q5 本を読むのはどうしてですか？ ★こたえは3つまで	おもしろいから	214	447	211	872	40%	40%	43%	43%	43%	43%	52%	50%	53%
	感動できるから	67	176	75	318	13%	11%	13%	17%	17%	19%	19%	21%	18%
	知らないことがわかるから	146	240	78	464	28%	28%	29%	23%	22%	22%	19%	19%	19%
	友達にすすめられたから	21	48	12	81	4%	3%	5%	5%	4%	6%	3%	4%	3%
	親にいわれるから	16	46	8	70	3%	5%	3%	5%	5%	2%	2%	3%	2%
	勉強に必要なから	65	76	22	163	12%	13%	7%	7%	9%	8%	5%	3%	5%
		529	1033	406	1968	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q6 読みたい本はどのように手に入れますか？ ★こたえは3つまで	書店などで買う、または買ってもらう	151	454	224	829	36%	41%	34%	54%	53%	49%	66%	65%	65%
	学校の図書館を利用する	146	161	40	347	35%	29%	34%	19%	16%	15%	12%	11%	8%
	府中市立図書館を利用する	84	113	24	221	20%	23%	22%	13%	15%	17%	7%	5%	6%
	家族や友達に借りる	39	115	49	203	9%	7%	10%	14%	16%	19%	15%	19%	21%
		420	843	337	1600	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q7 ここ1ヶ月で本を何冊読みましたか？	21冊以上	23	15	10	48	9%	11%	6%	3%	5%	4%	4%	4%	3%
	16～20冊	28	11	1	40	12%	4%	7%	2%	2%	2%	0%	1%	1%
	11～15冊	44	32	5	81	18%	9%	13%	8%	6%	6%	2%	1%	1%
	6～10冊	78	68	6	152	32%	26%	31%	13%	14%	16%	2%	3%	4%
	1～5冊	62	357	101	520	25%	44%	39%	67%	62%	63%	36%	33%	36%
	0冊	9	46	137	192	4%	6%	4%	9%	11%	9%	52%	58%	55%
	無回答	0	1	4	5	0%	-	-	0%	-	-	2%	-	-
		244	530	264	1038	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q8 Q7で「0冊」と答えた人に質問します。本を読まなかったのはなぜですか？	時間がないから	5	15	68	88	41%	29%	22%	28%	23%	25%	47%	51%	49%
	読みたい本がないから	2	8	22	32	17%	23%	11%	15%	14%	27%	15%	21%	25%
	読むことが嫌いだから	2	11	17	30	17%	24%	45%	21%	23%	23%	12%	5%	11%
	他の遊びの方がおもしろいから	3	18	38	59	25%	24%	22%	34%	40%	25%	26%	23%	15%
	無回答	0	1	0	1	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%
		12	53	145	210	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

保護者にとっての子どもと本の関係

質 問 項 目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								H29	H27	H24
Q9 読書は子どもの成長に重要だと思いますか？	思う	113	150	590	770	259	1882	97%	96%	94%
	思わない	1	1	1	2	0	5	0%	1%	1%
	どちらともいえない	5	2	10	18	14	49	3%	3%	5%
	無回答	1	0	1	1	1	4	0%	-	-
		120	153	602	791	274	1940	100%	100%	100%

質 問 項 目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								H29	H27	H24
Q10 本を読む子に育てるためには特に何が必要だと思いますか？ ★こたえは3つまで	家庭での読書の習慣づけ	103	132	554	654	221	1664	33%	31%	33%
	身近な大人の働きかけ	73	92	328	438	145	1076	21%	21%	21%
	保育所・幼稚園等での働きかけ	59	100	329	214	82	784	15%	14%	12%
	学校での働きかけ	19	32	125	377	121	674	13%	14%	14%
	学校図書館の充実	15	23	88	254	93	473	9%	11%	11%
	公立図書館の充実	36	35	158	185	46	460	9%	9%	9%
	無回答	3	0	0	1	0	4	0%	-	-
		308	414	1582	2123	709	5135	100%	100%	100%

※「H24」・・・第3期計画策定時アンケート数値 「H27」・・・第3期計画中間アンケート数値

アンケート回答集計表

施設の利用状況

質問項目	回答選択肢	小学生	中学生	高校生	計	小学生(割合)			中学生(割合)			高校生(割合)		
						H29	H27	H24	H29	H27	H24	H29	H27	H24
Q11 授業以外で、1週間にどのくらい学校の図書室にいきますか？	ほとんど毎日	5	17	6	28	2%	4%	2%	3%	5%	8%	2%	2%	4%
	3回くらい	30	34	2	66	12%	15%	20%	8%	7%	9%	1%	1%	4%
	1回くらい	58	98	13	169	24%	56%	68%	19%	23%	27%	5%	6%	6%
	1週間に1回は行かないが、年に数回	84	157	26	267	34%	-	-	30%	-	-	10%	-	-
	いかない	65	223	204	492	27%	25%	10%	42%	65%	56%	77%	91%	86%
	無回答	2	1	13	16	1%	-	-	0%	-	-	5%	-	-
		244	530	264	1038	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q12 Q11で「いかない」と答えた人に質問します。図書室に行かないのは、なぜですか。	時間がないから	17	64	84	165	22%	-	-	26%	-	-	39%	-	-
	読みたい本がないから	9	64	48	121	12%	-	-	26%	-	-	22%	-	-
	読むことが嫌いだから	5	19	17	41	7%	-	-	8%	-	-	8%	-	-
	他の遊びの方がおもしろいから	35	76	49	160	46%	-	-	31%	-	-	23%	-	-
	図書室の利用のしかたがわからないから	4	8	1	13	5%	-	-	3%	-	-	0%	-	-
	図書室はなんとなく近寄りにくいから	6	16	18	40	8%	-	-	8%	-	-	8%	-	-
	無回答	0	1	0	1	0%	-	-	0%	-	-	0%	-	-
		76	248	217	541	100%			100%			100%		
Q13 1週間にどのくらい府中市立図書館にいきますか？	ほとんど毎日	4	1	7	12	2%	1%	1%	0%	1%	2%	3%	2%	2%
	3回くらい	13	9	3	25	5%	6%	7%	2%	1%	2%	1%	1%	1%
	1回くらい	44	46	9	99	18%	14%	15%	9%	6%	11%	3%	1%	2%
	1週間に1回は行かないが、年に数回	105	210	33	348	43%	49%	51%	40%	42%	36%	13%	11%	9%
	いかない	76	263	195	534	32%	30%	26%	49%	50%	49%	74%	85%	86%
	無回答	0	1	17	18	0%	-	-	0%	-	-	6%	-	-
		242	530	264	1036	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Q14 Q13で「いかない」と答えた人に質問します。図書館に行かないのは、なぜですか。	時間がないから	30	146	71	247	34%	-	-	51%	-	-	34%	-	-
	読みたい本がないから	9	55	22	86	10%	-	-	19%	-	-	11%	-	-
	読むことが嫌いだから	3	15	17	35	3%	-	-	5%	-	-	8%	-	-
	他の遊びの方がおもしろいから	32	55	33	120	38%	-	-	19%	-	-	16%	-	-
	図書館の利用のしかたがわからないから	4	4	1	9	5%	-	-	1%	-	-	0%	-	-
	図書館の場所がわからないから	10	13	64	87	11%	-	-	5%	-	-	31%	-	-
	無回答	1	1	0	2	1%	-	-	0%	-	-	0%	-	-
		89	289	208	586	100%			100%			100%		

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								H29	H27	H24
Q15 お子様は府中市立図書館の利用者カードを持っていますか？	持っている	69	94	411	625	246	1445	75%	74%	75%
	持っていない	48	58	183	159	22	470	24%	26%	25%
	わからない	3	1	8	7	5	24	1%	0%	0%
	無回答	0	0	0	0	1	1	0%	-	-
		120	153	602	791	274	1940	100%	100%	100%
Q16 府中市立図書館をどのくらいの割合で利用しますか？	月に2回以上行く	18	16	159	158	49	400	21%	21%	23%
	月に1回くらい行く	23	42	117	153	39	374	19%	21%	20%
	年に数回行く	34	58	200	337	140	769	40%	37%	38%
	行かない	41	37	121	142	44	385	20%	21%	19%
	無回答	4	0	5	1	2	12	0%	-	-
		120	153	602	791	274	1940	100%	100%	100%

認知度調査

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								H29	H27	H24
Q17 全ての府中市立図書館では「おはなし会」を定期的に開催しています。ご存じですか？	参加したことがある	32	17	230	223	71	573	30%	23%	21%
	知っているが参加したことはない	43	98	224	376	120	861	44%	59%	57%
	知らない・参加したことがない	41	38	147	191	81	498	26%	18%	22%
	無回答	4	0	1	1	2	8	0%	-	-
		120	153	602	791	274	1940	100%	100%	100%
Q18 保健センターで3・4か月健康診査の際に開設している「赤ちゃん絵本文庫」をご存じですか？	知っている(図書館利用者カードを作った)	50	58	239			347	40%	34%	30%
	知っている(読み聞かせに参加した)	4	15	35			54	8%	6%	5%
	あることは知っている	31	36	139			206	23%	29%	32%
	知らない	27	43	174			244	28%	31%	33%
	無回答	8	1	19			28	3%	-	-
		120	153	606			879	100%	100%	100%

質問項目	回答選択肢	1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合		
								H29	H27	H24
Q19 子ども読書活動推進委員会が市内の各施設で実施している、春と秋の「おはなしキャラバン」をご存じですか？	参加したことがある	7	2	37			46	5%	3%	2%
	知っているが参加したことはない	16	21	78			115	13%	22%	22%
	知らない・参加したことがない	90	129	468			687	78%	75%	76%
	無回答	7	1	19			27	3%	0%	-
		120	153	602	0	0	875	100%	100%	100%

質問項目 (中学生・高校生のみ)	回答選択肢	中学生	高校生	計	中学生(割合)			高校生(割合)		
					H29	H27	H24	H29	H27	H24
Q20 中央図書館の中・高校生を対象としたコーナー(YAコーナー)を知っていますか？	知っていて利用している	46	21	67	9%	12%	15%	8%	6%	7%
	知っているが利用していない	81	45	126	15%	22%	16%	17%	13%	13%
	知らない	389	183	572	73%	66%	69%	69%	81%	80%
	無回答	14	15	29	3%	-	-	6%	-	-
		530	264	794	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※「H24」・・・第3期計画策定時アンケート数値 「H27」・・・第3期計画中間アンケート数値

【保護者アンケート 自由意見 まとめ】

保護者用アンケートのみ自由意見の記入欄を設け、そこで意見として主に挙げた項目を次のとおりまとめました。

項 目		内 容	件数	うち良いと評価する意見
【市立図書館について】	児童サービス	おはなし会について(土日開催、開催回数、その他)	11	(2)
		赤ちゃん絵本文庫について	2	(1)
		おはなしキャラバンについて	1	
		児童書の蔵書について(新刊、人気本などを増やしてほしい、種類を増やしてほしい、等)	20	(2)
		児童書の状態について(古い本が多いので買い換えてほしい、等)	5	
		図書館内のおすすめリストやイベントについて	7	
		児童書配架・展示について	5	(3)
		児童向け広報・PRについて	5	
		学校・保育所・幼稚園と市立図書館の連携について	3	
		その他	1	
	地区図書館	児童書蔵書・配架等について	14	
		開館日数及び時間について	2	
	施設面	立地について(自宅から遠い、規模が小さい等)	6	(2)
		移動図書館、巡回バスなどについて	4	
		児童スペースについて	8	
		施設環境について(室内空調、明るさ等)	2	(1)
	図書館サービス	カウンターでの職員の対応等について	6	(2)
		子どもの図書館利用について	6	
		貸出し・返却について	6	
		その他(図書館の利用状況、市立図書館の充実度など)	22	(14)
	図書館システム関連	図書館ホームページ・インターネットサービスの充実	4	(3)
		読書記録(読書通帳)の導入	18	
【学校図書館について】	「図書」授業	「図書」授業の重要性等	3	
	読書時間	読書時間等の読書への取組の重要性等	3	
	図書室の蔵書	古い本が多い、蔵書の充実等	3	
【幼稚園・保育所について】	蔵書・貸出し	園内で本の貸出しの実施、蔵書の充実等	2	
【家庭等での読書】	読書環境について	家庭や身近な大人からの働きかけについて(家庭での役割や重要性等)	7	
合 計			176	

参考資料 2

【小学校の読書活動事例紹介】

本にふれる機会を増やし、感じて・つながり・心を育てる

～新町小学校の取組～

①図書の時間の充実～学校支援員さんとの連携

年間を通じて、全学年意図的に図書の時間を確保しています。これは、学校支援員（図書担当）さんと、各学年との「連携」で子どもたちが本にふれる機会を増やし、「本を読むのが好き」という思いを育てることを目標としています。1年間の読書記録を記載する「読書の記録」（全学年配布）、学校支援員さんによる「おすすめの本」や「読み聞かせ」など、まずは本に興味を持って、本の楽しさを感じてもらえるように取り組んでいます。また、「調べ学習」などにおいても、高学年宿泊行事の事前学習や、総合的な学習の時間の参考文献、国語の物語学習での関連図書などを準備していただき、子どもたちが自ら学ぼうとする環境づくりにも力を入れています。



②月に1回の保護者読み聞かせ・年に一度のお話会及びブックトーク

学年始めの保護者会で、保護者の方々に「読み聞かせボランティア」の希望を取り、毎月1回朝の時間帯で読み聞かせをしていただいています。保護者の方が紹介してくださった本に子どもたちが興味をもち、読書の幅を広げる時間にもなっています。また、年に一度のお話会（地域の読み聞かせ団体）及びブックトーク（中央図書館の方々）を実施し、お話の楽しさや本への関心を広げ、いろいろな方々との交流も行っています。

③全校読書会とおすすめの本カード

新町小学校では、「全校読書会」を企画実行し、毎年行っています。その内容は多岐にわたり、全校児童の前で図書委員会による読み聞かせ（体育館のスクリーンに本を映し出し、読み聞かせをする）や、学校図書館マナークイズを行ったり、また、教員全員による読み聞かせ（校長・副校長を始め、全ての教員が読み聞かせをしたい本を選び、読み聞かせをする）を実施したりするなど、「子どもたちが本に親しむ・読書を楽しむ」心を育てようとしています。

さらに、学期に1回、自分が読んだ本の中から、一番心に残った本や友達にぜひともおすすめしたい本を「おすすめの本カード」にイラストと共にその理由を書き、本に対する自分の思いを表現しています。そのカードは、様々な本への興味関心を広げるために教室内や図書室前に掲示されます。また、全教員のおすすめの本カードも

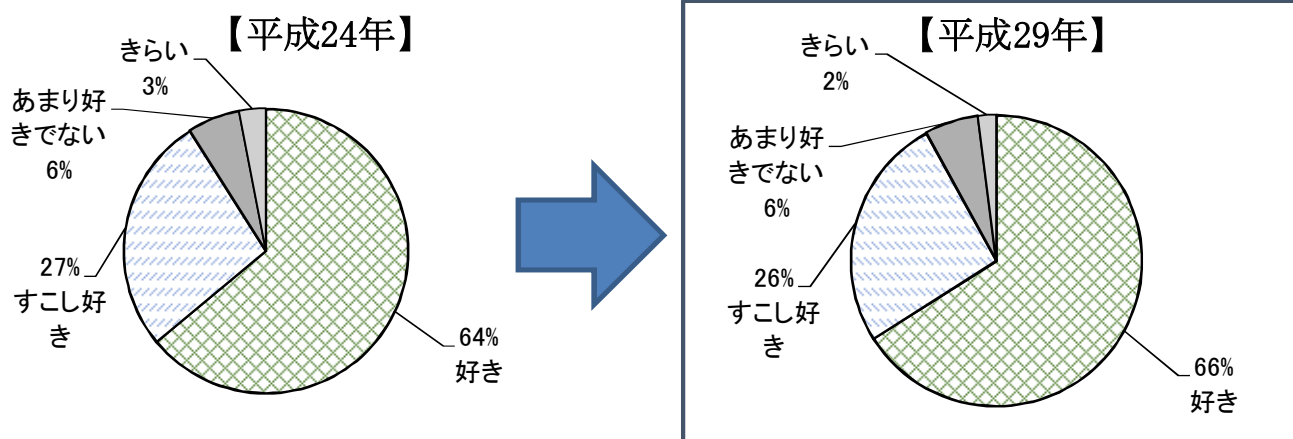


掲示し、興味・関心の輪をさらに広げ、読書活動が、本を読んで終わりではなく、そこから次へのつながりを期待し、読書後の活動も視野に入れています。

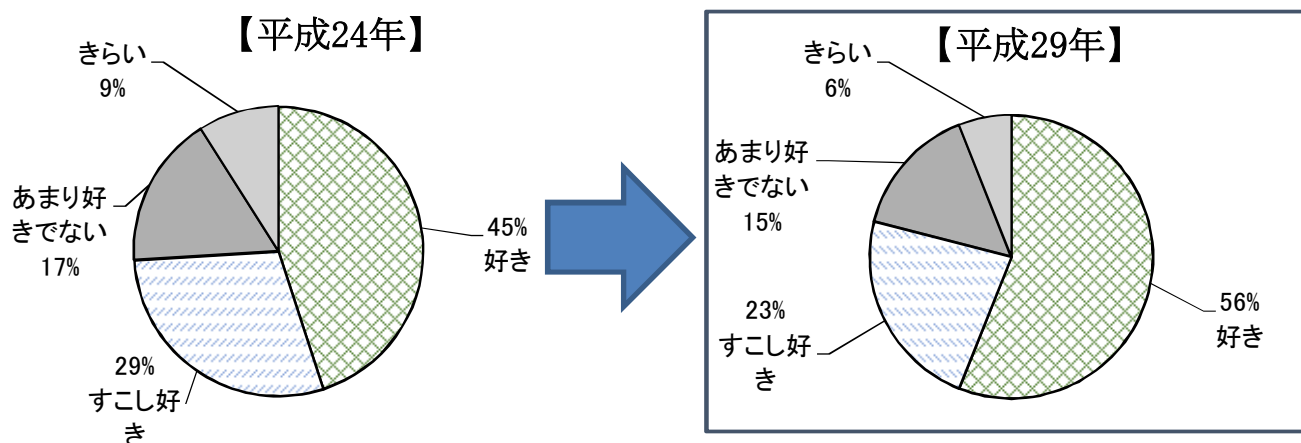
④新町小学校全児童読書活動についてのアンケート結果（平成29年度7月調べ）

本を読むことが好きですか	1～3年生(人数)	4～6年生(人数)	計(人数)
好き	115	87	202
少し好き	38	42	80
あまり好きではない	10	10	20
きらい	4	1	5

・本を読むことが好きですか？



・本を読んでもらうことが好きですか？



【中学校の読書活動事例紹介】 ～府中第八中学校の取組～

広がる読書

朝読書 ― 76 の課題図書 ―

「八中には、朝読書の時間があります。そして、その時間を利用して読めるように課題図書が用意されています。課題図書というと何だか重たい感じですが、中学生のみなさんにぜひ読んでもらいたい本を選んでいきます。中学生の日常を描いた小説や、将来を考えるヒントになったり、世界に目を向けることができるノンフィクションがあります。（中略）

主人公の気持ちに寄り添ったり、その本のテーマを考えたりすることで、きっと知らず知らずのうちに考えが深くなったり、視野が広がり、情報に対するアンテナがたかくなっていくことでしょう。課題図書は学年を考えて選んでいます。

- 1 年生 読書に慣れる 読むことが苦手という人でも楽しく読める本
- 2 年生 考える読書 読むにはやさしいが、テーマの背景なども含めて考える読書をする本
- 3 年生 総仕上げ 二年間に培った読書力を活かして、読書活動を楽しむ本

（図書館支援員発行の **Library News** 4 月号より）

火曜から金曜の 8 時 15 分、朝読書実施のため、各クラスの図書委員が呼びかけをします。課題図書は、約 1 か月で 40 冊（4 種類×10 冊）を各クラスに巡回していきます。どの本を読むか決めたら、各自に手渡すのは図書委員です。回収チェックも図書委員が頑張っているんです。

課題図書一覧

生徒の感想より

「いろいろな種類の本があったからいろいろな知識が増えてよかった。現実のことを書いている本は世界のいろいろなことがわかり、ひどいこともあったけど自分の今の生活の幸せさがわかった。」（2 年生）

「朝の 10 分間という短い時間でも集中して本を読むことは、集中力を養ったり、読む力を身に付けるために大切だと思った。」（3 年生）

図書館支援員の活動

選書。購入。巡回準備、回収確認。

名作シリーズ

10 人の作家の名作シリーズコーナーが図書室に設けられています。

1 学年	巻の箱	題の箱	ナゲキバト	ハッピーバースデー	くちぶえ番長
	式の箱	ユタと不思議な仲間達	ぼくらの七日間戦争	穴	マチルダは小さな大天才
	参の箱	レネット―金色の林檎	ハンアキン! 一機爆撃機の夏	ガラスのうさぎ	ヒットラーのむすめ
	四の箱	盲導犬ケイルの一生	野生動物のお医者さん	僕の仕事場は富士山です	すごいぞ! 「しんかい6500」
	五の箱	モギー―小さな焼きもの師	西の魔女が死んだ	なまくら	夏の庭 The Friends
	六の箱	ドッグ・シェルトン	テオのありがとうノート	ヒア/はともだち―奇跡のヒアニスト 辻井伸行の秘密	ウィッシュ―願いをかなえよう
	七の箱	フロード街の12日間	泣けない魚たち	にいちゃんランドセル	夜間中学へようこそ
2 学年	巻の箱	リリス	楽隊のうさぎ	無人島に生きる十六人	ぼくがぼくであること
	式の箱	アンネ・フランクをたずねて	生さのびるために	窓ぎわのトットちゃん	ビルマの竖琴
	参の箱	オレたちの明日に向かって	鷹のように帆をあげて	ミッドタウン・タワー 超高層248mへの道	有松の庄九郎
	四の箱	サッカーボーイズ	走れ! T校バスケット部	ヨハネスブルクへの道	カラフル
	五の箱	はるかなるアフガニスタン	精霊の守り人	ベルナのしっぽ	きみ江さん
	六の箱	マルベリーボーイズ	NASAより宇宙に近い町工場	タマノ川 多摩川でいのちを考える	泥だらけのカルテ
3 学年	巻の箱	亀の橋	キップをなくして	鈴の神さま	佐藤さん
	式の箱	八月の光	弟の戦争	戦争取材する	震災キャラバン
	参の箱	リバウンド	十三歳の沈黙	いちご同盟	ジョン万次郎 海を渡ったサムライ魂
	四の箱	世界でいちばん長い写真	スピリットベアにふれた島	エイジ	博士の愛した数式
	五の箱	水底の棺	銀二貫	こちら救命センター	神去ななあ日常
	六の箱	白狐庵記～源平の風	地球の声に耳をすませて	あと少し、もう少し	家なき鳥

読む



深める

調べ学習 — 1冊の読書から疑問をもつ—

テーマを決めて読書をした後、自分でもっと調べたいことを見つけて調べます。例えば2年生では、「戦争と平和」を考える本をテーマにしました。

ねらい

- ◎ 本に興味をもち、読書の幅を広げる。
- ◎ 読んだ本から自分が調べる課題を見つける。
- ◎ 学校図書館を活用し資料を利用、自分の課題を解決する。
- ◎ 発表は相手が分かりやすい自分の言葉にまとめる。

図書館支援員の援助

- ・ 戦争と平和についてのブックリストを作成
- ・ 課題解決のために図書室を使って資料探しをするため、中央図書館から資料を借りて補充
- ・ 参考資料の分類・別置
- ・ 授業でのレファレンス

生徒が読んだ本の例 ⇒ 課題（生徒が調べたこと）

- ・ 『世界で一番の贈り物』→第一次大戦開戦のきっかけ
- ・ 『火垂るの墓』→始まった戦争は止められるのか。
- ・ 『日本の一番長い日』→外国の8月15日はどうなっているのか。
- ・ 『戦争がなかったら』（リベリア）→なぜ子どもたちは兵士になるのか
- ・ 『ガラスのうさぎ』→東京大空襲の被害を関東大震災と比較する。
- ・ 『星空ロック』・『モーツァルトはおことわり』→強制収容所について
- ・ 『指の骨』→野戦病院で働く従軍看護婦について
- ・ 『秘密のスイーツ』→戦時下のおやつ
- ・ 『武器より一冊の本をください』→イスラムの国の内戦について
- ・ 『フェリックスとゼルダ』→ユダヤ人への迫害
- ・ 『パンプキン』→原子爆弾が広島と長崎に与えた被害について
- ・ 『父と暮らせば』→戦後の食糧事情

生徒の感想から

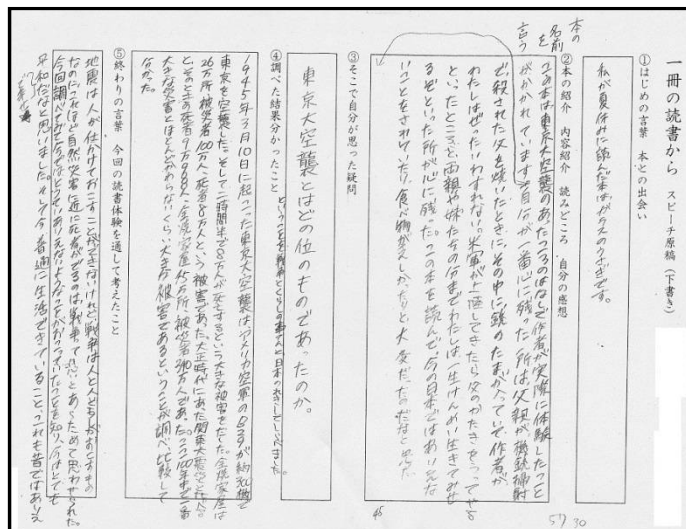
本の中で気になったところを自分で調べるチャンスはあまりないので、やっていた楽しかった。



（メモを取る）



（支援員とブックトラックから資料を探す）



【高校の読書活動事例紹介】

読書環境の整備

～都立府中高等学校の取組～

(1) 「図書倶楽部」の発行

年に2回、図書委員会が図書倶楽部を発行しています。

内容は、図書委員会のメンバーや新しく配属された先生方、教育実習にきた先生方のおすすめの本の紹介がメインになっています。(図1)

(2) ポップの作成

「図書倶楽部」で紹介した本は、ポップを作成しています。(図2) ポップも図書委員会が作成しています。内容や面白さなどを絵や写真を用いて表現して図書室の棚に並べています。(図3)



(図1)



(図2)



(図3)

その他にもリクエストのあった本を積極的に取り入れて内容の充実を図り、読書意欲を喚起する環境を整えるよう取り組んでいます。

学校図書館システム導入の趣旨

学校図書館システムを導入し、①学校図書館の蔵書管理、②児童・生徒の貸出傾向の把握などを進めることにより、子どもたちが読みたい本や教員の視点から子どもたちに読んでほしい本を効果的に配架し、子どもたちの学校図書館の主体的な利用を促すとともに教員にとっても授業で学校図書館を活用しやすくすることを目指しています。

システム導入モデル校（平成 27 年度より）➡ 府中第二小学校・府中第三中学校

平成 29 年度：府中第七小学校・本宿小学校・矢崎小学校・府中第一中学校・浅間中学校に導入

※モデル校での実施上の成果と課題を踏まえ、全市立小・中学校にシステムを導入予定

学校図書館システムによってできること

★バーコードによる蔵書管理

蔵書に貼付したバーコードをシステムで読み込むことにより、蔵書数等を効率的に管理

- ・蔵書数調査等への効率的な対応
- ・廃棄本の効率的な選定
- ・バックヤードの効率的活用

★バーコードによる貸出数の把握

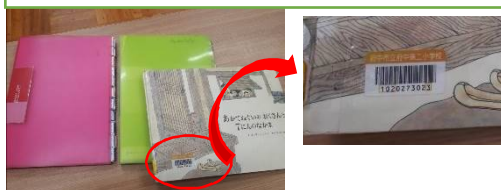
蔵書に貼付したバーコードをシステムで読み込むことにより、蔵書の貸出数等を効率的に把握

- ・子どもたちに読まれている本の把握
＝読書傾向の把握
- ・子どもたちへの貸出数の把握＝読書への興味・関心の把握

【貸出し・返却の方法】

児童・生徒一人一人にバーコードを設定し、蔵書に貼付したバーコードと併せてシステムに読み込むことにより、貸出し・返却の情報が記録されます。

児童用バーコードのファイルと蔵書バーコード



学校図書館システム用コンピュータ

バーコードリーダー

モデル校での活用状況

府中第二小学校

○コンピュータが 2 台になったことで、貸出用・返却用と用途を分けることができました。

○導入当初はシステムの処理速度が遅く、使いにくさがありましたが、今は改善され貸出し・返却の処理が素早くできるようになりました。

○児童一人一人の読書に関する統計がやりやすくなりました。児童に「読まれている本」や教師が「読ませたい本」など統計に基づいて分析しながら適時な声かけや周知をしています。

○蔵書管理ができているため、児童が読みたい本を見つけやすくなりました。

府中第三中学校

○本の貸出し・返却を図書委員の生徒がシステムを使って行っています。

○返却期限が過ぎていることが画面上に表示されるようになるなど改善されたため、生徒が図書の貸出状況の把握や返却の呼びかけなど主体的に行っています。

○以前は図書委員会の活動として読書冊数などの集計を手作業でおこなっていましたが、その作業が効率化されたことにより、「お勧めの本の紹介」ポスターの作成や図書室の装飾づくりなど、新たな取組ができるようになり、委員会活動の幅が広がりました。

美好保育所 おはなし会

おはなしボランティアの方々に来ていただくことを
子どもたちはいつも楽しみにしています！



年長クラスの読み聞かせです。

小さい頃から親しみのあるおはなしや新しいおはなし。
ボランティアの方々の歌声や抑揚のある話し方に食い入るように聞き入っています。

乳児クラス初めての
おはなし会。
何が始まるのかちょっとドキドキしていましたが、かわいいお人形にくぎづけ。



自然なスタートだったので、絵本もじっくり見ることができました。

◇こんな絵本を読んで
もらっています◇

幼児 「あかいことりとライオン」
「できるかな？」
あたまからつまさきまで」
乳児 「はらぺこあおむし」
「くだもの」

今度はどんなえほんかな？と楽しみにしている子どもたちです。

北山保育所 おはなし会

おはなしボランティアグループ「よつばの会」の方々に来ていただく
おはなし会を毎回楽しみにしている子どもたちです！



まずは、ごあいさつ！

リラックスしておはなしの世界に入れるよう、導入に手遊びを取り入れるなどの工夫をしています。

絵本の読み聞かせに、全身を耳にして集中しています。



呼びかけに「はい！」と元気よく答える子どもたち。

◇この日のプログラム

(年長クラス)◇

てあそび	グーチョキパーで なにつくろう
えほん	「わゴムはどのくらい のびるかしら？」
おはなし	「ふしぎなたいこ」
てあそび	かきごおり
えほん	「みどりのホース」
てあそび	さよならあんころもち

赤ちゃん絵本文庫

「赤ちゃん絵本文庫」は、乳幼児と絵本の出会いの機会を拡充するために、本市における子ども読書活動の推進を図ることを目的とし、平成16年5月から事業を開始しました。図書館おはなしボランティアの方たちの協力を得て実施しています。

また、赤ちゃん絵本文庫事業実施について、平成19年度子どもの読書活動優秀実践図書館・団体として文部科学大臣表彰を受けました。

- ・日時：月に3度の3・4か月児健康診査時 午後1時10分から3時まで
- ・場所：保健センター2階の健診会場に「赤ちゃん絵本文庫」コーナーを設置
- ・体制：図書館職員1名、図書館おはなしボランティア2～3名
- ・内容：3・4か月の赤ちゃん本人の名前で「図書館利用カード」を発行、親子に対面読み聞かせ、絵本の貸出し、読書相談など

★抱っこされながらも、目はジッと絵本に釘付け！



★カード作成の様子



★赤ちゃん絵本文庫用の絵本たち



おはなしキャラバン

府中市子ども読書活動推進委員会が主催の「おはなしキャラバン」は、毎年春の4月23日「子ども読書の日」の前後の期間と、秋の「子ども読書月間」に合わせて、市内の公共施設6か所を会場に、1・2歳児と保護者を対象に手あそびうたや絵本の読み聞かせなどを行っています。

市立図書館に登録しているおはなしボランティアグループ「絵本だいすき」にご協力をいただき実施している事業です。

親子が触れ合い、楽しみながら本に親しむ交流の場となっています。



★大勢の親子が、ボランティアと一緒に手あそびうたを歌ったり、体を動かしながら楽しんでいます。

(武蔵台文化センター
チャイルドルーム)

★みんな、絵本の世界を楽しんでいます。

(郷土の森総合体育館
幼児体育室)



★春・秋のおはなしキャラバンは、毎年参加人数が少しずつ増え地域に定着してきています。

(朝日保育所 園庭開放時)



参考資料 9

Y A 世代への取組

Y A（ヤングアダルト）とは、中学生・高校生を中心とした10代を意味する言葉です。この時期は、心身の発達の成長が著しく、生き方、進路、恋愛など様々な悩みに直面します。読書を通じての経験や感情を共有していくことで、読書は大きな支えとなり心を豊かにしていきます。

Y A世代の読書を支援するため、市立図書館では、中央図書館を始めとした全ての図書館にY Aコーナーを設置していきます。

☆Y Aコーナーでは、Y A世代に人気のある本や進路選択の参考になる様々な分野の本を揃えています。



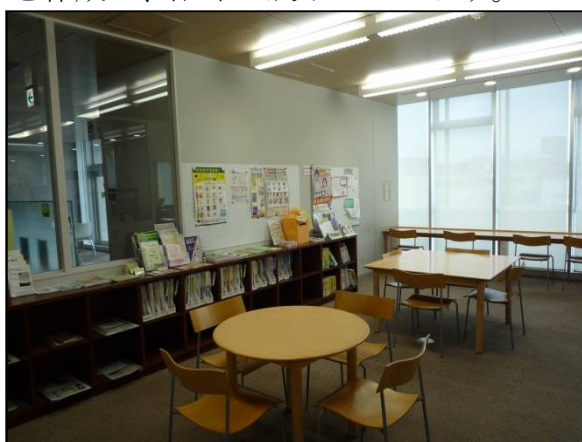
（中央図書館 Y Aコーナー）

- ・話題の小説や様々なジャンルの小説
- ・人間関係や進路、恋愛、身体についてなど悩み解決のヒントになるような本
- ・スポーツや料理などの実用書
- ・進路や生き方を紹介した本 など

良質で多様な資料の充実に努め、調べ学習などの支援や情報発信を図るなど、利用の促進につなげていきます。

☆中央図書館にはY Aルームがあります。ここでは、グループ学習や情報交換などができます。

・図書館職員が中学生におすすめする本のリスト「とっておきの本30冊（中学生）」を作成し、配布・展示しています。



（中央図書館 Y Aルーム）



（とっておきの本30冊（中学生））

・多摩地区の、高校・大学などの入学案内やオープンキャンパス情報などを随時更新しています。



(学校案内)



(多摩地区の高校・大学等の入学案内など)

☆来館者の多い夏休み期間には、次のような展示や企画もしています。

・「Books For You」は、図書館職員がおすすめる本のリストです。毎年、夏休み前にYA世代に向けて発行しています。



(夏のおすすめ本リスト「Books For You」)



(職場体験の中学生によるPRポスター)

・「My Favorite Things」

中央図書館では、YAルームに特設ポストを設置し、お気に入りの本や図書館についてなど何でも書いてもらい、展示していきます。

(企画展示「My Favorite Things」)

☆ほかにも、中学生職場体験の実施、学校への団体貸出、夏のおすすめ本リストの配布、YAコーナー・YAルーム紹介チラシの配布などを行い、学校図書館との連携を図っています。



中学生の職場体験

☆図書館では、毎年中学生の職場体験の受入れをしています。



(書架整理の様子)

(中学生のおすすめ本を紹介したPOPカード)



(中学生のおすすめ本を紹介したポスター)



- ・図書館での仕事は、本の貸出しや返却だけでなく、外からは見えない「バックヤード」の仕事がたくさんあります。
- ・中学生のみなさんには、カウンターでの本の貸出しや返却、書架整理だけでなく、おはなし会や講習会への参加、展示物や印刷物の作成、ブックポスの返却業務、フィルムコートがけなど、利用者の方から見えない場所で色々な仕事を体験してもらっています。



(POPカード作成の様子)



(中学生が選んだ詩などの展示)

- ・この職場体験を通して、中学生のみなさんが将来の仕事を考える一つのきっかけとなることを期待しています。
- ☆体験生が作成したPOPカードやポスターなどは、中央図書館YAコーナー・YAルームに掲示しています。

子どもの読書活動の推進に関する法律

（目的）

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第2条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に

報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

(平成13年12月12日法律第154号)

参考資料 1 2

平成 2 9 年度府中市子ども読書活動推進委員会委員名簿

No	氏 名	所 属		職位
1	須 田 到	市民協働推進部	地域コミュニティ課 (片町文化センター)	所長
2	宮 崎 恵 子	文化スポーツ部	文化生涯学習課	係長
3	田 邊 久 美	文化スポーツ部	図書館	係長
4	長 岡 志 保	福祉保健部	障害者福祉課	主査
5	石 田 淳 子	福祉保健部	健康推進課	課長補佐（兼） 母子保健係長
6	若 山 貴	子ども家庭部	子育て支援課	係長
7	菊 地 正 恵	子ども家庭部	保育支援課 (小柳保育所)	所長
8	古 塩 智 之	子ども家庭部	児童青少年課	課長補佐（兼） 放課後児童係長
9	遠 藤 公巳明	教育部	教育総務課	課長補佐（兼） 学校庶務係長
10	高 橋 誠	教育部	指導室	指導主事

事務局 文化スポーツ部 図書館

参考資料 1 3

府中市子ども読書活動推進連絡会・委員会開催状況（平成25～29年度）

回 数		開催日	内 容
平成 25 年度	第1回	5月29日(水)	・会長・副会長承認 ・第2期府中市子ども読書活動推進計画の平成24年度実施計画進捗状況について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画の実施計画について ・春のおはなしキャラバンについて
	第2回	9月18日(水)	・第2期府中市子ども読書活動推進計画の実施計画の進捗状況について ・府中市子ども読書活動推進計画について ・秋のおはなしキャラバンについて
	第3回	12月11日(水)	・平成25年度おはなしキャラバンについて（報告） ・府中市子ども読書活動推進計画（PR版・概要版）について
	第4回	2月19日(水)	・府中市子ども読書活動推進計画の進捗状況について ・平成26年度春のおはなしキャラバン開催場所・日時について ・府中市子ども読書活動推進計画（PR版）について ・美好保育所おはなし会について（報告） ・YAコーナーの利用促進に向けたPRについて（報告）
平成 26 年度	第1回	5月21日(水)	・府中市子ども読書活動推進連絡会の概要について ・平成25年度実施計画進捗状況及び概略について ・平成26年度春のおはなしキャラバンについて ・美好保育所おはなし会実施計画について ・平成25年度東京都教育委員会「児童・生徒の読書活動状況調査」集計結果について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画PR版について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画の中間報告に向けたアンケートの実施について

回 数		開催日	内 容
平成 26 年度	第2回	10月8日(水)	・第3期府中市子ども読書活動推進計画の平成25年進捗状況について ・平成26年度秋のおはなしキャラバンについて ・平成27年度春のおはなしキャラバンについて ・美好保育所でのおはなし会開催報告と今後の日程について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画(PR版)について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画中間報告に向けたアンケート実施について
	第3回	1月21日(水)	・平成26年度秋のおはなしキャラバンについて ・平成27年度春のおはなしキャラバンの会場について ・北山保育所お試しおはなし会開催について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画中間報告に向けたアンケート実施について
	第4回	3月9日(月)	・府中市子ども読書活動推進計画の平成26年度進捗状況について ・平成27年度春のおはなしキャラバンについて ・北山保育所のおはなし会について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画中間報告アンケート実施について
平成 27 年度	第1回	5月13日(水)	・会長・副会長承認 ・府中市子ども読書活動推進連絡会の概要について ・平成26年度実施計画進捗状況及び概略について ・平成27年度春のおはなしキャラバンについて ・保育所おはなし会の開催計画について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画中間報告アンケート実施について
	第2回	9月30日(水)	・平成26年度実施計画進捗状況及び概略について(報告) ・平成27年度秋のおはなしキャラバンについて ・保育所おはなし会開催計画について ・第3期府中市子ども読書活動推進計画中間報告アンケートについて(報告)

回 数		開催日	内 容
平成 27 年度	第3回	1 月 2 7 日 (水)	・ 保育所でのおはなし会の開催計画について ・ 平成27年度秋のおはなしキャラバンについて ・ 平成28年度春のおはなしキャラバンについて ・ 第3期府中市子ども読書活動推進計画中間報告アンケート集計結果について (報告) ・ 「府中市子ども読書活動推進連絡会設置要綱」の廃止と新規の策定について
	第4回	3 月 2 3 日 (水)	・ 府中市子ども読書活動推進計画の平成27年度進捗状況について ・ 平成28年度春のおはなしキャラバンについて ・ 保育所でのおはなし会開催計画について ・ 府中市子ども読書活動推進委員会規程について
平成 28 年度	第1回	5 月 1 1 日 (水)	・ 会長・副会長承認 ・ 府中市子ども読書活動推進委員会の概要について ・ 平成27年度実施計画進捗状況及び概略について ・ 平成28年度春のおはなしキャラバンについて ・ 保育所でのおはなし会開催計画について
	第2回	9 月 1 6 日 (金)	・ 平成27年度実施計画進捗状況及び概略について (報告) ・ 平成28年度秋のおはなしキャラバンについて ・ 夏休み期間における新規子ども向けイベントについて (報告) ・ 第4期府中市子ども読書活動推進計画策定について
	第3回	1 月 1 8 日 (水)	・ 平成28年度秋のおはなしキャラバンについて ・ 平成29年度春のおはなしキャラバンについて ・ 第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定について
	第4回	3 月 2 2 日 (水)	・ 府中市子ども読書活動推進計画の平成28年度進捗状況について ・ 平成29年度春のおはなしキャラバンについて ・ 保育所でのおはなし会開催計画について ・ 第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定について

回 数		開催日	内 容
平成 29 年度	第1回	4 月 2 6 日 (水)	・ 委員長・副委員長承認 ・ 平成28年度実施計画進捗状況及び概略について ・ 平成29年度春のおはなしキャラバンについて ・ 保育所でのおはなし会開催計画について ・ 第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定について
	第2回	6 月 2 8 日 (水)	・ 平成29年度春のおはなしキャラバンについて ・ 夏休み期間における子ども向けイベントの実施について ・ 第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定について
	第3回	8 月 2 5 日 (金)	・ 平成29年度秋のおはなしキャラバンについて ・ 第4期府中市子ども読書活動推進計画の策定について

参考資料 1 4

府中市子ども読書活動推進委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、府中市子ども読書活動推進計画（以下「推進計画」という。）に基づき、本市の子どもの読書活動の推進を図るため、府中市子ども読書活動推進委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) 推進計画の取組の実施方法に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか子どもの読書活動の推進を図るために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる課又は室に所属する係長又はこれに相当する職務を行う職員のうちから、教育委員会が任命する委員10人で組織する。

- (1) 市民協働推進部地域コミュニティ課
- (2) 文化スポーツ部文化生涯学習課
- (3) 文化スポーツ部図書館
- (4) 福祉保健部障害者福祉課
- (5) 福祉保健部健康推進課
- (6) 子ども家庭部子育て支援課
- (7) 子ども家庭部保育支援課
- (8) 子ども家庭部児童青少年課
- (9) 教育部教育総務課
- (10) 教育部指導室

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見、助言等を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、文化スポーツ部図書館において処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

付 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

参考資料 15

子どもの読書活動推進に関する動向

年 月	内 容
平成11年 8 月	子ども読書活動を国を挙げて支援するため平成12年を「子ども読書年」とする衆参両議院決議
平成12年 5 月	国立国会図書館の支部図書館として「国際子ども図書館」開館
平成12年12月	子ども読書活動の推進のために、「子ども読書活動振興法案作成プロジェクト」設置
平成13年 4 月	「子どもゆめ基金」が創設され、民間団体の子ども読書活動等の助成開始
平成13年12月	「子ども読書活動の推進に関する法律」施行
平成14年 8 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第一次）策定
平成15年 3 月	「東京都子供読書活動推進計画」（第一次）策定
平成15年11月	＊「府中市子ども読書活動推進計画」（第1期）策定
平成17年 7 月	「文字・活字文化振興法」成立
平成18年12月	「教育基本法」改正
平成20年 3 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第二次）」策定
平成20年 3 月	「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」改訂
平成20年 6 月	「社会教育法」「図書館法」改正
平成20年 9 月	＊「第2期府中市子ども読書活動推進計画」策定
平成21年 3 月	「第二次東京都子供読書活動推進計画」策定
平成21年 3 月	「高等学校学習指導要領」「特別支援学校学習指導要領」改訂
平成22年	国民読書年
平成25年 3 月	＊「第3期府中市子ども読書活動推進計画」策定
平成25年 5 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第3次）」策定
平成26年 6 月	「学校図書館法」改正（平成27年4月施行）
平成27年 2 月	「第三次東京都子供読書活動推進計画」策定
平成29年 3 月	「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」改訂

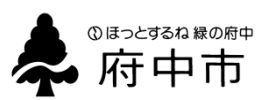
第4期府中市子ども読書活動推進計画

発 行 日 平成30年3月

編集・発行 府中市 文化スポーツ部図書館

〒183-0055 東京都府中市府中町2丁目24番地

電話 042-362-8647



図書館サービス検討会議資料 3

市政情報センターにおける取次利用状況について

平成29年8月1日から、市政情報センターにおいて、図書取次業務を開始しました。これまでの利用状況を報告します。

1 利用状況

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
利用者数（人）	249	431	490	334	468	426
貸出冊数（冊）	428	823	975	689	893	841
返却冊数（冊）	620	1031	1448	773	1207	1216
予約割当数（冊）	567	906	1064	747	890	941
取置期限切れ等（冊）	42	61	80	50	79	70

2 時間帯別利用者数

（人）

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
8：30～	57	68	106	26	98	73
12：00～	57	107	106	158	124	109
15：00～	135	256	81	53	61	97
17：00～			197	97	185	147

3 年齢別利用者数

（人）

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
0歳～	9	4	7	3	5	4
7歳～	1	0	17	3	4	1
13歳～	1	1	1	2	2	2
16歳～	3	1	1	1	1	0
19歳～	3	8	6	3	6	8
23歳～	10	23	28	19	25	26
30歳～	44	89	76	48	73	75
40歳～	81	132	162	124	136	133
50歳～	69	110	118	87	144	118
60歳～	21	38	52	21	48	41
70歳～	5	14	17	23	22	17
80歳～	2	11	5	0	2	1

ルミエール府中利用アンケート2017年度集計結果(中央図書館)

A. 利用者様のプロフィール

年代						
1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上
116	88	67	94	95	137	109

性別	
1. 男性	2. 女性
402	300

職業						
1. 会社員	2. 自営業	3. 公務員	4. 主婦	5. 学生	6. 自由業	7. その他
158	35	23	98	172	32	191

来館手段					
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. 自家用車	5. バス・電車	6. その他
245	333	14	53	100	0

所要時間			
1. 10分以内	2. 10～30分	3. 30分～1時間	4. 1時間以上
212	370	105	25

来館頻度				
1. ほぼ毎日	2. 週1回以上	3. 1か月に1～3回	4. 2～3か月に1回	5. 年1～2回
58	266	285	75	24

来館時間						
1. 9:00～11:00	2. 11:00～13:00	3. 13:00～15:00	4. 15:00～17:00	5. 17:00～19:00	6. 19:00～21:00	7. 21:00以降
239	130	204	142	94	68	25

滞在時間				
1. 30分以内	2. 1～2時間	3. 2～3時間	4. 3～4時間	5. 4時間以上
188	251	105	60	107

利用施設			
1. 市民会館	2. 図書館	3. レストラン	4. その他（複数回答可）
27	632	70	63

C. ご来館目的

1. 本・雑誌の貸出返却	2. 視聴覚資料の貸出返却	3. 視聴覚ブースの利用	4. 展示等の見学
412	113	19	12

5. 講演会等の参加	6. 調べ物	7. インターネット利用	8. 学習室利用	9. その他
18	103	29	182	27

F. 機器類リニューアル後の使いやすさについて

	④満足	③やや満足	②やや不満	①不満
1.新しい検索機(OPAC)は、いかがでしょうか。	159	199	86	14
2.新しい自動貸出機は、いかがでしょうか。	311	166	16	7
3.新しいホームページは、いかがでしょうか。	210	197	36	15

B. 施設について	4	3	2	1	2017年度 平均	2016年度 平均	2015年度 平均	2014年度 平均	2013年度 平均
1. ルミエール府中施設全体の印象	451	227	6	5	3.63	3.65	3.58	3.66	3.62
2. 駐車場について(料金、広さ、台数、入れやすさ)	161	184	56	20	3.15	3.30	3.12	3.20	3.08
3. 駐輪場について(広さ、台数、入れやすさ)	187	226	104	30	3.04	3.04	2.93	3.06	2.90
4. ルミエール府中の雰囲気(広さ、混雑度、明るさ、入りやすさ)	428	234	26	5	3.57	3.54	3.55	3.61	3.60
5. ルミエール府中の清潔感(館内)	474	207	7	6	3.66	3.69	3.62	3.70	3.65
6. ルミエール府中の清潔感(外周)	439	231	10	5	3.61	3.64	3.55	3.63	3.61
7. バリアフリー対応(車椅子での通行、機器の使い勝手)	283	223	20	6	3.47	3.51	3.43	3.48	3.47
8. 館内の空調・温度(冷暖房・換気・臭いなど)	315	278	73	25	3.28	3.29	3.19	3.30	3.28
9. 館内の誘導表示	322	307	27	6	3.43	3.50	3.37	3.40	3.39
					3.43	3.46	3.37	3.45	3.40

D. 運営サービスについて	4	3	2	1	2017年度 平均	2016年度 平均	2015年度 平均	2014年度 平均	2013年度 平均
1. 職員の対応(態度、言葉づかい、手際など)	433	177	14	7	3.64	3.56	3.57	3.61	3.60
2. 開館時間(利用したい時に開館していますか)	445	157	26	6	3.64	3.67	3.63	3.62	3.64
3. 登録の手続きの容易さ	423	168	8	6	3.67	3.68	3.59	3.64	3.65
4. 貸出期間(本・雑誌2週間、視聴覚資料1週間)	369	177	52	9	3.49	3.54	3.44	3.50	3.37
5. 貸出冊数(本・雑誌10冊、視聴覚資料6点)	406	164	25	8	3.61	3.64	3.58	3.62	3.57
6. 検索機(OPAC)について(使いやすさ、わかりやすさ、台数)	309	200	54	11	3.41	3.41	3.25	3.34	3.28
7. リクエスト・予約サービス	265	179	26	10	3.46	3.49	3.36	3.38	3.40
8. 情報提供の充実度(ホームページ・新刊案内・配布物・掲示物)	247	251	46	6	3.34	3.38	3.26	3.33	3.30
9. 調べ物相談の対応(回答は疑問解決に役立ちましたか)	276	204	20	5	3.49	3.53	3.41	3.46	3.46
10. お話会などの児童サービスの充実度	175	184	15	3	3.41	3.44	3.35	3.41	3.39
11. イベント・行事の充実度	171	212	24	4	3.34	3.34	3.25	3.31	3.30
12. インターネット・データベースの充実度	217	194	40	13	3.33	3.36	3.14	3.30	3.30
13. コピーサービス(コピー機の台数、申込のわかりやすさ)	201	213	41	9	3.31	3.29	3.12	3.24	3.20
14. 書架の案内のわかりやすさ(蔵書の探しやすさ)	221	256	82	10	3.21	3.25	3.13	3.24	3.17
15. 閲覧席・読書席の充実度(広さ、混雑度、明るさ、数など)	259	232	66	8	3.31	3.26	3.23	3.31	3.26
16. 学習室・研究室・YA室の充実度	239	212	32	7	3.39	3.29	3.27	3.36	3.33
17. マナー向上のための注意喚起 (私語・携帯電話・飲食・盗難防止の呼びかけ)	226	233	50	25	3.24	3.15	3.11	3.22	3.19
					3.43	3.43	3.33	3.41	3.38

E. 蔵書・資料について	4	3	2	1	2017年度 平均	2016年度 平均	2015年度 平均	2014年度 平均	2013年度 平均
1. 雑誌・新聞コーナーの充実度	285	234	30	5	3.44	3.40	3.38	3.42	3.40
2. 本の充実度	292	232	60	7	3.37	3.39	3.31	3.42	3.39
3. 調べ物に役立つ本の充実度	255	240	54	6	3.34	3.38	3.28	3.40	3.34
4. 新刊書の充実度	201	258	70	8	3.21	3.25	3.17	3.24	3.17
5. 蔵書の状態(傷み具合・書き込み・汚れなど)	214	274	65	10	3.23	3.28	3.10	3.24	3.19
6. CD・DVD・ビデオ等の充実度	141	206	91	26	3.00	2.93	2.77	3.00	2.89
7. CD・DVD・ビデオ等の状態(傷み具合・汚れなど)	152	217	74	15	3.10	3.14	2.94	3.07	2.99
8. CD・DVD・ビデオ等の新作の所蔵状況	137	194	93	28	2.97	2.89	2.73	2.93	2.76
9. CD・DVD・ビデオ等の探しやすさ	159	199	86	14	3.10	3.10	2.99	3.08	3.03
					3.20	3.20	3.07	3.20	3.13

ルミエール府中ご利用アンケート

ルミエール府中のサービス向上に向け、今年度もアンケート調査をすることになりました。

共通項目にお答えいただいたあと、裏面のご利用施設についてご回答ください。

ご回答はこの調査のみに使用し、厳重に管理し、他の目的で使用することはございません。

1月24日（水曜日）までにご利用施設のカウンターにお持ちいただくか備え付けの回収箱にご投函ください。

当館をどのように評価されますか？
ぜひアンケートにご協力ください。

ルミエール府中ご利用アンケート（平成30年1月10日～1月24日実施）

【ご利用日】 平成30年 月 日（ 曜日）

A. 利用者様のプロフィール（該当する番号を○で囲んでください）

年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上
性別	1. 男性	2. 女性					
職業	1. 会社員	2. 自営業	3. 公務員	4. 主婦	5. 学生	6. 自由業	7. その他
来館手段	1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. 自家用車	5. バス・電車	6. その他	
所要時間	1. 10分以内	2. 10～30分	3. 30分～1時間	4. 1時間以上			
来館頻度	1. ほぼ毎日	2. 週1回以上	3. 1か月に1～3回	4. 2～3か月に1回	5. 年1～2回		
来館時間	1. 9:00～11:00	2. 11:00～13:00	3. 13:00～15:00	4. 15:00～17:00	5. 17:00～19:00	6. 19:00～21:00	7. 21:00以降
滞在時間	1. 30分以内	2. 1～2時間	3. 2～3時間	4. 3～4時間	5. 4時間以上		
利用施設	1. 市民会館	2. 図書館	3. レストラン	4. その他（複数回答可）			

B. 施設について（満足度に該当する数字の部分をもとに○で囲んでください。）

	4	3	2	1
1. ルミエール府中施設全体の印象	4	3	2	1
2. 駐車場について（料金、広さ、台数、入れやすさ）	4	3	2	1
3. 駐輪場について（広さ、台数、入れやすさ）	4	3	2	1
4. ルミエール府中の雰囲気（広さ、混雑度、明るさ、入りやすさ）	4	3	2	1
5. ルミエール府中の美観と清潔感（館内）	4	3	2	1
6. ルミエール府中の美観と清潔感（外周）	4	3	2	1
7. バリアフリー対応（車椅子での通行、機器の使い勝手）	4	3	2	1
8. 館内の空調・温度（冷暖房・換気・臭いなど）	4	3	2	1
9. 館内の誘導表示	4	3	2	1

■ご意見など自由にご記入下さい

裏面は中央図書館に関するアンケートです

アンケート続き(ここからは中央図書館についてのアンケートとなります。)

C. ご来館目的 (該当する番号を○で囲んでください)

来館目的 1. 本・雑誌の貸出返却 2. 視聴覚資料の貸出返却 3. 視聴覚ブースの利用 4. 展示等の見学
5. 講演会等の参加 6. 調べ物 7. インターネット利用 8. 学習室利用 9. その他

D. 運営サービスについて (満足度に該当する数字の部分に1か所○で囲んでください。)

	≪満足・・・やや満足・・・やや不満・・・不満≫			
1. 職員の対応(態度、言葉づかい、手際など)	4	3	2	1
2. 開館時間(利用したい時に開館していますか)	4	3	2	1
3. 登録の手続きの容易さ	4	3	2	1
4. 貸出期間(本・雑誌2週間、視聴覚資料1週間)	4	3	2	1
5. 貸出冊数(本・雑誌10冊、視聴覚資料6点)	4	3	2	1
6. 検索機(OPAC)について(使いやすさ、わかりやすさ、台数)	4	3	2	1
7. リクエスト・予約サービス	4	3	2	1
8. 情報提供の充実度(ホームページ・新刊案内・配布物・掲示物)	4	3	2	1
9. 調べ物相談の対応(回答は疑問解決に役立ちましたか)	4	3	2	1
10. お話会などの児童サービスの充実度	4	3	2	1
11. イベント・行事の充実度	4	3	2	1
12. インターネット・データベースの充実度	4	3	2	1
13. コピーサービス(コピー機の台数、申込のわかりやすさ)	4	3	2	1
14. 書架の案内のわかりやすさ(蔵書の探しやすさ)	4	3	2	1
15. 閲覧席・読書席の充実度(広さ、混雑度、明るさ、数など)	4	3	2	1
16. 学習室・研究室・YA室の充実度	4	3	2	1
17. マナー向上のための注意喚起(私語・携帯電話・飲食・盗難防止の呼びかけ)	4	3	2	1

E. 蔵書・資料について (満足度に該当する数字の部分に1か所○で囲んでください。)

	≪満足・・・やや満足・・・やや不満・・・不満≫			
1. 雑誌・新聞コーナーの充実度	4	3	2	1
2. 本の充実度	4	3	2	1
3. 調べ物に役立つ本の充実度	4	3	2	1
4. 新刊書の充実度	4	3	2	1
5. 蔵書の状態(傷み具合・書き込み・汚れなど)	4	3	2	1
6. CD・DVD・ビデオ等の充実度	4	3	2	1
7. CD・DVD・ビデオ等の状態(傷み具合・汚れなど)	4	3	2	1
8. CD・DVD・ビデオ等の新作の所蔵状況	4	3	2	1
9. CD・DVD・ビデオ等の探しやすさ	4	3	2	1

F. 機器類リニューアル後の使いやすさについて (満足度に該当する数字の部分に1か所○で囲んでください。)
(12月1日から、検索機をはじめとする機器類が新しくなりました。)

	≪満足・・・やや満足・・・やや不満・・・不満≫			
1. 新しい検索機(OPAC)は、いかがでしょうか。	4	3	2	1
2. 新しい自動貸出機は、いかがでしょうか。	4	3	2	1
3. 新しいホームページは、いかがでしょうか。	4	3	2	1

ご協力ありがとうございました。

府中市立中央図書館 〒183-0055 府中市府中町2-24 Tel:042-362-8647